KEIO

あなたと あたらしい あしたへ ―― 京王グループ

安全・社会・環境報告書

# 2019 CSRレポート



京王グループ理念

私たち京王グループは、
つながりあうすべての人に誠実であり、環境にやさしく、
「信頼のトップブランド」になることを目指します。
そして、幸せな暮らしの実現に向かって
生活に溶け込むサービスの充実に日々チャレンジします。

京王グループスローガン

あなたと あたらしい あしたへ ―――― 京王グループ



京王グループは、京王電鉄を中心に、
運輸業、流通業、不動産業、レジャー・サービス業、その他業の
5つのセグメントから構成されています。

新宿からはじまる東京西部一帯を基盤に、
そのスケールメリットとグループの総合力を生かした多角的な事業を展開し、
グループ理念である「信頼のトップブランド」のさらなる追究と
沿線価値向上を目指していきます。

【表紙の解説】
～京王ライナー～

2019年2月にダイヤ改正を実施し、座席指定列車「京王ライナー」の朝間時間帯の運行（上り）を開始しました。

表紙の写真は京王八王子駅を8時31分に出発し9時16分に新宿駅へ到着する「京王ライナー4号」です。

P51 topics
通勤時間帯の快適性向上





# Contents


トップメッセージ …… 2
経営計画 …… 5
財務・CSRデータハイライト …… 8
特集:沿線大学とのオープンイノベーションの取り組み …… 10

**安全報告**

安全報告:全社員一丸での安全最優先の鉄道づくり …… 12
メッセージ …… 14
安全方針・安全管理体制 …… 15
安全管理方法 …… 16
2018年度 安全目標・安全重点施策 …… 18
2018年度 輸送安全実績 …… 19
2018年度に発生したトラブルおよびその後の対処 …… 20
2019年度 安全目標・安全重点施策 …… 21
大規模イベント開催に備えて …… 22
人材の育成 …… 24
安全文化の構築 …… 26
危機に備えた訓練 …… 28
施設・設備の取り組み …… 30
日々の保守管理 …… 40
災害などへの備え …… 42
そのほかの取り組み …… 44
グループ会社の安全対策 …… 46

**社会性報告**

社会性報告:住んでもらえる、選んでもらえる沿線づくり …… 48
メッセージ …… 50
お客様の利便性・快適性の向上 …… 52
お客様との対話 …… 56
多世代が生活しやすい沿線づくり …… 58
地域社会への貢献 …… 60
地域社会・行政との連携 …… 62
人材の活用と働きやすい職場づくり …… 64
株主・投資家・取引先等への取り組み …… 69

**環境報告**

環境報告:環境保全の推進 …… 70
メッセージ …… 72
環境方針 …… 73
環境マネジメント …… 74
低炭素社会を目指して …… 76
循環型社会を目指して …… 80
自然共生社会を目指して …… 82
環境関連データ …… 84

コーポレート・ガバナンス …… 86

CSRアクションプラン …… 90
ガイドライン対照表/会社概要 …… 92
第三者意見 …… 95


## 編集方針

本報告書は、多角的な事業を展開する京王グループの活動を安全・社会・環境面から捉え、どのような考えを持って取り組んでいるかを、分かりやすくお伝えするものです。

当社の最大の使命である安全への取り組みをはじめとして、ステークホルダーに対しての取り組みが伝わるよう留意しました。

なお、より詳しく、視覚的、タイムリーにお伝えするため、京王ホームページ、京王ニュース、環境・CSRポスター、インベスターズガイドなどでも適切な情報発信に努めています。あわせてご覧ください。

本報告書は、鉄道事業法第19条の4により公表が義務付けられた「安全報告書」を兼ねているほか、皆様とのコミュニケーションを深めるための重要なツールと位置付けています。

【報告範囲・報告期間】

- 本報告書は、京王電鉄単体(鉄道事業部門、開発事業部門、一般管理部門)の2018年度(2018年4月1日～2019年3月31日)の報告です。当該年度以外の事例や京王グループの事例も一部掲載しています。
- 環境負荷データおよび環境会計データは、京王電鉄単体の2016年度～2018年度のデータです。

【参考にした報告ガイドライン】

- 鉄軌道事業者による安全報告書の作成手引き(国土交通省)
- 環境報告ガイドライン(2012年版、環境省)
- ISO26000(国際標準化機構)
- GRIスタンダード(Global Reporting Initiative)

# 持続可能な企業・社会の実現を目指します



京王電鉄株式会社 代表取締役社長

紅村 康

京王グループは京王グループ理念として、「つながりあうすべての人」に「誠実」であり、「環境にやさしく」、「信頼のトップブランド」となることを掲げています。

そして、この京王グループ理念を具現化するため、「京王グループ経営ビジョン」「京王グループ行動規範」に基づき、2015年度からの6年間を3年ずつに区切り、2020年度を目標年度としてあるべき姿を描いたうえで、前半3カ年において、「成長に向けた土台作り」を進めてまいりました。現在、2018年度からの中期経営計画に基づき、戦略投資を推進し、既存事業を強化するとともに、成長分野における事業展開を加速させるなど、「成長の実現」に向けて取り組んでいます。

特に、当社をはじめ京王グループのすべての運輸事業者は、「輸送の安全性」の確保という、重要な社会的使命を担っており、この使命を果たし続けていくことで、京王グループの信頼性は構築される、との考えのもと、事業を展開しています。

そうした考えをもとに、当社とつながりあう様々なステークホルダーに対するひとつのコミュニケーションツールとして、本CSRレポートは、安全、社会、環境といった整理をして、まとめています。

## 安全確保こそが最大のサービス

鉄道の安全性向上への取り組みとして、京王線（笹塚駅～仙川駅間）連続立体交差事業では、事業主体である東京都とともに用地取得や設計業務などを推進し、一部工区において工事に着手しました。

頻発する自然災害への対応として、線路に隣接する構造物の一斉点検や補強を実施したほか、新たな耐震基準に適合した構造物とするため、橋梁、高架橋柱などを対象とした耐震補強を推進するなど安全性向上に努めています。

また、ラグビーワールドカップ2019™および東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、競技会場の最寄り駅となる飛田給駅においてホームドアなどハード面の整備を進めるほか、セキュリティ対策として、駅係員による巡回強化や警察など関係機関と連携したテロ対策訓練やサイバー攻撃対処訓練を実施するなど、鉄道テロへの備えを推進しています。

こうした取り組みもあり、2018年度も、鉄道等運転無事故事業者表彰を5年連続で受賞いたしました。

## 多世代が暮らしやすい沿線・働きやすい職場づくり

京王グループでは、「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」をキーワードに、多世代が暮らしやすいよう、沿線価値向上に資する施策を展開しています。

昨年10月、京王プラザホテル多摩2階にサテライトオフィス「KEIO BIZ PLAZA」を開業し、職住近接の実現や働き方改革の推進を図りました。また、子育てを支援する取り組みとして、本年6月に企業主導型保育所「京王キッズプラッツ多摩センター」を開設しました。両施設を併せてご利用いただくことで、仕事と子育ての両立を支援するとともに、沿線価値のさらなる向上を図って参ります。

また、昨年3月にオープンした全天候型遊戯施設京王あそびの森 HUGHUG〈ハグハグ〉は2年目を迎え、「京王れーるランド」、「多摩動物公園」とともに「キッズパークたまどう」として今後も多摩動物公園エリアの活性化に貢献してまいります。そのほか、本年2月のダイヤ改正では、座席指定列車「京王ライナー」の朝間時間帯の都心方面への運行を開始し、通勤時間帯の快適性向上を図りました。また「テレワーク・デイズ」や「スムーズビズ」に参加するなど東京都や関係団体が実施する働き方改革の取り組みを推進しています。

企業活動において原動力となる従業員に対しても、「夜型勤務」から「朝型勤務」への転換など従来の働き方の見直しや、サテライトオフィスの増設などワークライフバランスの向上や、長きにわたって活躍できるための社員のキャリア支援など、働きやすい職場づくりに継続的に取り組んでいます。



総合事故復旧訓練



年末年始社長巡視

## 多角的な環境保全活動の推進

省エネルギー化の推進として、鉄道事業における消費電力削減効果に優れた新型VVVFインバータ制御装置の継続導入、車両や駅構内、オフィス・店舗などの施設における照明のLED化を進めました。

さらに、リノベーション事業においては、住宅のみならず、オフィスやシェア型ホテルなど多様なニーズにこたえる建物へと再生を図り、$CO_2$・廃材等の低減にも寄与しているほか、昨今、注目されている海洋プラスチックゴミ問題についても、紙製ストローの導入などグループ内で取り組みを進めています。今後も電力使用量・$CO_2$排出量削減を中心に、取り巻く環境を注視しながら、環境に配慮した施策を進めていきます。

## 着実な経営体制の整備

京王グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目的としたコーポレート・ガバナンスについては、ガバナンス委員会などにおいて、コーポレートガバナンス・コードの主旨を参考としながら、経営戦略やガバナンスのあり方を社外役員の知見も取り入れながら、体制整備を図っています。

また、グループ内の内部統制強化につきましては、コンプライアンス意識の徹底など、これまで以上に全社員一丸となって取り組みを強化してまいります。

## 持続可能な企業であるために

京王グループは、2020年度をゴールとした「中期3カ年経営計画」の2年目を迎えております。ESG（環境・社会・ガバナンス）やSDGs（持続可能な開発目標）への取り組みが高まる中、当社でもこれらを意識して企業価値を向上させることが求められています。前中期計画でまいた種から成長の芽を育て、収穫する「成長の実現」を完遂し、その先の2030年代の事業環境でも存在する企業であるために、「社会的責任」を果たし、京王グループとつながりあうすべての皆さまに「安心」を提供することで、「信頼のトップブランド」の確立を目指します。今後も一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



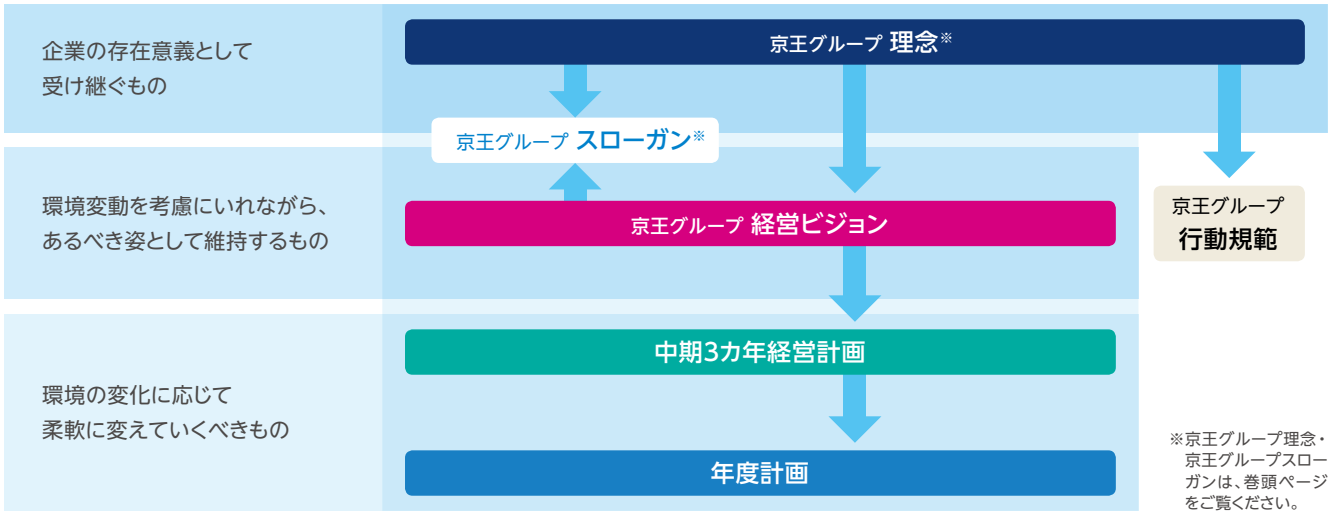
決算説明会




京王駅伝フェスティバル

# 企業価値の向上を目指して

京王グループでは、京王グループ理念を具現化し、経営計画につなげるための指針・将来像として「京王グループ経営ビジョン」を制定しています。そして、「京王グループ行動規範」を定め、事業活動を通じて社員一人ひとりが社会の持続的な発展に貢献していくことを目指しています。




※京王グループ理念・京王グループスローガンは、巻頭ページをご覧ください。

## 京王グループ 経営ビジョン

京王グループは、変化する社会のニーズに対応したサービスを提供し、
安心・便利で活き活きとした沿線づくりに取り組むことで、
信頼され「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」を追い求め続けます。
また、発展し続けるグループへの変革を目指すため、
成長する新たな市場へチャレンジします。

（2003年1月1日制定、2012年4月1日改定）

## 京王グループ 行動規範

**「信頼のトップブランド」になるため、私たちは以下のとおり行動します。**

### 企業活動を通じて社会に貢献します

- お客様の幸せな生活に資する商品・サービスを提供します
- 常に商品・サービスの品質、安全性の向上を追求します
- 適時適切な情報開示に努めるとともに、お客様の声を事業活動に活かします

### 法令・社内規程を遵守し、健全・公正な企業活動を行って、企業価値の向上に努めます

- 全てのステークホルダー（お客様・株主・取引先・社員などの関係者）に対して、相互に適正な利益を確保できるよう互いを尊重します
- 法令を正しく理解し、法令に則った手続きを行うことで、公的機関等と適切な関係を維持します
- 反社会的な組織、人物に対しては断固とした姿勢で臨みます
- 知的財産や情報の取扱いに細心の注意を払います
- 社員個人の権利を尊重し、社員同士が信頼しあえる風通しの良い職場づくりをします

### 社会の一員としての責任を果たします

- すべての人にやさしい環境づくりを進めます
- リサイクル、省エネなど環境保護に積極的に取り組みます
- 社会に貢献し、社会と共に発展するための活動に取り組みます
- 社会の変化に対応し、よき企業市民であるためのチャレンジをしつづけます

（2004年4月1日制定）

## 中期3カ年経営計画

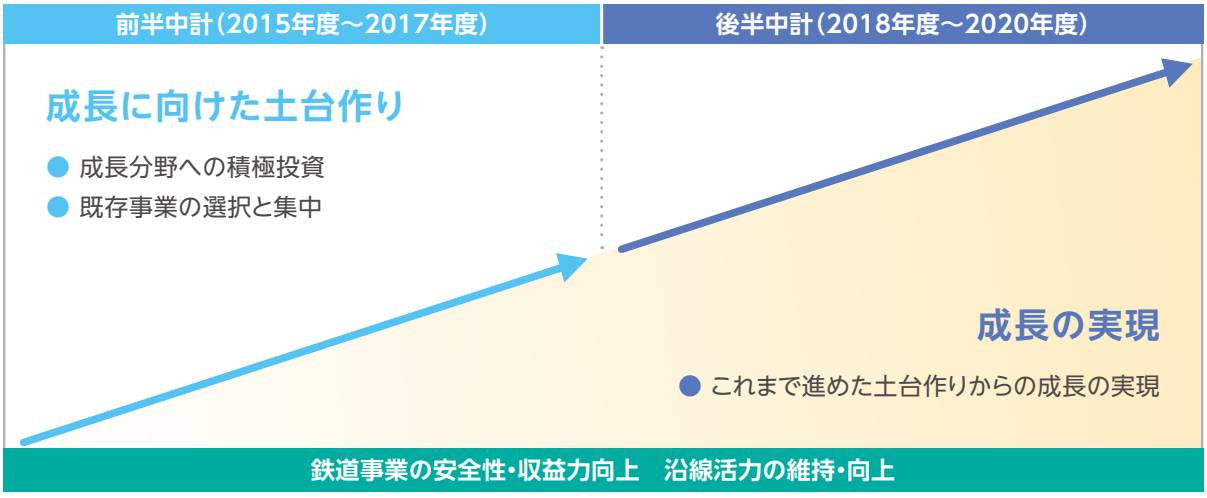
京王グループでは、2020年度を目標年度として、前半の2015年度～2017年度については戦略投資をはじめとした「成長に向けた土台作り」を進めてきました。後半の2018年度～2020年度については、これまでにまいた種から成長の芽を育て、収穫するため、戦略投資案件の収益化および事業の選択と集中を推進し、「成長の実現」を完遂していきます。

**2020年代の姿**

グループの総合力を活用し、さらなる企業価値の向上を実現

**2020年度までの取り組み**

将来の人口減少期や大規模投資期に備えた盤石な体制構築に向けた
土台作りと成長の実現




### 経営目標

後半中期3カ年経営計画最終2020年度には営業収益・営業利益・純利益において過去最高水準を見込みます。特に営業利益率の向上に主眼を置き、10%を目指します。

| | 2017年度（実績） | 2018年度（実績） | 2019年度（計画） | 2020年度（中期計画） |
|---|---|---|---|---|
| 営業収益 | 4,346億円 | 4,475億円 | 4,600億円 | 4,700億円 |
| 営業利益 | 385億円 | 400億円 | 433億円 | 480億円 |
| 営業利益率 | 8.9% | 9.0% | 9.4% | 10.0% |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 238億円 | 272億円 | 285億円 | 300億円 |
| ROA | 4.1% | 4.4% | 4.7% | 5.0% |

| | 2015年度～2017年度累計（実績） | 2018年度（実績） | 2019年度（計画） |
|---|---|---|---|
| 総投資額 | 2,469億円 | 711億円 | 1,161億円 |

## 「中期3カ年経営計画（2018年度～2020年度）～成長の実現～」主な取り組み

### 既存事業の収益力強化

#### 鉄道事業の安全性・収益力の向上

京王線（笹塚駅～仙川駅間）連続立体交差事業の推進
京王ライナーの運行拡大、ダイヤ改正等

施策 **座席指定列車「京王ライナー」**
- 運行時間帯の拡大



京王ライナー

#### 沿線の活性化

施策 **キラリナ京王吉祥寺**
- 開業5周年を迎え改装を実施

**京王百貨店**
- 新宿店の積極的売場改装の実施

#### 事業の選択と集中

営業利益率向上、事業再編

### 成長分野の収益基盤化

#### 既存ホテルの収益力強化

施策 **京王プラザホテル**
- プレミアグラン増室


京王プラザホテル
プレミアグラン

#### ホテル事業の拡大

施策 **京王プレリアホテル**
- 京王プレリアホテル 京都烏丸五条 開業
- 京王プレリアホテル 札幌 開業

**シェア型複合ホテル**
- THE SHARE HOTELS
  5号店（RAKURO 京都）開業
  6号店（TSUGU 京都三条）開業
  7号店（KIRO 広島）開業
  東京に8号店開業予定

#### リノベーション事業の推進

オパス有栖川テラス&レジデンス取得

## 2019年度計画

### ❶ 鉄道事業の安全性・収益力の向上

- 安全性の向上
  - 京王線（笹塚駅～仙川駅間）連続立体交差事業の推進
- 収益力の向上
  - 京王ライナーのさらなる運行拡大

### ❷ 沿線の活性化

- 開発事業の着実な推進
- 沿線利用者向けサービスの収益力の向上

### ❸ 事業の選択と集中

- 流通業における店舗の競争力強化
- タクシー業における都区内および当社沿線への経営資源の集中

### ❹ 成長に向けた取り組み

- ホテル事業の拡大
- 新たな分野での事業展開および収益源の確保
- 新たなモビリティサービスの検討

### ❺ 着実な経営体制の整備

- あるべきガバナンス体制の検討
- ESGやSDGsへの対応
- 働き方改革の推進
- 進化するテクノロジーの活用
- 2030年を見据えた長期戦略の検討

### ❻ 企業の社会的責任に対する取り組み

- $CO_2$排出量削減など環境負荷低減
  - 新型VVVFインバータ制御装置の導入
  - 空調機の更新や照明のLED化などの省エネルギー化
- 多世代が共に生き、交流する沿線づくり
  - 子育て世代を対象とした事業
  - 高齢者住宅事業
  - 文化教育・子育て支援イベントや沿線のスポーツ振興支援の継続実施
- 働きやすい職場づくり
  - 多様な人材雇用や女性の活躍推進
  - ワークライフバランスの推進

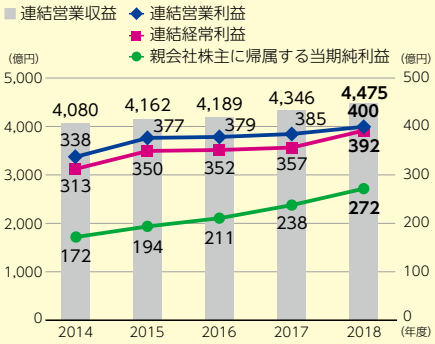
# 財務・CSRデータハイライト

## 財務（連結）

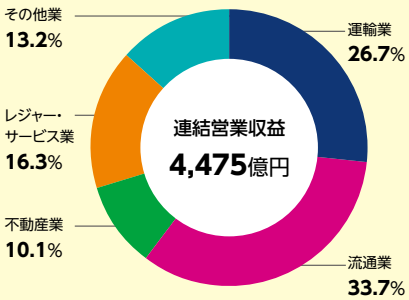
| （会計年度） | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 |
|---|---|---|---|---|---|
| 連結営業収益（億円） | 4,080 | 4,162 | 4,189 | 4,346 | **4,475** |
| 連結営業利益（億円） | 338 | 377 | 379 | 385 | **400** |
| 連結経常利益（億円） | 313 | 350 | 352 | 357 | **392** |
| 親会社株主に帰属する当期純利益（億円） | 172 | 194 | 211 | 238 | **272** |
| 総資産（億円） | 7,824 | 8,201 | 8,346 | 8,891 | **8,893** |
| 純資産（億円） | 3,077 | 3,118 | 3,320 | 3,522 | **3,680** |
| 自己資本比率（%） | 39.3 | 38.0 | 39.7 | 39.6 | **41.3** |
| 営業活動CF（億円） | 518 | 542 | 494 | 627 | **606** |
| 投資活動CF（億円） | △323 | △553 | △659 | △712 | **△476** |
| 財務活動CF（億円） | △262 | 255 | △166 | 173 | **△203** |
| 有利子負債（億円） | 3,081 | 3,393 | 3,285 | 3,521 | **3,383** |
| 連結EBITDA（億円） | 691 | 737 | 730 | 748 | **767** |

※連結EBITDA=連結営業利益+減価償却費+のれん償却額

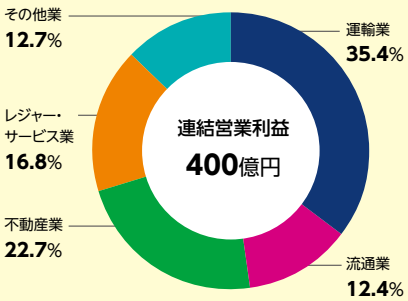
### 連結業績の推移



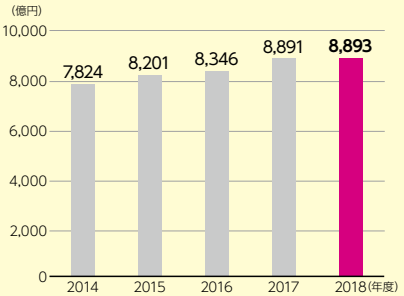

### 連結営業収益の構成比率



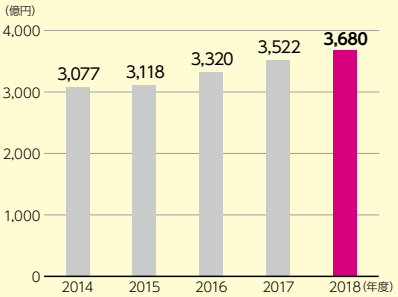

### 連結営業利益の構成比率



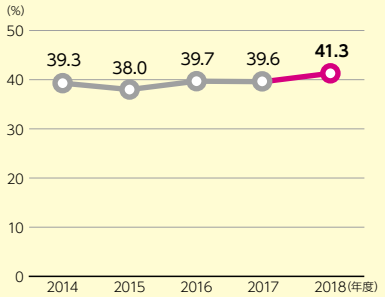

### 総資産 8,893億円




### 純資産 3,680億円




### 自己資本比率 41.3%



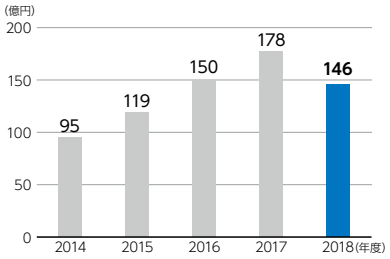
## CSRデータ（単体）

当社では、成長を続けながら社会課題の解決に貢献していくことを目指し、安全・環境・社会について、中期的な目標のもと新たな価値を創造する取り組みを推進しています。

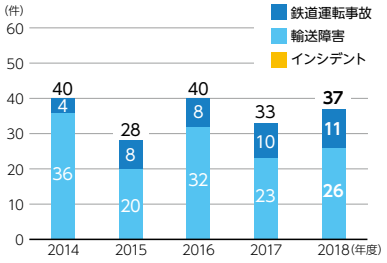
今後も、ステークホルダーのニーズや期待に応え、持続可能な社会の実現に貢献し、「信頼のトップブランド」になることを目指します。

### 安全

**安全に対する投資額 146億円**



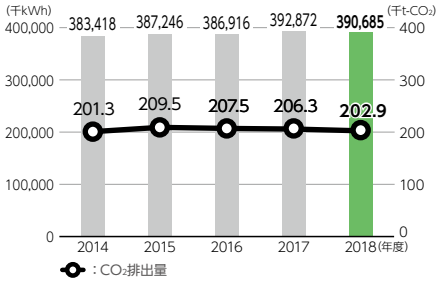

**鉄道事故・輸送障害発生件数 37件**



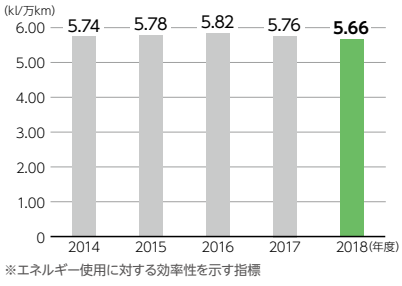

京王線（笹塚駅～仙川駅間）連続立体交差事業、ホームドアの設置等の安全投資や、安全文化の構築、人材の育成等を通じて、さらなる鉄道の安全性の向上を図ります。

### 環境

**電力使用量 390.6百万kWh**
**$CO_2$排出量 202.9千t-$CO_2$**




**鉄道のエネルギー使用量原単位※**
**5.66kl/万km**

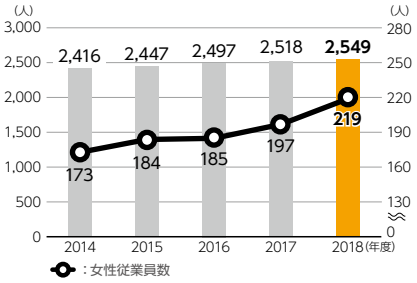



※エネルギー使用に対する効率性を示す指標

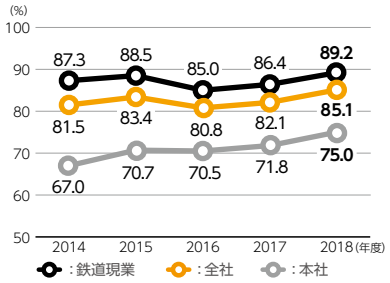
快適性の向上を目指しダイヤ改正などのサービス向上施策を推進していますが、それに伴い増加するエネルギー消費量などの環境負荷を可能な限り抑えるため、省エネルギー化等の対策を積極的に行っています。

### 人材

**従業員数 2,549人**
**女性従業員数 219人**




**年休取得率 85.1%**




社員一人ひとりが最大限能力を発揮できるよう、ワークライフバランスを意識した職場環境の整備など、ダイバーシティ・マネジメントを積極的に推進し、より働きやすい職場づくりを目指しています。

# AIを活用した
# 新たな事業領域の開拓

## ～新会社「感性AI株式会社」を設立～

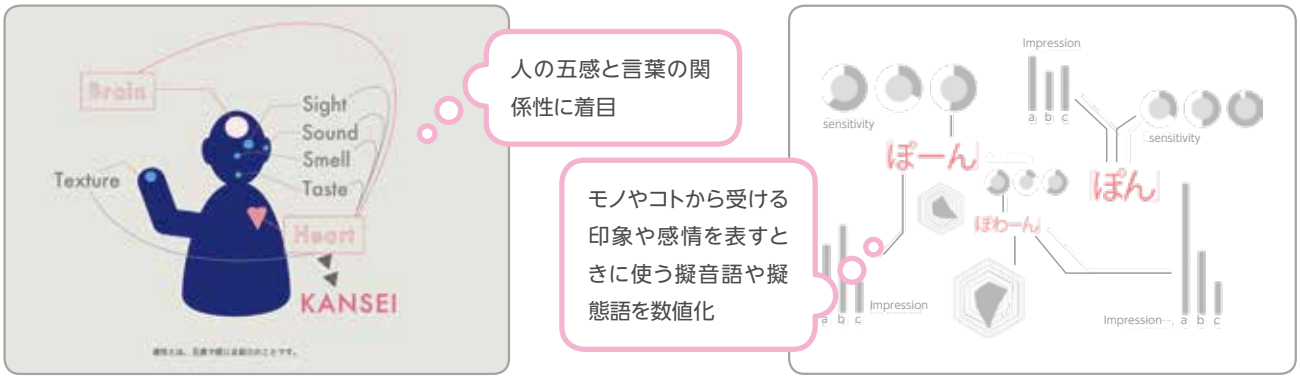
KanseiAI

2018年5月、国立大学法人電気通信大学の大学院教授である坂本真樹氏との共同出資による新会社「感性AI株式会社」を設立しました。将来的な沿線人口の減少などの課題を克服し、持続可能な社会の実現に貢献していくために、沿線の大学とのオープンイノベーションに取り組み、AI（人工知能）を活用した新たな事業領域を開拓していくことで、さらなる沿線価値向上につなげていきます。

### 感性AI株式会社とは

電気通信大学坂本研究室で長年培われてきた研究を基に開発された知財を活用し、人の言葉の「感性」を可視化・定量化するAIをマーケティング支援などのビジネスに活用するための各種サービスを提供しています。

人のうちに秘めた感覚を理解し、表現をサポートしてくれるAIを創ることによって、感性活用のプラットフォーマーになることを目指しています。




INTERVIEW



### 感性の可視化で、より豊かで楽しい生活の実現を目指します

電気通信大学 大学院 教授 **坂本 真樹 氏**

大学教授としての「人の感性」に着目した研究について、社会で活用していきたいと考えていましたところ、沿線価値の向上に取り組む京王電鉄と協力する機会に恵まれ、会社を設立するに至りました。

うきうき、わくわく、想いを形にできる喜びを忘れずに、電気通信大学発ベンチャーの感性AIだからこそ実現できるサービスを提供し、お客様のより豊かで楽しい生活の実現を目指していきたいと思います。

サービス例

## 空間自律調整システム―FUWAKIRA ～AIが会話や生体情報を読み取り、空間をプロデュース～

会議の議題、発話や生体情報からAIエンジンが「場の空気」を読み、快適性や生産性の観点から照明や音楽、温度、香りを統合制御する空間を再構築し、ストレス緩和、知的生産性向上、共感促進を実現します。



## 製品の感性的価値の可視化
～企業の製品開発やブランディング、マーケティングを支援～

モノの質感を数十種類の評価尺度として数値データ化し、独自の統計処理を行い、商品等を質感に基づきポジショニングマップ化します。

感性ポジショニングマップ




「製品の感性的価値の可視化」
電気通信大学、三井化学株式会社の共同研究成果

TOPIC

## AIの世界を体験していただくイベントの実施

2019年8月にトリエ京王調布で行われた夏休みイベント「調布自由研究」において、AIの世界を体験していただくブースを出展しました。「みんなの夏休みを色にしてみよう」「みんなの洋服を音楽にしてみよう」「箱の中身を当ててみよう」という3つのプログラムを通して、楽しみながらAIに触れるきっかけを提供しました。



オノマトペ
印象評価システムを
体験している様子

安全報告

# 全社員一丸での安全最優先の鉄道づくり




## ● 安全管理体制・方法
☞ P.15

- 安全方針・安全管理体制
- 安全管理方法
- 安全目標・安全重点施策

## ● 人材の育成
☞ P.24

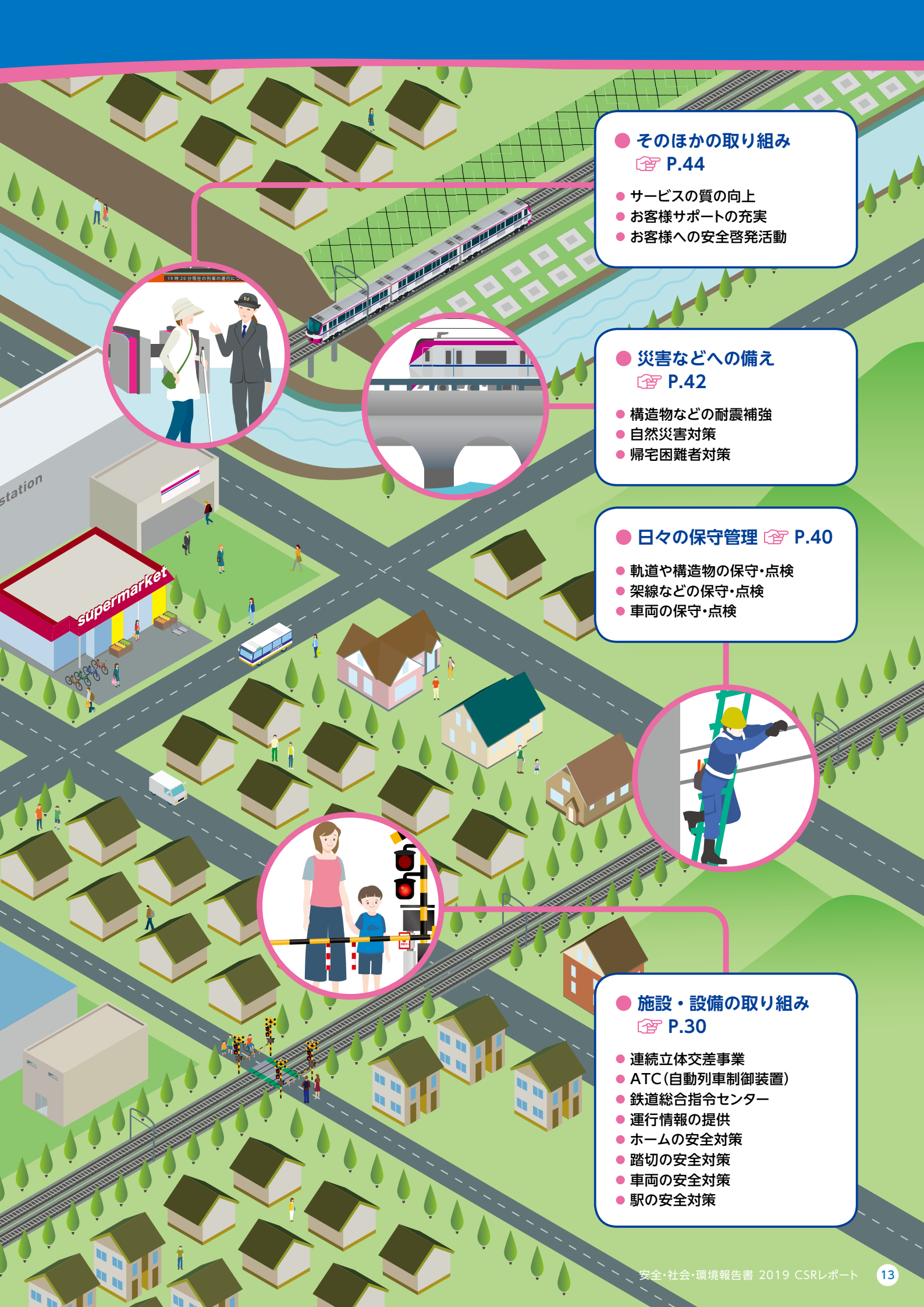
- 鉄道従事員への教育方針
- 乗務員の養成と技能の維持・向上
- 駅係員・技術員の教育

## ● 安全文化の構築
☞ P.26

- 安全講演会などの開催
- 安全啓発室での教育
- 鉄道事業部門外社員への働きかけ

## ● 危機に備えた訓練
☞ P.28

- 総合事故復旧訓練
- そのほかの訓練




## そのほかの取り組み
P.44

- サービスの質の向上
- お客様サポートの充実
- お客様への安全啓発活動

## 災害などへの備え
P.42

- 構造物などの耐震補強
- 自然災害対策
- 帰宅困難者対策

## 日々の保守管理
P.40

- 軌道や構造物の保守・点検
- 架線などの保守・点検
- 車両の保守・点検

## 施設・設備の取り組み
P.30

- 連続立体交差事業
- ATC（自動列車制御装置）
- 鉄道総合指令センター
- 運行情報の提供
- ホームの安全対策
- 踏切の安全対策
- 車両の安全対策
- 駅の安全対策

# さらなる安全性の向上を目指して
# 日々努力してまいります



ホームドアの整備を終えた
飛田給駅上りホーム

常務取締役
鉄道事業本部長
（安全統括管理者）
**仲岡 一紀**

日頃から、京王線・井の頭線をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

当社では、皆様から信頼され、愛される鉄道であるために、「『安全』は最大の使命であり、最高のサービスである」ことを常に意識し、「全社員が一丸となり継続的改善に取り組み、安全最優先の鉄道を創る」ことを最大の命題として、日々の業務に取り組んでおります。

笹塚駅～仙川駅間の連続立体交差事業については、引き続き事業主体である東京都とともに進めている中、昨年、起工式を執り行うことができました。またホームドアや転落防止固定柵の新設、踏切の障害物検知装置の増強など、各種安全対策についても、着実に推進しております。

災害対策としては、高架橋柱や盛土部などの補強工事を進めたほか、災害時の対応マニュアルを見直すなど、昨今の大規模な風水害、雷害や地震への対策を着実に実施しました。

また、事故の未然防止に向けては、「安全に関する基本方針」「安全に係る社員の行動規範」の徹底を図るとともに、現場と本社が一体となって、安全意識のさらなる高揚を目指してまいります。

そして、本年は沿線でのラグビーワールドカップ2019™の開催に向けて、日頃からの防犯対策に加え、ハード・ソフト両面において、各種施策を準備してまいりました。

これからも、「有責事故ゼロと運転事故・輸送障害発生件数の前年比削減」を安全目標と定め、全てにおいてお客様の視点に立ち、安全確保を第一に行動してまいります。



鉄道事業本部長による現場視察



関東運輸局長による表彰

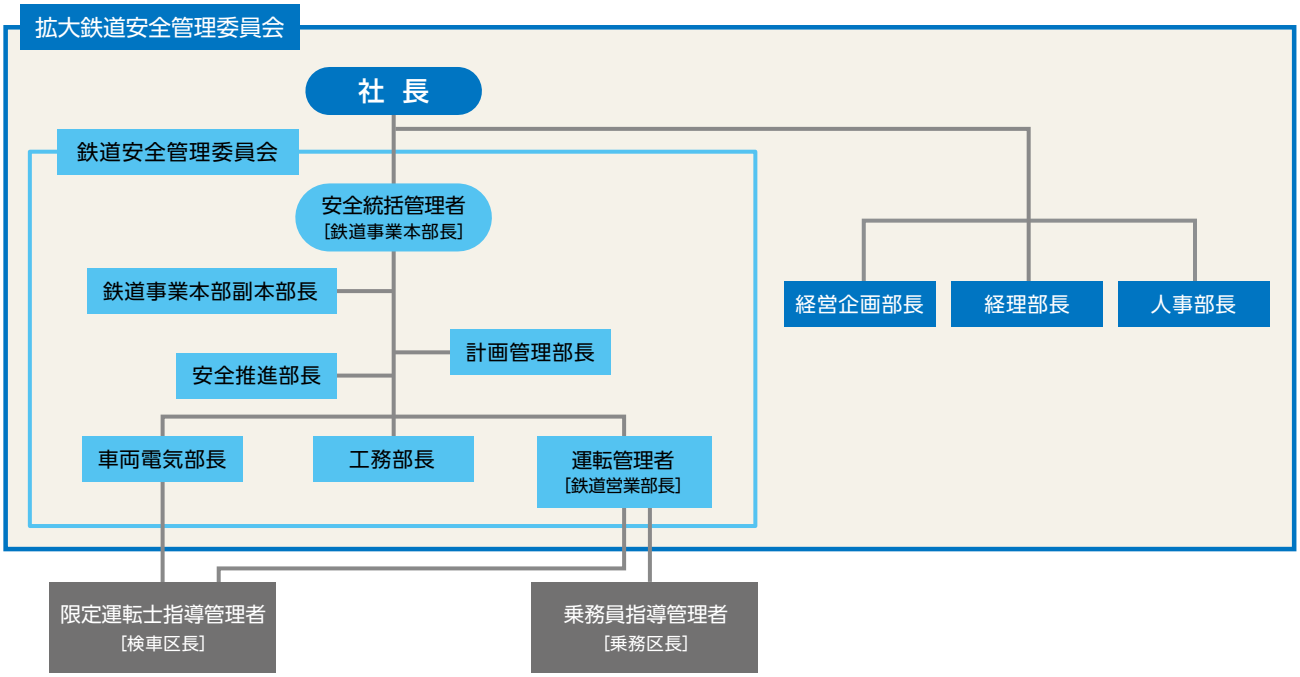
# 安全方針・安全管理体制

## 安全方針

| 安全に関する基本方針 | 安全に係る社員の行動規範 |
|---|---|
| ■「安全」は最大の使命であり、最高のサービスである。<br>■全社員が一丸となり継続的改善に取り組み、安全最優先の鉄道を創る。 | ■全てにおいてお客さまの視点に立ち、安全確保を第一に行動する。<br>■社員一人ひとりがルールを遵守し、判断に迷ったときは、自ら考え、最も安全と認められる行動をとる。<br>■情報伝達は迅速かつ正確に行い、共有化を図る。<br>■組織・職位を越えたコミュニケーションを構築し、全社員が連携して問題解決にあたる。 |

## 安全管理体制

当社では、安全管理体制を下の図のとおり構築しています。




## 責任者名と役割

| 責任者名 | 役　割 |
|---|---|
| 社長 | 輸送の安全の確保に関する業務全般を総理する。 |
| 安全統括管理者 | 輸送の安全の確保に関する業務を統括する。 |
| 運転管理者 | 安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。 |
| 乗務員指導管理者 | 運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。 |
| 限定運転士指導管理者 | 車両電気部長および運転管理者の指揮の下、限定運転士の資質の保持に関する事項を管理する。 |

# 安全管理方法

## 鉄道安全管理委員会

安全統括管理者を中心に、運転管理者を含む鉄道事業本部の各部長がメンバーとなり、原則として毎月1回、また必要により臨時に開催し、事故などの原因の究明・対策の検討・検証などを行っています。また、他社で発生した重大な事故・トラブルについて、当社の対応状況を確認しています。

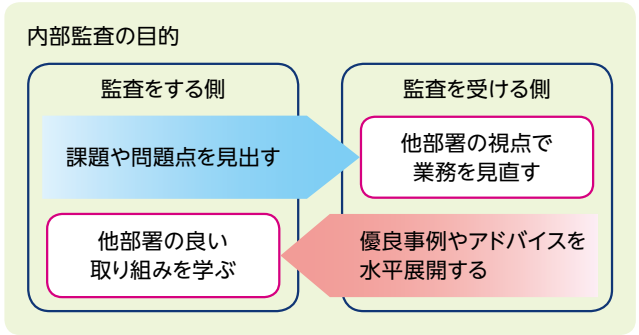
さらに、拡大鉄道安全管理委員会を社長出席の下、年2回開催し、安全重点施策をはじめとした安全管理体制全般の実施状況の評価（マネジメントレビュー）を行っています。



拡大鉄道安全管理委員会

## 内部監査の実施

運輸安全マネジメントに基づく内部監査を毎年行い、安全管理体制が適正に機能していることを確認しています。社長、安全統括管理者ならびに部長、課長および現業長に対してインタビューや書類検査などを行い、監査で見出された事項については、鉄道安全管理委員会に報告され、共有しています。




## 経営トップによる職場巡視

年4回の安全推進運動や、毎月の「安全再確認の日」を中心に、社長をはじめとする役員が現業職場を巡視して安全管理の状況を確認するとともに、現業係員との意見交換を実施してコミュニケーションを図っています。



社長と現業係員との意見交換



社長による総合高速検測車の視察




安全統括管理者による列車添乗

## 事故の芽・トラブル情報・ヒヤリ・ハットの報告

鉄道係員による取り扱い上の支障、機器の故障、自然災害などに起因する異常やそれらに対する措置の報告、また、事故が発生する恐れがあった事態、事故などや労働災害に関係するヒヤリ・ハットを幅広く収集・分析し、対策を講じることで、安全性の向上に役立てています。

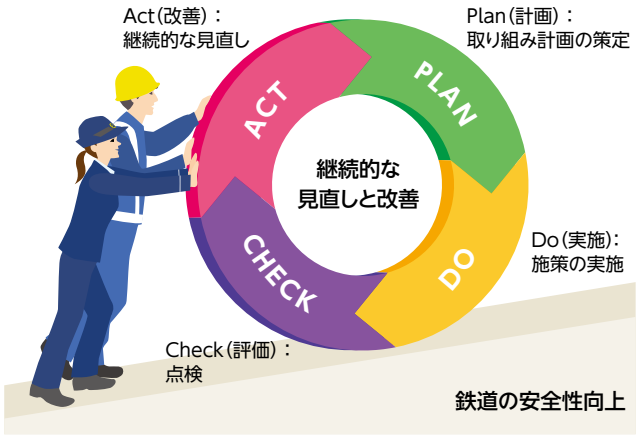


ヒヤリ・ハット報告書の一例


ヒヤリ・ハット情報の収集ポスト

## 安全管理のPDCAサイクル（スパイラルアップモデル）

鉄道安全管理委員会を中心として、計画（Plan）→実施（Do）→評価（Check）→改善（Act）サイクルに沿って、継続して安全性の向上を図っています。




## 国土交通省による運輸安全マネジメント評価

事業者の安全管理体制が適切に維持・改善され、有効に機能しているかを、社長・安全統括管理者等へのインタビューや文書・記録の確認を通じて国土交通省が評価・助言するもので、2007年より定期的に受検しています。

### 第8回評価の主な内容

【実施期間】
2019年6月5・10・11日

【評価事項】
- 経営トップが取り組むべき方向性を明確にするとともに、自らの言葉で社内に情報発信し安全意識の向上に努めていること
- 部門横断的な研修とともに、安全講習会や安全川柳等を活用し、鉄道部門外の社員の安全に対する意識の向上を図っていること
- 小集団活動等の改善活動を通じて各現場でのPDCAサイクルの実践を促していること

【期待事項】
- ヒヤリ・ハット情報の収集、活用等の取り組みの深度化を図り、問題発見型（未然防止型）のリスク管理体制の更なる充実を図ること


クロージングミーティング（本社）


現場視察（桜上水乗務区）

# 2018年度 安全目標・安全重点施策

2018年度から新たにスタートした中期3カ年経営計画に、安全性を向上していく施策を掲げています。

### 2020年度に向けた中期3カ年経営計画（2018～2020年度）

- 事故や輸送障害、テロ行為の未然防止に向けた施策の実行
- 自然災害への対応力と危機管理体制の強化
- 京王線（笹塚駅～仙川駅間）連続立体交差事業の推進
- 耐震補強や自然災害対策をはじめとした減災対策の実施
- ホームドアや転落防止固定柵の設置によるホーム安全対策の実施
- 老朽設備の着実な更新による保安度の向上

（鉄道の安全性向上への取り組みを抜粋）

## 2018年度 安全目標

有責事故ゼロと運転事故・輸送障害発生件数の前年比削減

## 2018年度 安全重点施策

1. 事故・トラブル対策
   （1）安全目標達成に向けた事故、トラブルの未然防止
   （2）事故やトラブルの原因分析と再発防止に向けた適切な安全対策の実施
2. 災害・危機管理
   （1）関係機関との連携によるテロ対策の推進
   （2）サイバーセキュリティ対策の推進
3. 安全意識の高揚、人材育成・活用
   （1）安全啓発室における安全教育の拡充
   （2）経験や職位に応じた教育を通じた質の高い社員の育成
4. 中長期施策の推進
   （1）京王線（笹塚駅～仙川駅間）連続立体交差事業の推進
   （2）下北沢駅改良工事の推進
5. 減災対策
   （1）構造物の耐震補強工事の継続実施
   （2）気象情報システムの更新
6. ホーム安全対策
   （1）新線新宿駅、渋谷駅にホームドアを設置
   （2）転落防止固定柵や注意喚起ラインを設置
7. 老朽化対策
   （1）コンクリート構造物補修工事の実施
   （2）京王線8000系車両、井の頭線1000系車両のリニューアル

# 2018年度 輸送安全実績

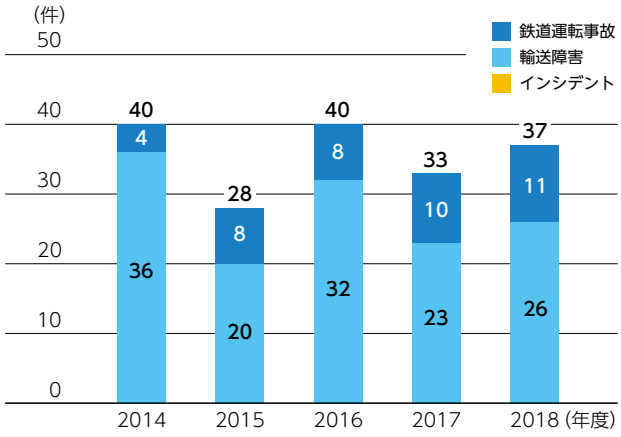
## 鉄道運転事故などの発生件数（2014～2018年度）

2018年度は、鉄道運転事故が11件（対前年度1件増）、輸送障害が26件（同3件増）発生しました。インシデントは前年度に引き続き発生しておりません。

**鉄道運転事故とは**
「列車衝突事故」「列車脱線事故」「列車火災事故」「踏切障害事故」「鉄道人身障害事故」「鉄道物損事故」をいいます。

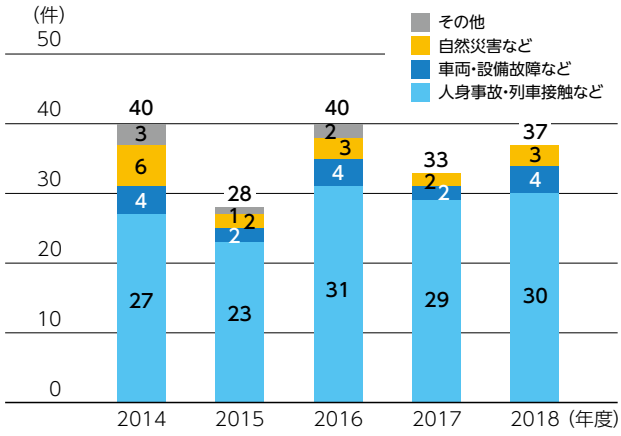
**輸送障害とは**
鉄道による輸送に障害を生じた事態で、鉄道運転事故以外の運休、また列車に30分以上の遅延が生じたものをいいます。

**インシデントとは**
事故には至らなかったが、鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められる事態をいいます。



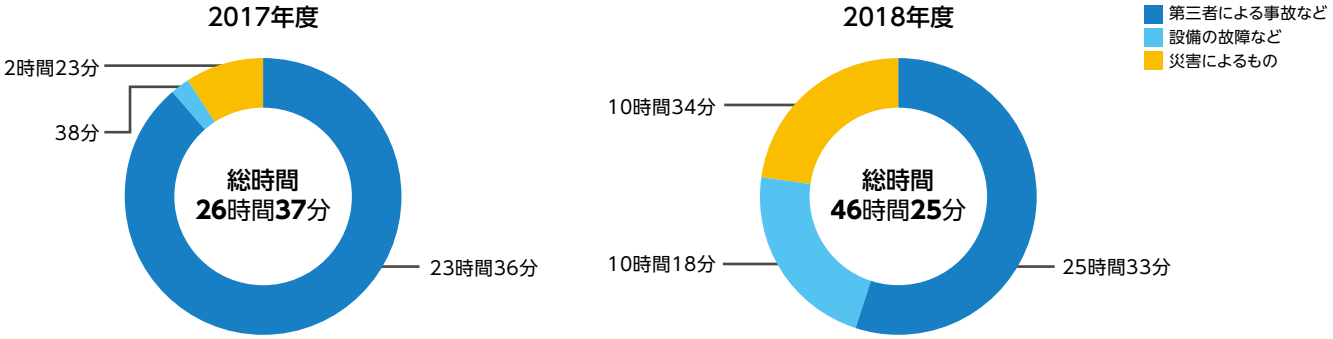

## 鉄道運転事故などの発生原因（2014～2018年度）

2018年度は、駅や踏切道での人身事故や列車との接触などが30件発生しました。また、車両故障などの設備トラブルが4件発生しました。その他、落雷、台風など自然災害を原因とする輸送障害が発生しました。




## 鉄道運転事故・輸送障害に伴う運転見合わせ時間

2018年度の運転見合わせ総時間は、設備トラブルや台風の影響により対前年度で19時間48分の増加となりました。



# 2018年度に発生したトラブルおよびその後の対処

## 台風24号による輸送障害

〔発生日時〕 2018年10月1日(月)4時43分

〔発生場所〕 明大前駅～代田橋駅間

〔発生事象〕

●台風24号上陸に伴う強風の影響により住宅の塀が倒壊し、線路内を支障した。

●初電より警戒添乗(添乗点検)を実施した際、速度節制が不十分であったため、支障物を発見後、非常ブレーキを施したが間に合わず接触した。

●接触による衝撃で当該車両のブレーキ機能が故障したため、救援列車と併結し車両基地に重連回送した。



前面が損傷した車両



倒壊した塀

〔緊急対策〕

●線路に隣接する土地にある構造物の一斉点検および補強を実施

●夜間試運転により、添乗点検の走行速度・手法の検証を実施



隣接構造物の補強



夜間試運転による検証
(投光器の活用)

〔恒久対策〕

●計画運休等を行う場合の取り扱いを定め、甚大な被害が予想される場合は、速やかに本社災害対策本部を設置する。

●長時間にわたり運転を見合わせた際の運転再開に向けた点検方法を見直した。

●多言語での案内表示など、異常時におけるお客様への情報提供をより充実させる。



重連回送のための
併合訓練




多言語による案内表示
(お客さま案内ディスプレイ)

# 2019年度 安全目標・安全重点施策

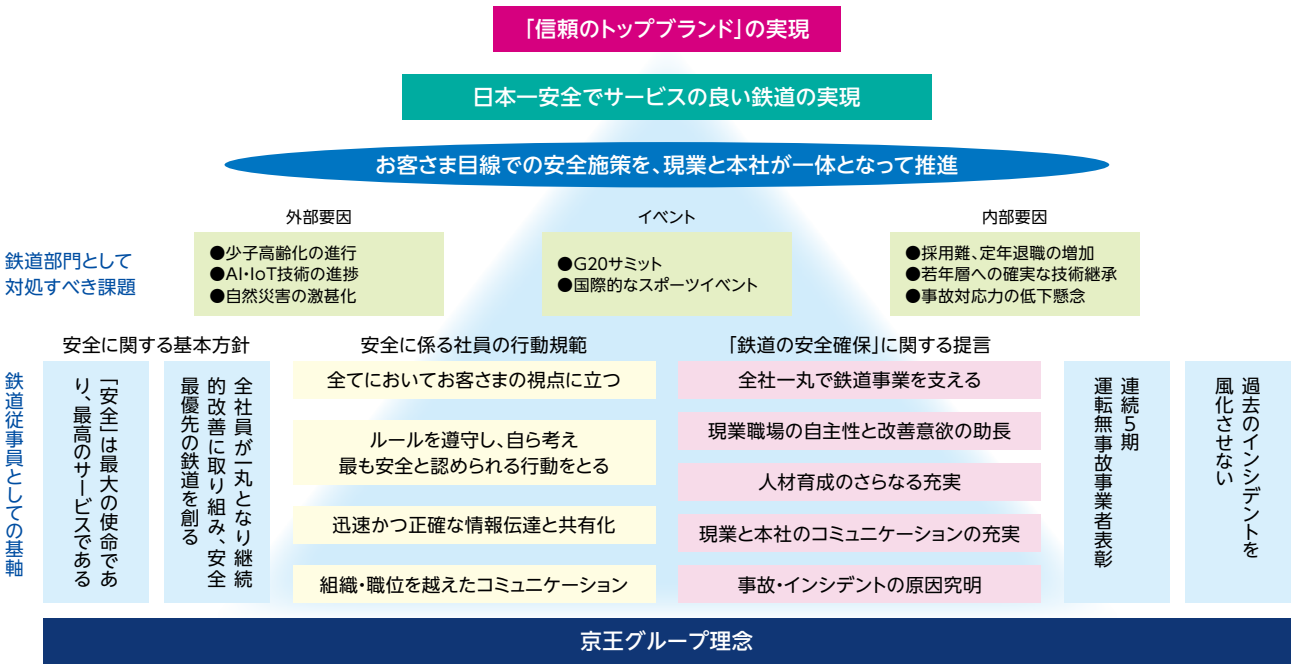
## 2019年度 安全目標

有責事故ゼロと運転事故・輸送障害発生件数の前年比削減

## 2019年度 安全重点施策

1. 事故・トラブル対策
   (1)安全目標達成に向けた事故・トラブルの未然防止と再発防止
2. 災害・危機管理
   (1)各種訓練や平時における防犯対策によるテロ対策の推進
   (2)サイバー攻撃に対する防衛能力向上
3. 安全意識の高揚
   (1)安全啓発室の各種コンテンツ拡充
   (2)グループ会社を含めた安全意識高揚と事故防止力向上
4. 人材育成・活用
   (1)経験年数や職位に応じた階層別の研修・教育の継続実施
5. 中長期施策の推進
   (1)京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業の推進
   (2)新宿駅・新線新宿駅・橋本駅の駅改良計画の推進
6. 減災対策
   (1)構造物の耐震補強工事の継続実施
   (2)気象情報システムの更新
7. ホーム安全対策
   (1)飛田給駅へのホームドア整備
   (2)転落防止固定柵や注意喚起ラインの整備
8. 老朽化対策
   (1)コンクリート構造物の補修工事の継続実施
   (2)列車運行管理システムの更新
   (3)京王線8000系車両、井の頭線1000系車両のリニューアル

▶「信頼のトップブランド」の実現に向けて、鉄道の安全性向上に向けた概念図を定めています。



# 大規模イベント開催に備えて

当社沿線の競技会場で開催されるラグビーワールドカップ2019™などの国際的なスポーツイベントに向けて、関係機関と連携した訓練の実施や多言語によるご案内強化などソフト面での備えと、防犯カメラ設置の積極展開などハード面での備えを推進しています。

## 鉄道テロへの備え

駅係員・警備員の巡回により、不審者・不審物などの早期発見に努めています。駅では、テロ警戒中のステッカーやポスターを掲出し、「見せる警備」によるテロ対策を推進しています。

さらに、警察・消防と連携したテロ対策訓練や、鉄道システムを標的としたサイバー攻撃対処訓練を実施するなど、社員への意識付けを図っています。




警察・消防と連携したテロ対策訓練



サイバー攻撃対処訓練



防御盾の駅への配備




テロ防止の啓発ポスター




テロ警戒実施中を示すステッカー

## 防犯カメラ設置の推進

全ての駅に防犯カメラを設置しているほか、車両や踏切道についてもカメラ設置を推進することで、鉄道に対するテロ行為・不法行為の抑止につなげています。また有事の際、駅構内のカメラ映像を警視庁に伝送する非常時映像伝送システムを新たに導入しました。




車両への設置(前方監視・車内監視)



踏切道への設置



駅構内への増設

## 多言語でのご案内

近年増加している外国人のお客様に対して、異常時等において適切なご案内ができるよう、取り組みを強化しています。

### ▶サービススタッフによるご案内

新宿駅・渋谷駅において、英語・中国語での会話が可能なサービススタッフを配置し、訪日外国人への案内対応を行っています。



サービススタッフによるご案内

### ▶インバウンド対応研修

外国語での案内フレーズで構成された指さし会話帳をもとに対話練習を行っています。



指さし会話帳を用いた対話練習

### ▶各種ツールの導入

多言語による音声出力が可能なツールを積極的に導入し、教育や訓練等での習熟に努めているほか、駅や列車内でのアナウンスに活用しています。



非常用多言語拡声器



翻訳アプリによるアナウンス

**topics**

### 下北沢駅における新たな情報提供の取り組み

お客様へのご案内の強化を目的に、運賃表一体型デジタルサイネージの採用や対話型AIを搭載した窓口案内ロボットの試験導入を行っています。

（2019年9月より外国語〈英・中・韓〉対応の実証実験を新宿駅で継続実施します。）



案内ロボット
（下北沢レイ）



運賃表一体型
デジタルサイネージ

# 人材の育成

## 鉄道従事員への教育方針

「鉄道従事員として自ら知識・技能の習得に努め、安全・安心・快適な鉄道であるための使命を果たせる人材を育成する」という教育方針に基づいて、部署・職位別の教育訓練を行っています。

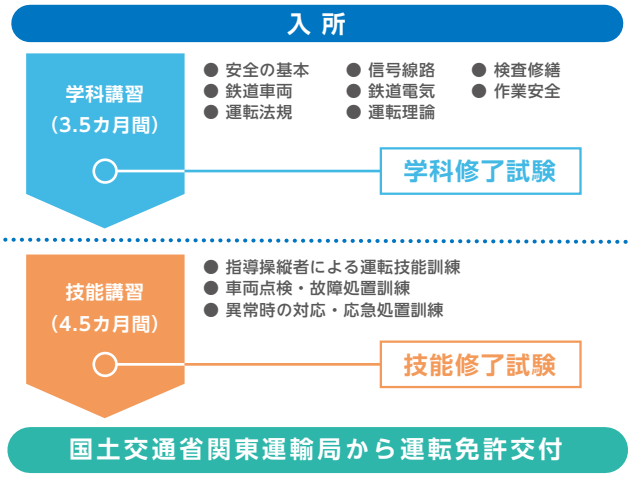
## 鉄道教習所における教育

鉄道教習所は、国土交通大臣指定の動力車操縦者の養成所として、運転士に必要な知識・技能の教育を行っています。あわせて車掌の養成教育を行っています。

## 乗務員の養成と技能の維持・向上

### ▶運転士の養成

運転士になるためには、駅係員、車掌を経験した後、学科講習と技能講習をあわせて約8カ月間受けて、試験に合格する必要があります。







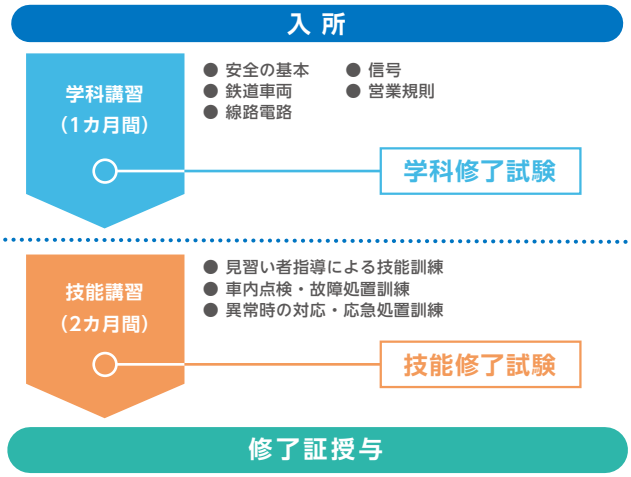
シミュレーターによる車掌訓練

### ▶乗務員の技能の維持・向上

運転士・車掌になった後もフォロー教育や監督者による定期的な添乗指導のほか、各職場での勉強会や、個別の面談による指導を通じて、知識・技能の維持・向上を図っています。

### ▶車掌の養成

車掌になるためには、駅係員を経験した後、学科講習と技能講習をあわせて約3カ月間受けて、試験に合格する必要があります。




## 乗務員の体調管理

### ▶アルコールチェックと健康管理

乗務開始前に、監督者により健康状態を確認するほか、アルコールチェックを徹底しています。

また、定期的に健康診断や適性検査を実施しています。



監督者による点呼

## 駅係員・技術員の教育

### ▶ホーム訓練室

実際のホームを再現し、列車非常停止ボタンや転落検知装置などを設置しています。これらの機器を実際に動作させて、異常発生時に迅速かつ的確な対応ができるよう訓練を行っています。



### ▶信号扱い訓練室

列車運行管理システムが故障した時などに備え、信号操作の取り扱い(てこ操作)訓練を行っています。



### ▶屋外訓練施設

実際の架線や踏切保安設備などを設置しています。日々の保守・点検作業の手順などを確認するほか、異常時における対応力の強化に向けた訓練を行っています。



## 協力会社との勉強会

施設・車両などの保守管理を委託する協力会社の社員とともに勉強会を実施しています。安全な作業手順を再確認するとともに、管理職による安全パトロールの実施により、事故防止に取り組んでいます。



## コミュニケーション向上研修

「風通しの良い職場作り」をテーマに、本社および現業の管理職を対象とした鉄道事業本部長の講義やグループ討議により、考え方やノウハウを共有化する研修を行っています。



VOICE



安全推進部 鉄道教習所 教師

**須永 博崇**

乗務員養成では教材・車両を効果的に活用し、乗務員に必要な安全意識・知識・技能を習得させています。養成後も経験年数に応じ、更なるスキルアップを目指した継続的な教育に取り組んでいます。冷静な判断と行動でお客様の安全を守る、安全意識の高い乗務員を教師全員が一丸となり養成しています。

# 安全文化の構築

## 安全講演会

安全意識の高揚を目的として、毎年開催しています。2019年2月には、当社安全アドバイザーの立教大学名誉教授 芳賀 繁氏をお招きし、「ヒューマンエラーの予防と新しい安全マネジメント」をテーマにご講演いただきました。



芳賀 繁氏によるご講演の様子

## 京王失敗学会

当社のベテラン社員やOBが、過去に体験した事故やヒヤリ・ハット、またそこから学んだ教訓を自ら語ることで、後輩社員に安全文化を伝承するとともに、失敗情報についてオープンに話し合う講演会「京王失敗学会」を開催しています。




OB社員による失敗体験の発表の様子

## 安全啓発室

過去の鉄道事故やインシデントについて、デジタルサイネージを活用し、事故の経緯や原因などを学ぶことができます。

鉄道事故の悲惨さを実感することで、一人ひとりが考え、行動につなげることを目指しています。乗務員養成教育や新入社員教育をはじめ、各種教育・訓練に活用することで社員の安全意識のさらなる高揚を図っています。



映像により経営トップや社員の安全への想いを視聴



デジタルサイネージを用いた教育




受講後に安全に向けた誓いを記入したカードを掲出

## 小集団活動発表会

毎年、各職場で取り組んでいる安全性向上や業務改善活動の発表会を開催し、社員の改善意欲を高揚させながら、業務の継続的改善を行っています。



職場の代表者による発表




部門内で情報を共有するためのポスター

## 鉄道安全川柳

安全への取り組みや思いを広く伝えるものを全社員から川柳形式で募集、入賞作品をポスター化し、安全意識のさらなる高揚に努めています。




入選作品を紹介するポスター

## 鉄道事業部門外の社員への働きかけ

大規模な災害や事故が発生した場合に、鉄道事業部門外の社員が駅などでお客様のご案内を行う体制を整備しています。「応援者活動用ワッペン」、「応援者対応ツール」などを使用した応援方法のガイダンスを実施しているほか、グループ会社も含めた安全講習会を定期的に開催しています。



応援方法のガイダンスの様子



応援者対応ツール





鉄道教習所での安全講習会の様子

VOICE



鉄道営業部 新宿管区 営業掛

**黒木 美咲**

業務の中で、「基本動作」という言葉が多く使われます。

基本動作とは「基本」であり、その先を自分で工夫する事が重要だと考えています。

日常の業務の中でこそ気付ける事があります。今後も「基本+α」の行動によって危険の芽を摘み、お客さまに「安全・安心」してご利用いただけるよう励んでまいります。

# 危機に備えた訓練

## 大規模な訓練

鉄道運転事故や自然災害の発生に備え、さまざまな訓練を通じて、事故・災害への対処能力を高めています。

### ▶総合事故復旧訓練

脱線などさまざまな鉄道事故を想定し、通報・連絡・お客様の避難誘導・現場の復旧などの訓練を毎年総合的に実施しています。

2018年10月には若葉台車両基地において、大規模な地震が発生し、列車が脱線したことを想定した訓練を警察・消防の協力のもと実施しました。



脱線車両の復旧



線路の復旧



お客様の避難誘導



踏切設備の復旧




帰宅困難者への支援活動

### ▶防災訓練

大規模な地震の発生を想定し、列車を緊急停止させる訓練を実施しているほか、本社災害対策本部の設置・運営などの訓練を定期的に実施しています。2018年11月の防災週間期間中と、2019年3月に実施しました。




災害対策本部設置訓練

## そのほかの訓練

年間を通じて、さまざまな条件を設定した訓練に取り組み、係員の異常時対応力の向上を図っています。

### ▶トンネル内での避難誘導訓練

トンネル内で列車が長時間停車を余儀なくされた場合を想定した避難誘導訓練を、実際のトンネル区間で実施しています。



列車からの
避難誘導訓練

### ▶信号扱い訓練

列車運行管理システムの故障発生を想定し、全線の信号扱所での一斉訓練を実施しています。



信号所での訓練

### ▶テロ対処訓練

駅構内や車内でのテロ行為の発生を想定し、警察や消防など関係機関と合同でテロ対処訓練を実施しています。



テロ発生時の
避難誘導訓練

### ▶脱線復旧機材の取り扱い習熟訓練

列車脱線事故からの復旧を円滑に行うための訓練を2018年7月ほかに実施しました。



車両の脱線復旧訓練

### ▶マルチプルタイタンパー復旧訓練

京王線の道床つき固めを行うマルチプルタイタンパーの故障を想定し、応急復旧訓練を2018年8月に実施しました。



マルチプルタイタンパー
応急復旧訓練

### ▶火災対応訓練

駅構内や車内での火災を想定し、消防と合同で初期消火などの対応訓練を実施しています。



ホーム上での
初期消火訓練

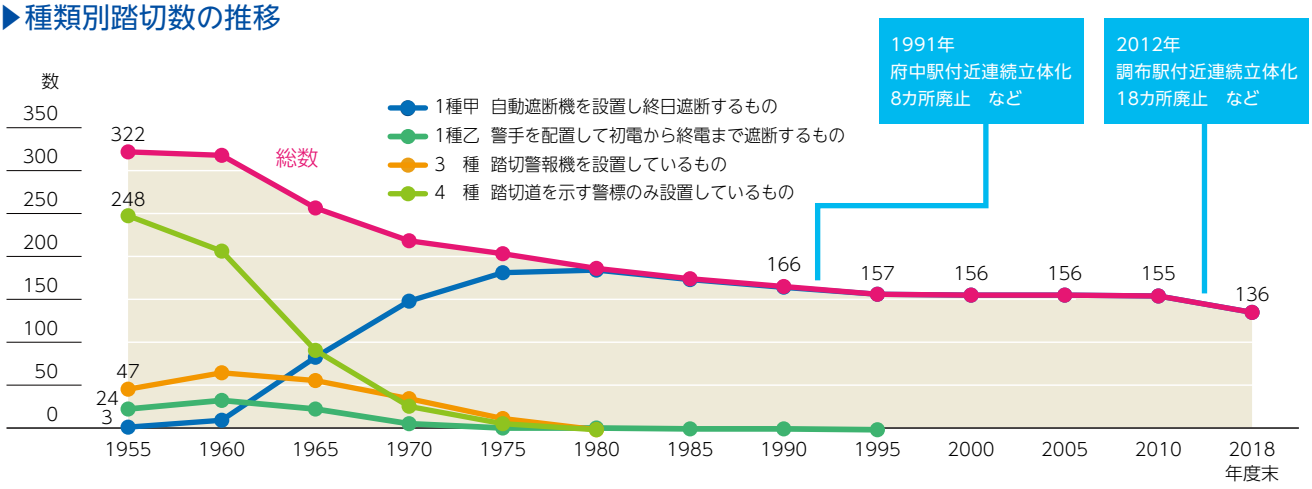
# 施設・設備の取り組み

## 立体交差化

運転保安の向上のため、線路と道路の立体交差化や踏切の整理統合を行ってきました。特に連続立体交差化については1964年に京王線の新宿駅～初台駅間の地下化を皮切りに、複数の箇所で事業を実施し、直近では2012年8月に調布駅付近を地下化しました。この結果、踏切数は1955年度末の322カ所から2018年度末で136カ所に減少しています。

※連続立体交差事業：2カ所以上の幹線道路を含む多くの道路と鉄道を連続的に立体化するものであり、道路整備の一環として施行する都市計画事業です。

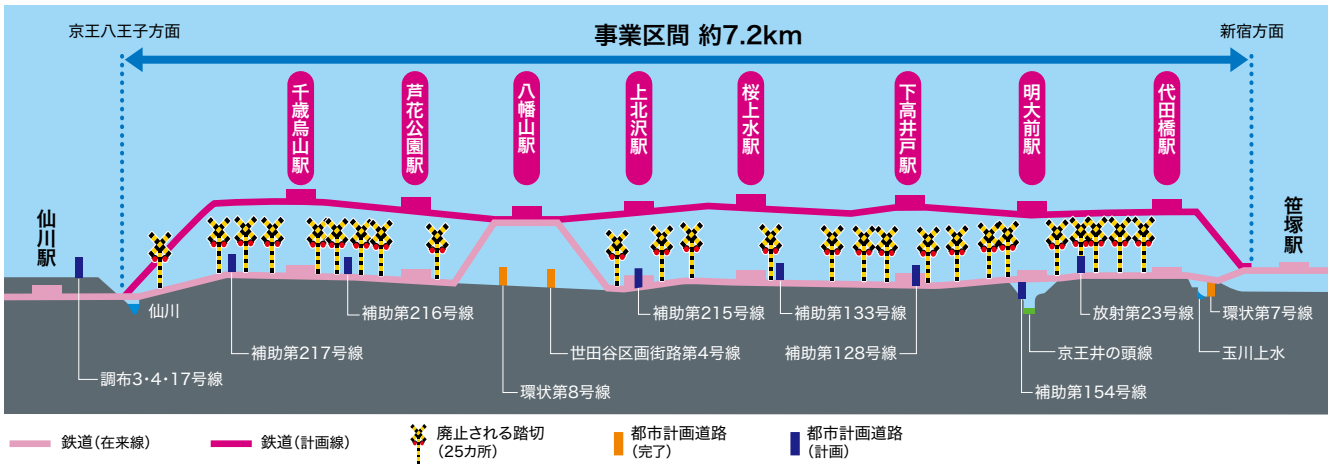
### ▶種類別踏切数の推移




### ▶京王線（笹塚駅～仙川駅間）連続立体交差事業

事業主体である東京都と協力し、京王線（笹塚駅～仙川駅間）連続立体交差事業を実施しています。2014年2月、国土交通省から都市計画事業の認可を取得し、用地取得や設計業務などを進めているほか、一部工区において工事に着手しました。

この事業の完成により、笹塚駅～仙川駅間の約7.2kmを高架化し、25カ所の踏切を廃止するとともに、放射第23号線（井ノ頭通り）などとの立体交差化を図ります。

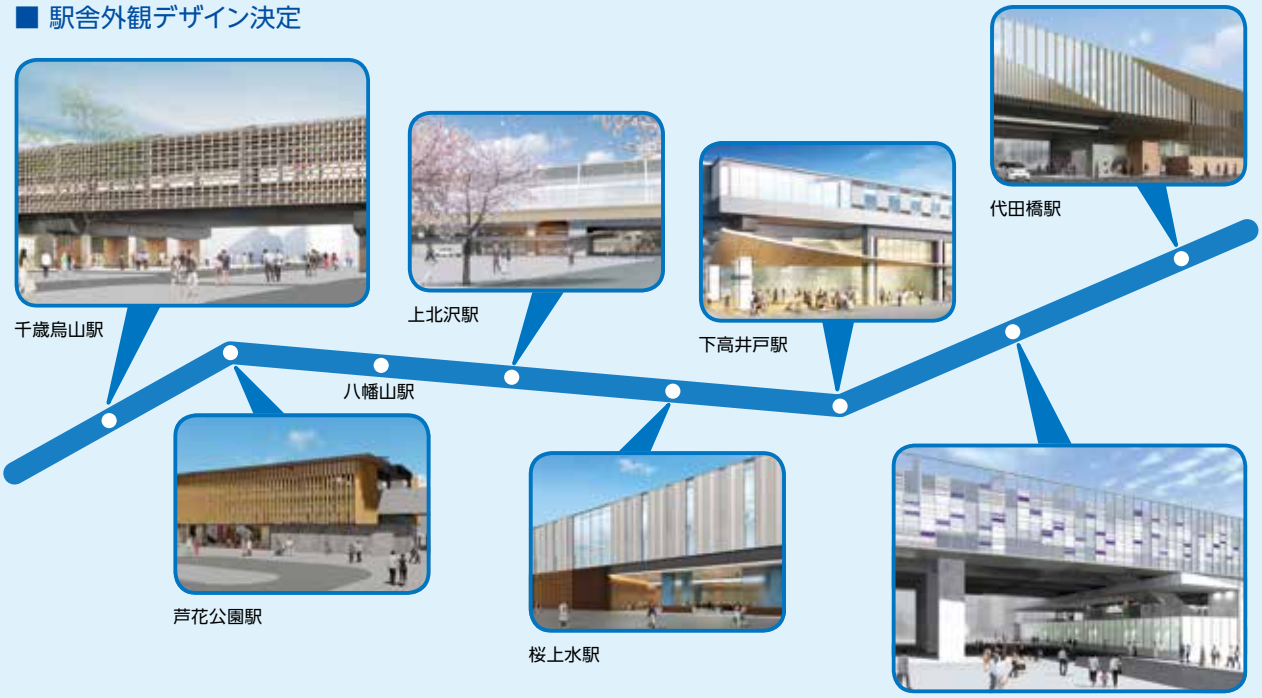


topics

## 京王線（笹塚駅～仙川駅間）連続立体交差事業の進捗状況

これまで工事に必要な用地取得を進めてきましたが、取得状況を踏まえ2018年10月に4つの工区で工事に着手しました。また、新しく生まれ変わる駅舎の外観デザインについて、沿線にお住まいの方々や駅をご利用のお客さまからいただいたアイデアや意見を参考に、街の玄関口として、地域の皆さまに親しまれ、長く愛される駅となるよう計画しました。

### ■ 駅舎外観デザイン決定



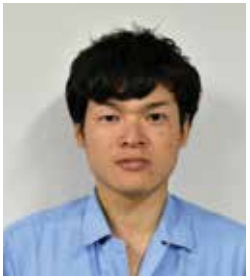

### ■ 工事の進捗


基礎杭の構築


ホーム仮設化


ケーブル用門構の設置

VOICE



工務部 連続立体交差工事事務所
技術員
**大槁 俊吾**

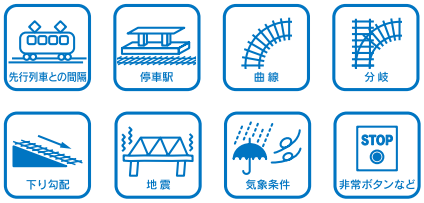
線路に近接した箇所や駅部で工事を行うことが多いため、日頃から鉄道の安全確保を第一に考え、列車の運行に影響を与えない最も安全な方法を施工会社とともに検討し、工事を行っています。今後も安全に対して妥協せず、早期の高架化による踏切廃止を目指して、確実に事業を進めてまいります。

## ATC（自動列車制御装置）

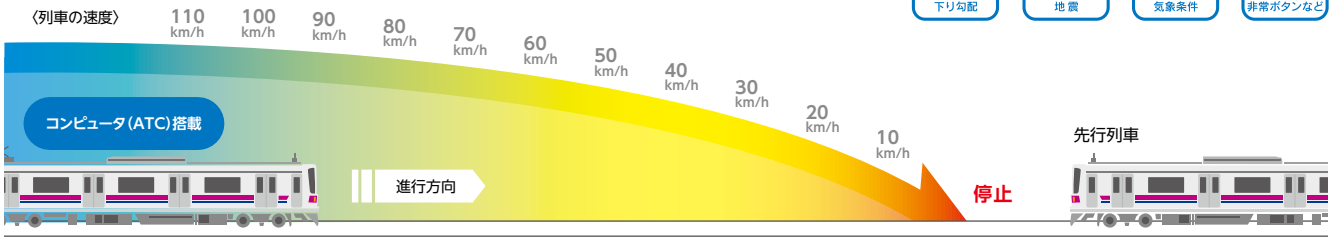
従来のATS（自動列車停止装置）に比べてさらに安全性の高いATC（自動列車制御装置）を2013年3月から当社全線で使用しています。

車両に搭載しているコンピュータが、レールに流れている信号電流を受け取ることにより、先行列車との間隔を連続的に把握し、常に適切な速度で走行できるよう、列車を制御します。

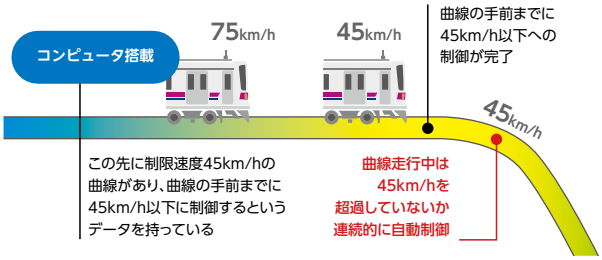
■ ATCで列車を制御できる主なケース



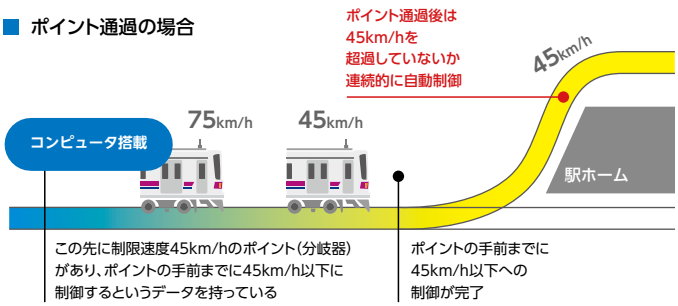

■ ATCによる列車制御のイメージ




■ 曲線通過の場合




■ ポイント通過の場合




## 鉄道総合指令センター

免震構造となっている鉄道総合指令センターには、列車の運行などを管理する運輸指令所と、電力の供給を管理する電力指令所の機能が集約されています。平常時だけでなく、事故や災害発生時の対応を迅速に行えるよう、連携を強化する体制を整えています。

### ▶運輸指令所

列車の運行を円滑に行うため、TTC（列車運行管理システム）により、進路設定、出発指示合図などを自動制御しています。事故発生時などには、列車の位置や遅れなどを総合的に判断し、運行ダイヤの整理・復旧を図るとともに、駅の「お客さま案内ディスプレイ」や「車内案内表示器」などを通じて、一括してお客様に最新の情報をご案内しています。

2017年から実施しているTTC更新に合わせ、監視盤を液晶ディスプレイ化するなど、作業性向上を図りました。



### ▶電力指令所

列車運転用電力と駅設備や信号保安設備などに用いる付帯用電力を供給する20カ所の変電所の運転状況や送電状況を、集中監視制御システムにより24時間体制で監視しています。事故や停電が発生した場合は、直ちに予備の設備に切り替え、列車の運行への影響を最小限にするなど、電力の安定供給に努めています。



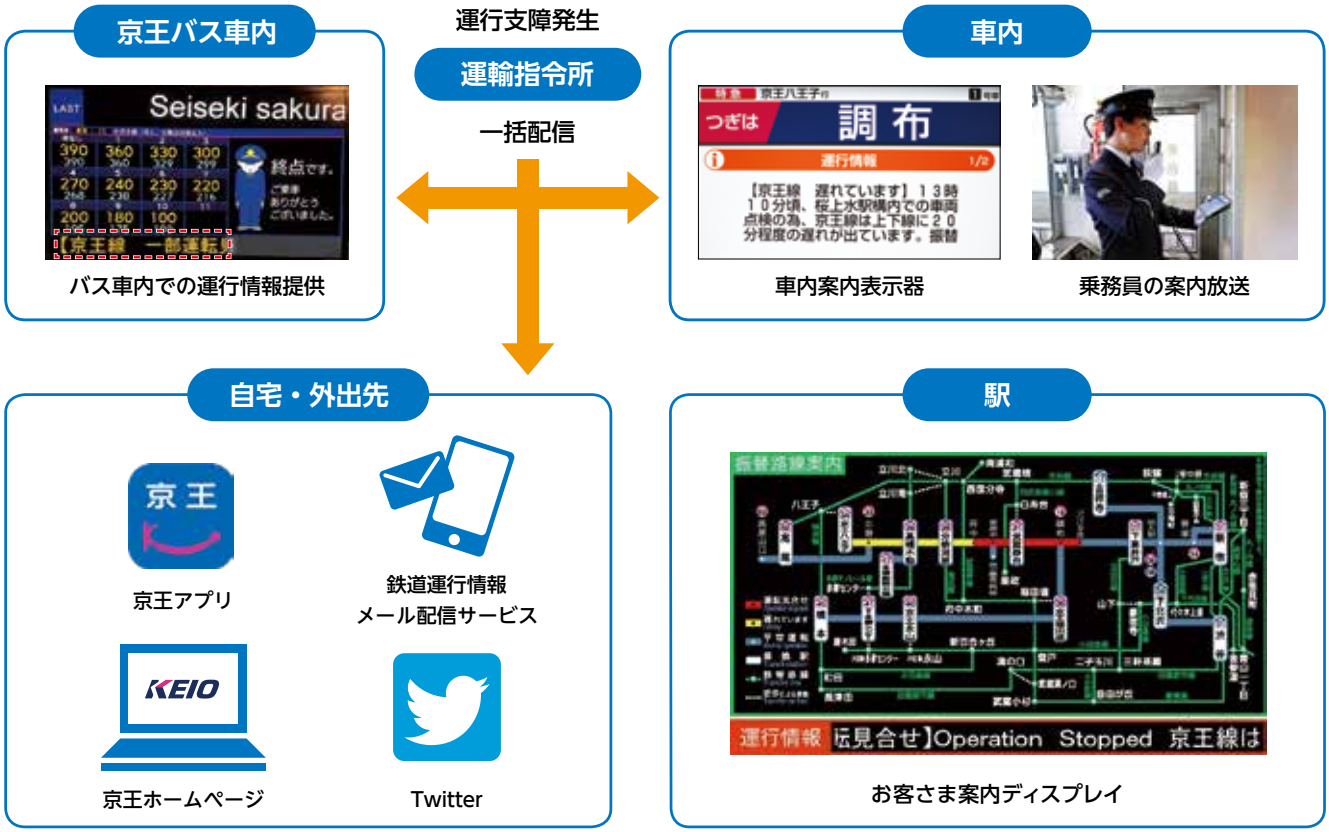
## 鉄道運行情報の提供

列車の運行に支障が生じた場合、文字情報・路線図・音声などで、鉄道運行情報をお届けしています。

文字情報については、ホームに設置の「行先案内盤」、車内に設置の「案内表示器」のほか、「鉄道運行情報メール配信サービス」「京王アプリ」「Twitter」での情報提供を行っています。

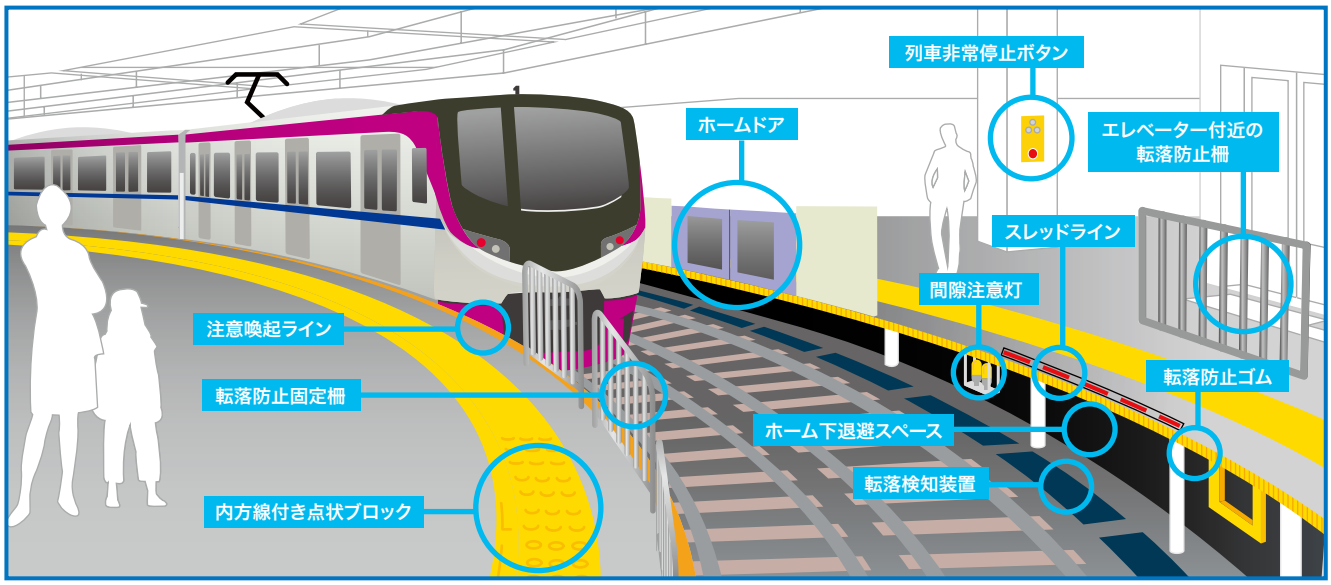
路線図については、改札付近に設置している「お客さま案内ディスプレイ」および「京王ホームページ」にて提供しています。また、ディスプレイなどに表示される文字情報は、音声に変換され全駅で放送しています。

異常時などは、車掌が運輸指令所からの連絡やタブレット端末を活用して、お客様に必要な情報をよりスムーズにご案内できるよう努めています。また、京王バス車内でも鉄道の運行情報を提供しています。



## ホームの安全対策

ホームでの安全を確保するため、さまざまな対策に取り組んでいます。




### ▶ホームドア

お客様のホームからの転落やホーム上での列車との接触事故を未然に防止するため、ホームドアを設置しています。2018年度は新たに新線新宿駅、渋谷駅、飛田給駅2番線で使用を開始したほか、2019年度は飛田給3番線で使用を開始します。今後明大前駅、下北沢駅においても整備を計画しています。


飛田給駅


渋谷駅


新宿駅

■ ホームドア設置年度

| 年度 | 駅名 |
|---|---|
| 2012年度 | 新宿駅、調布駅、布田駅、国領駅 |
| 2015年度 | 吉祥寺駅 |
| 2018年度 | 新線新宿駅、渋谷駅、飛田給駅2番線 |

### ▶転落防止ゴム

車両とホームとの間が広く空いている駅では、お客様が乗降の際に転落しないよう、隙間を狭くするための転落防止ゴムの設置を進めています。


ゴム断面

転落防止ゴム施工後

### ▶転落防止固定柵

お客様のホームからの転落防止を目的として、終端部やエレベーター出入口が線路側を向いているなどのホームの一部に固定柵を設置しています。

2018年度は、東府中駅に設置しました。



### ▶間隙注意灯・スレッドライン

曲線ホームなど、車両とホームとの隙間が広く空いてしまう箇所がある12駅では、光の点滅で隙間をお知らせする間隙注意灯やスレッドラインを設置しています。



間隙注意灯




スレッドライン

### ▶転落検知装置

曲線ホームなど、車両とホームとの隙間が広く空いてしまう箇所がある15駅に設置しています。お客様がホームから転落された場合、この装置が転落を検知し、乗務員や駅係員に知らせるとともに、付近の列車を自動的に停止させます。



### ▶列車非常停止ボタン

お客様がホームから転落された場合などに、このボタンを押すことで接近する列車の乗務員や駅係員などに異常を知らせるとともに、付近の列車を自動的に停止させます。全駅のホームに設置しています。



### ▶注意喚起ライン・内方線付き点状ブロック

線路への転落や、列車への触車防止を図るため、ホーム端をオレンジ色に塗装し、注意喚起を行っているほか、目の不自由なお客様の転落防止対策として、ホーム縁端部にある警告ブロックにホームの内側を示す内方線の整備を完了しています。



### ▶ホーム下退避スペース・ステップ

お客様がホームから転落された場合の緊急避難場所として、ホーム下に退避スペースを整備しています。また、退避スペースのない箇所には、ホームに上がりやすくするためのステップを設置しています。



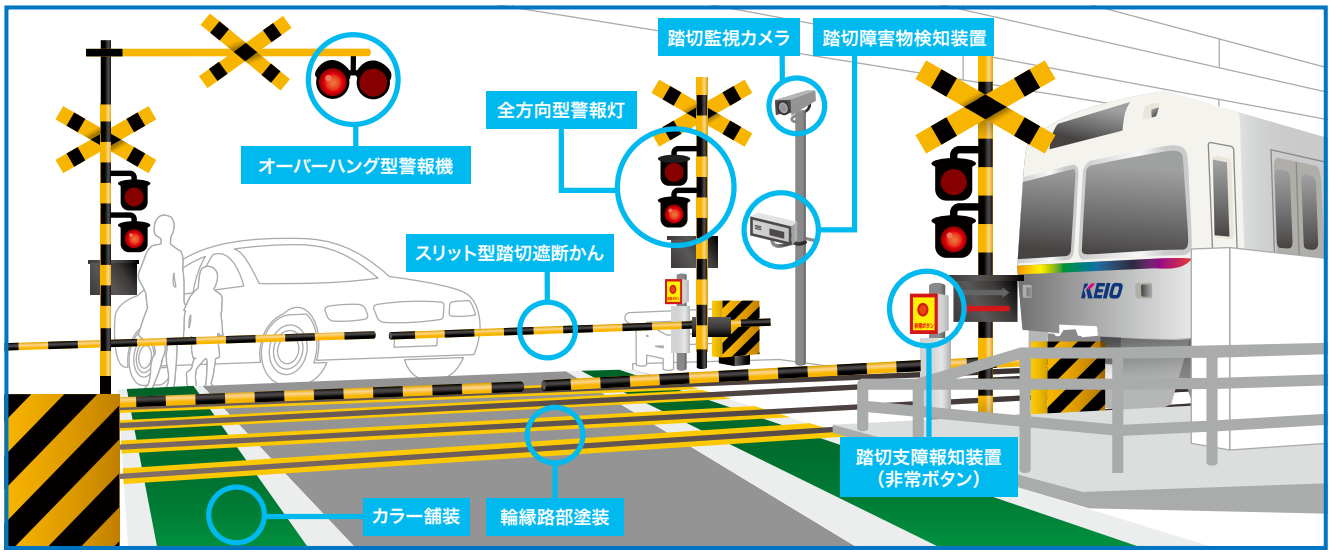
ホーム下退避スペース



ホーム下ステップ

## 踏切の安全対策

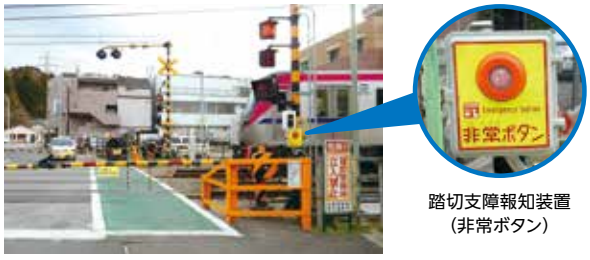
踏切での安全を確保するため、各種保安装置を設置しています。




### ▶踏切支障報知装置（非常ボタン）

踏切での列車と自動車などとの接触事故を未然に防止するため、すべての踏切に設置しています。踏切内で閉じ込められるなどの緊急事態が生じた場合、ボタンを押すと、運転士に異常を知らせるとともに、付近の列車を自動的に停止させます。

また、踏切の全長が長く、渡りきれずに踏切内に閉じ込められた場合に、通行者が操作できる非常ボタンを踏切内に設置しています。




踏切支障報知装置
（非常ボタン）



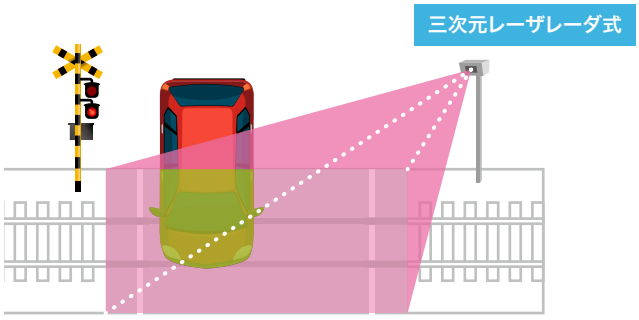
### ▶踏切障害物検知装置

踏切での列車と自動車などとの接触事故を未然に防止するため、87カ所の踏切に設置しています。踏切内に何らかの障害物を検知すると、運転士に異常を知らせるとともに、付近の列車を自動的に停止させます。

従来の光線式より高い精度で検知できる高機能型（エリア検知式）への更新を進めています。

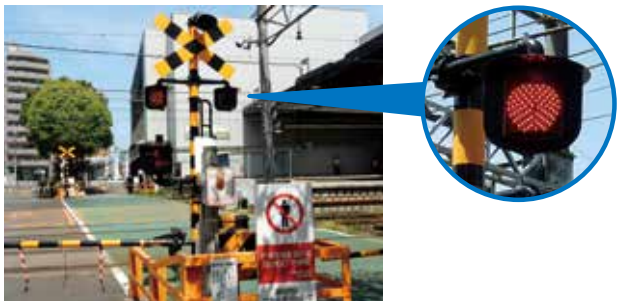


三次元レーザーレーダ式
障害物検知装置



### ▶全方向型警報灯

どの角度からも点滅が確認できる全方向型警報灯の導入を進めています。



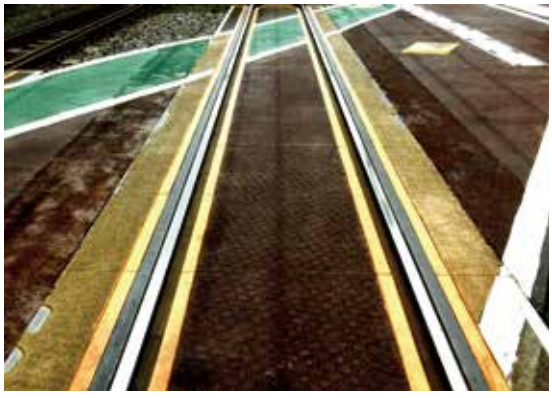
### ▶スリット型踏切遮断かん

自動車などによる折損を防止するため、屈折可能なスリット型踏切遮断かんを一部の踏切に導入しています。




### ▶輪縁路部塗装

自転車やベビーカーなどの車輪が輪縁路部（道路と線路の溝）に落ちることを防止するため、塗装を行い、注意喚起を図っています。



### ▶オーバーハング型警報機

遠くからでも踏切の存在がわかるよう、一部の踏切では道路上の高い位置に警報機を設置しています。



### ▶踏切監視カメラ

踏切事故の防止や、事故発生時などの状況確認を行うため、踏切に監視カメラの設置を進めています。

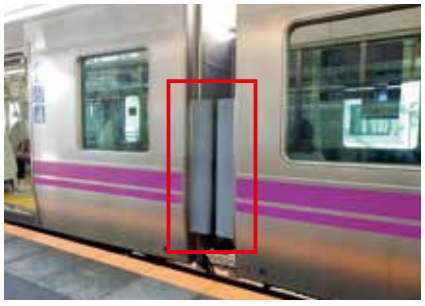




## 車両の安全対策

### ▶車両外幌

ホームからの転落事故を防止するため、車両の連結部に外幌を設置しています。



### ▶防護無線装置

列車の脱線や踏切内での立ち往生などにより、他の列車の運行に支障を来す恐れがある場合、乗務員が乗務員室にあるボタンを押し、無線による信号を発報する装置です。この信号を受報した列車の運転士は直ちに列車を停止させ、事故を未然に防ぎます。



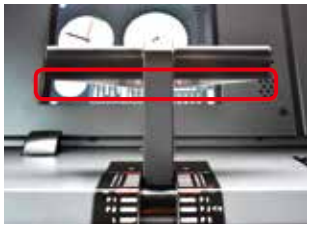
### ▶避難はしご

万一、事故などが発生した場合、お客様を車外に避難誘導するため、非常用の脱出はしごを搭載しています。



### ▶車両の緊急停止装置

運転士の体調が急変した場合などに備えて、ハンドルから手が離れると自動的に非常ブレーキが作動する運転士異常時列車停止装置や、車掌が強制的に非常ブレーキをかける装置を搭載しています。



運転士異常時列車停止装置




車掌非常スイッチ

### ▶非常通報装置

車内の異常を乗務員に知らせる装置を全車両に設置しています。また、一部の車両では、乗務員と直接通話ができる非常通報器を設置しています。




### ▶車内防犯カメラ

テロ行為などの未然防止や、車内での迷惑行為などを鑑み、一部の車両に防犯カメラを設置しています。なお、映像データは社内規程に則り、厳正に管理しています。




5000系車両の防犯カメラ

## 駅の安全対策

### ▶防犯カメラ

駅構内の状況確認や犯罪行為などの抑止を目的として、全駅に防犯カメラを設置し、駅、本社、総合指令センターにおいて常時確認することができます。



防犯カメラ



改札口の様子

### ▶地下駅火災対策

地下駅では複数の避難経路を確保するほか、新宿駅において排煙設備および防火区間の設置工事を行うなど、火災対策を行っています。



ウォータースクリーンによる
防火区画（新宿駅）

### ▶避難経路図

火災や震災時などの避難誘導のため、駅構内に避難経路図を表示しています。地下駅については蓄光タイプのパネルにより、暗所でも確認できるものになっています。




## 脱線防止対策

### ▶脱線防止ガード

半径300m以下の曲線に設置しています。また、一部のポイント（分岐器）や踏切道にも設置しています。



### ▶PQモニタリング台車（京王線）

車輪がレールを押す力の比（脱線係数Q/P）を測定し、営業運転を行いながら脱線の危険性を常時監視しています。



# 日々の保守管理

## 総合高速検測車

実際の列車と同じ速度で走行しながら、架線と軌道の状況を同時に検測することができる総合高速検測車を京王線に導入しています。検測で得られたデータを保守計画に反映し、安全性・乗り心地の向上を図っています。




総合高速検測車

## 構造物

高架橋・トンネル・橋梁・擁壁などの構造物については、定期的に目視検査や打音検査を実施するとともに、必要に応じて補修工事を実施しています。



トンネル天井部の点検

## 軌道

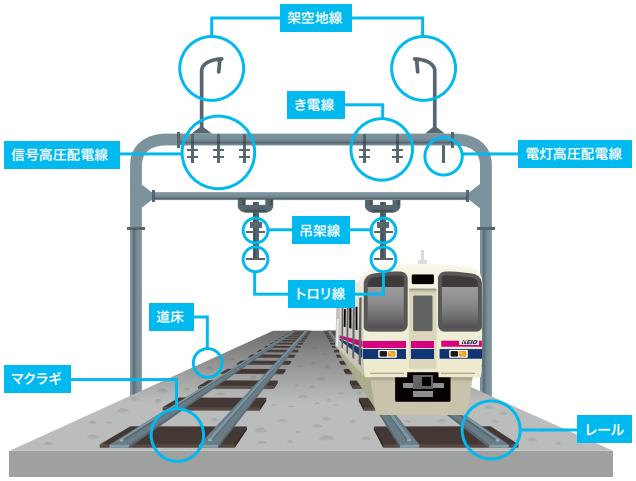
日中に総合高速検測車や測定機器を用いたさまざまな点検を行い、終電後には点検結果に基づき、軌道のゆがみの整正や各種部品の交換などを行っています。京王線の道床つき固めにはマルチプルタイタンパーという大型の作業車を使用しています。



マルチプルタイタンパー

## 架線（吊架線、トロリ線）

総合高速検測車や目視により外観に異常がないか点検をしているほか、終電後には、測定器などを用いた点検や架線の高さの調整、各種設備の交換などを行っています。



## 車両

列車を安全に運行するために定期検査を行っています。日常的な検査は検車区（京王線は若葉台・高幡不動、井の頭線は富士見ヶ丘）で実施し、大規模な検査と修理は若葉台工場で実施しています。

### ▶若葉台工場

4年または走行距離が60万kmを超えない期間に行う「重要部検査」、8年を超えない期間に行う「全般検査」のほか、大規模な修理やリニューアル工事を行っています。



車体吊り上げ



更新した台車検修ライン

### ▶検車区

10日を超えない期間に行う「列車検査」や、3カ月を超えない期間に行う「月検査」のほか、臨時の小規模な修理や車両の清掃を行っています。また、若葉台検車区では床下型車輪旋盤装置による車輪の削正を実施し、静かで乗り心地の良い車両を維持しています。



ドアの点検



運転台の点検

**VOICE**



車両電気部 高幡不動検車区
指導技術掛兼限定運転士
**宇治野 航士**

京王線車両の保守・点検等を日々行っています。
私が安全のために実践しているのは「一声かける」ことです。常に周囲の作業者へ気を配り、一声かけることで相手に気付きを生むだけでなく、自身の安全意識向上につながると考え実践しています。今後も率先して声かけを行い、労働災害撲滅に努めます。

# 災害などへの備え

## 構造物などの耐震補強

新たな耐震基準に適合した構造物とするため、橋梁、盛土区間や高架橋柱、トンネルを対象とした耐震補強を実施しています。



高架橋柱の耐震補強



盛土区間の擁壁部耐震補強

## 降灰対策

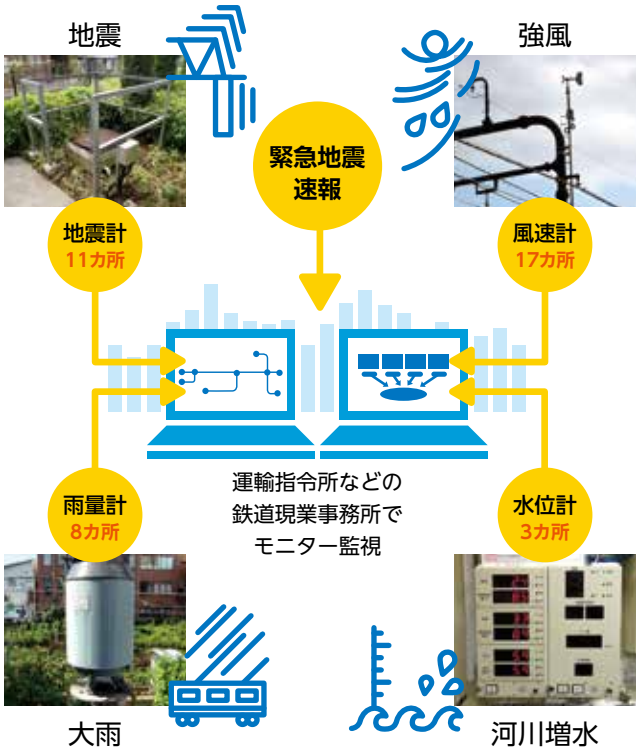
富士山をはじめとする火山の噴火に備え、線路上に積もった火山灰を除去するカートを、京王線・井の頭線あわせて3台導入しています。また、沿線の拠点に除灰用備品も配備しています。



除灰カート

## 気象情報システム

自然災害に早期に対応するため、沿線に地震計・風速計・雨量計・水位計を設置しています。それぞれの計器で観測されたデータは運輸指令所をはじめとする各鉄道現業事務所において、24時間体制で監視しています。




### ▶地震

沿線11カ所に地震計を設置しています。地震計が一定以上の震度を感知すると、列車無線を通じて自動的に全列車に警報を送るとともに、列車を停止させます。さらに、気象庁の「緊急地震速報」を活用し、震度4以上の地震発生が想定される場合、列車無線を通じて自動的に全列車に警報を送り、乗務員が列車を安全な場所に停止させます。

### ▶強風

沿線17カ所に風速計を設置しています。観測された瞬間風速に応じた速度規制、運転中止の基準を定めています。また、井の頭線において、防風壁の設置工事を継続的に実施しています。

### ▶大雨

沿線8カ所に雨量計を設置しているほか、多摩川など3カ所に水位計を設置しています。加えて、気象情報会社から提供される解析雨量のデータを活用しています。観測された時間雨量、累積雨量に応じて、速度規制、運転中止の基準を定めています。

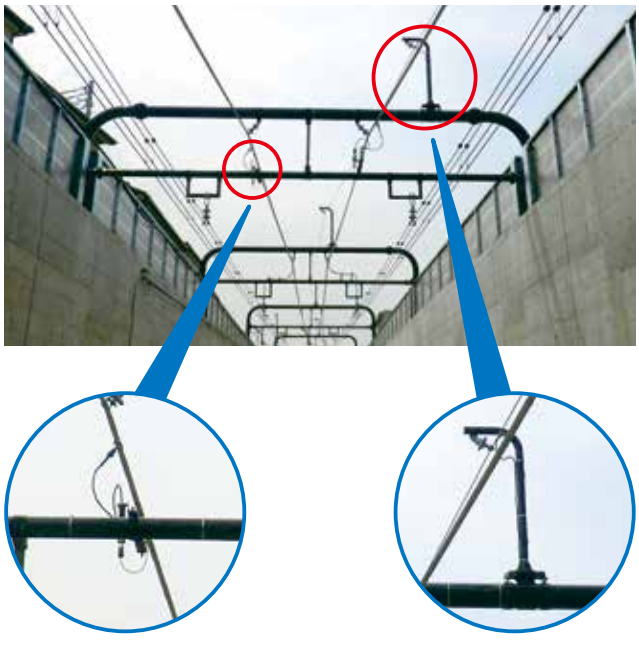
また、高尾線では土砂崩壊対策として、線路脇斜面の補修工事を継続的に進めています。



法面改修（北野駅～京王片倉駅間）

## 落雷対策

き電線より一段高いところに避雷針の役割を果たす「架空地線」と呼ばれる防護線を必要な箇所へ設置完了したほか、電子機器の耐雷性強化を図っています。



避雷器　　架空地線

## 降雪対策

### ▶パンタグラフの改良

従来のひし形のものより着雪面が少ないシングルアームパンタグラフを採用しています。また、車両基地などの架線には着雪・着氷を防止するため、ヒーターを内蔵した電線を使用しています。




### ▶融雪器の導入

地下駅を除くすべてのポイント（分岐器）に電気融雪器を設置しています。

なお、2015年度からこれまでの電気融雪器に比べて融雪能力の高い温水循環式融雪器を導入しています。



## 帰宅困難者対策

大規模災害などにより、帰宅が困難になったお客様への対応として、全駅に備蓄品（飲料水、救急シートなど）を配備しています。



# そのほかの取り組み

## サービスの質の向上

### ▶各種技能コンテストの開催

サービス力向上を目的として、各種技能コンテストを開催しています。2018年度は、1月に車内アナウンスやお客様案内といった車掌の業務スキルを競うコンテスト、5月に運転士の運転技能を競うコンテストなどを開催しました。



運転技能コンテストの風景




車掌コンテストの風景



成績優秀者の表彰

## お客様サポートの充実

### ▶現業係員の研修

2016年度から、実際の駅や車両を使用して、盲導犬を帯同したお客様や白杖を使用するお客様へのご案内や接遇スキルを向上させるための講習会を実施しています。



### ▶声かけ・サポート運動の実施

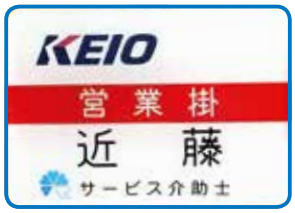
お客様が安全に、かつ安心して鉄道施設をご利用いただけるよう、お困りになっているお客様を見かけた際は、社員が積極的にお声かけをするとともに、列車への乗降の誘導案内を実施しています。




また、社員がお声かけをするだけでなく、鉄道をご利用になるお客様にも、お困りの方に対して助け合いのご協力を呼びかけています。

### ▶サービス介助士の資格取得の推進

障がいのあるお客様への接遇向上のため、当社ではサービス介助士の資格取得を推進しており、すべての駅係員および乗務員が取得しています。

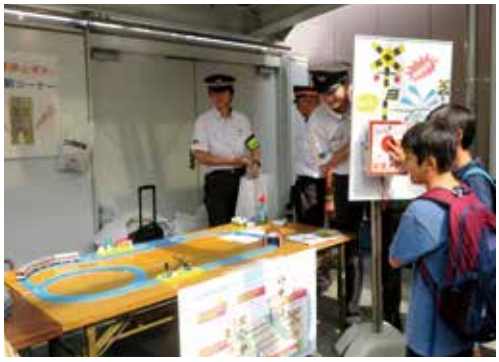



なお、有資格者は胸章に表示し、お客様にもわかりやすくしています。

## 安全啓発活動

### ▶デモ機での操作体験

交通安全運動期間中に、駅構内にて安全設備の操作を体験していただくことで、万一の際のご協力をお願いしています。



駅構内でのデモ機による操作体験

### ▶踏切での呼びかけ

交通安全運動期間中に、踏切の無理な横断などをしないよう呼びかけを行い、事故の未然防止に努めています。



踏切での啓発活動




啓発活動での配布物

### ▶高齢者施設や学校への訪問

交通安全運動期間中に、高齢者施設や学校などへの訪問により、安全な鉄道利用を呼びかけています。



高齢者施設での安全教室

### ▶安全啓発ビデオの放映

当社のキャラクターを用いた安全啓発ビデオを活用し、駅構内での放映や、沿線の幼稚園・小学校などで安全啓発活動を行っています。




駅構内でのビデオ放映



小学校での安全教室

# グループ会社の安全対策

## 運輸安全マネジメントに基づく安全対策

京王グループ運輸業各社では「運輸安全マネジメント」に取り組み、安全管理規程の制定、事故件数削減目標の設定、安全意識の向上などを行うとともに、安全関連情報をホームページで公表しています。

また、社長以下役員が営業所を巡回し、安全管理体制の確認や、営業所員・乗務員と安全に関する意見交換を行うなど、積極的なコミュニケーションを通じて、輸送の安全確保を図っています。

## バス

### ▶安全装置の導入

#### ●ドライブレコーダー

京王電鉄バスグループ・西東京バスでは、車内外に設置されたカメラとマイク（集音装置）により映像・音声情報を記録・再生するドライブレコーダーを全車両に導入しているほか、左折時や進路変更時の事故防止を目的として左折チャイムを導入し、路線バスに車内確認用の補助ミラーを設置しています。



ドライブレコーダー

#### ●運転訓練車

京王電鉄バスグループでは、アイマークレコーダー※1や安全確認装置※2などにより、運転の様子を映像と音声で記録するとともに、運転状況をチェックできる車内モニターが備えられている「運転訓練車」を、関東の各民営バス会社に先駆けて導入しています。

※1 アイマークレコーダー：乗務員が装着したカメラで目の動きを映像化して記録する装置
※2 安全確認装置：乗務員が安全確認を必要とする箇所を点灯などで示す装置



運転訓練車

#### ●衝突被害軽減ブレーキ

高速バス事業では、走行中に高精度ミリ波レーダーで前車との車間距離を監視し、車間距離が近づき衝突の恐れがある場合に警報音で注意を促すとともに、衝突の可能性が高いと判断した場合にはブレーキを作動させ、万一の衝突事故の被害を低減する「衝突被害軽減ブレーキ」を搭載した車両を導入しています。




衝突被害軽減ブレーキ搭載車両

そのほかにも事故防止対策機器を積極的に導入し、京王電鉄バスグループ・西東京バスでは、車間距離警報装置を145両、またバスジャック対策として、走行中に運転を妨害されないようにするための囲い（ドライバーズガード）を107両に導入しています。

### ▶事故の未然防止

#### ●乗務員の教育

京王電鉄バスグループでは、通常では体験できない運転上の危険などを体験する泊りがけの研修を行うなど、安全運転に対する意識の向上を図っています。西東京バスでは、全乗務員を対象に、社長懇談会、事故防止・接遇向上の座学研修、運転実技訓練の3部構成の定期研修を開催し、社長が会社方針の説明を行うほか質疑応答を通じ全乗務員と直接対話することで、現場の声を安全対策につなげています。



運転実技訓練



座学研修

#### ●乗務員の健康管理

京王電鉄バスグループ・西東京バスでは、乗務員の健康リスクを管理するために、SASスクリーニング検査や脳ドック（MRI）検査を実施し、健康起因事故の未然防止に努めています。



管理職から営業係への健康面談

## タクシー

京王自動車グループでは「安全・安心」の取り組みとして、IT会社と「安全運転支援システム」の共同開発を進めています。

急ブレーキ・急加速・急減速・車間距離等「ヒヤリ・ハット」があった際の画像やデータを一早く乗務員と把握するとともに、乗務員自身が「自分の運転姿勢・くせを振り返ることができる」システムであり、安全運転の向上を目指し、新人乗務員や女性乗務員を対象に導入していきます。



車庫内で一時停止の実技講習

## トラック

京王運輸では、2008年に全日本トラック協会が認定する「安全性優良事業所」の取得率100％（全5事業所）を達成しました（業界全体の取得率は29.6％）。

また、安全性優良事業所に10年間認定されたことにより、多摩営業所が2017年に関東運輸局長より表彰されました。




安全性優良事業所に交付される「Gマーク」が貼付されたトラック

社会性報告

# 住んでもらえる、選んでもらえる沿線づくり

## お客様の利便性・快適性の向上 ☞ P.52

- 駅サービスの向上
- 車内サービスの向上
- 駅・車内での情報提供
- グループの取り組み



## お客様との対話 ☞ P.56

- 積極的な広聴活動
- ホームページや冊子における多言語案内
- その他のコミュニケーション



## 多世代が生活しやすい沿線づくり ☞ P.58

- 子育て支援の取り組み
- 地域高齢者を支える事業
- 暮らしのお手伝い



## 人材の活用と働きやすい職場づくり ☞ P.64

- 人材雇用
- 働きやすい職場環境づくり
- 人権・労働安全衛生
- ダイバーシティ・マネジメントの推進
- 社員のキャリア支援

## 株主・投資家・取引先等への取り組み ☞ P.69

- 株主・投資家の皆様との対話
- 取引先への取り組み

## 地域社会・行政との連携 ☞ P.62

- 沿線自治体との連携
- 中部地方との連携




## 地域社会への貢献 ☞ P.60

- 文化・教育・子育て支援イベント
  京王アカデミープログラム
- チャリティ・スポーツ振興・
  産学連携





# 地域社会の持続的な発展と
# お客様のより良い暮らしの実現に貢献していきます



企業主導型保育所
「京王キッズプラッツ多摩センター」

常務取締役
（経営統括本部長）
**伊藤 俊司**

京王グループは、京王グループ理念のもと、鉄道、バスをはじめとした幅広い事業を通じて、お客様にとって利便性が高く快適と感じていただけるような生活サービスを提供することで、沿線地域が将来にわたって発展し、「住んでもらえる、選んでもらえる」沿線づくりを進めています。

具体的には、国際的なスポーツイベントに向けたホームドアの整備や公共無線LANサービスの拡充等により駅や車内サービスを向上させたほか、座席指定列車「京王ライナー」において、通勤時間帯の快適性向上のため朝間時間帯の都心方面への運行を開始いたしました。

地域社会との連携については、「京王アカデミープログラム」など、文化・スポーツ・教育・子育て支援を継続していくほか、「京王笹塚ビル」をリノベーションした「笹塚テラス」内の「笹塚アキチ!」を地域住民の方が交流できるラウンジとするなど街の活性化につなげています。

そのほか、京王プラザホテル多摩にサテライトオフィス「KEIO BIZ PLAZA」を開業したほか、企業主導型保育所「京王キッズプラッツ多摩センター」を開設するなど、仕事と子育ての両立を支援しています。

一方、京王グループで働く社員に対しては、引き続き多様な人材が長期にわたって活躍できる環境づくりやダイバーシティ・マネジメントを推進してまいります。

今後も、様々なステークホルダーの皆さまのニーズにお応えし、地域社会とともに成長し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

## 京王グループとステークホルダーのつながり

京王グループ行動規範に基づき、ステークホルダーの皆さまに対して以下のような取り組みを進めます。

- お客様の利便性、快適性の向上
- お客様との対話
- 多世代が生活しやすい沿線づくり
- 地域社会への貢献
- 地域社会・行政との連携
- 人材の活用と働きやすい職場づくり
- 株主・投資家・取引先等への取り組み



topics

## 仕事・子育て・創業を支援する取り組み

### ●サテライトオフィス「KEIO BIZ PLAZA」

2018年10月、京王プラザホテル多摩2階に会員制サテライトオフィス「KEIO BIZ PLAZA」を開業しました。職住近接を実現し、働き方改革の推進や、多様な方々にご利用いただくことで、交流、協業、イノベーションを促します。



### ●企業主導型保育所「京王キッズプラッツ多摩センター」

2019年6月、企業主導型保育所「京王キッズプラッツ多摩センター」を開設しました。

仕事と子育ての両立を支援するとともに、多摩市の待機児童解消に寄与し、沿線価値のさらなる向上を図ります。内装や家具の一部には多摩地域の天然木材を使用し、木のぬくもりを感じることができます。



INTERVIEW



京王電鉄 沿線価値創造部長

**古屋 圭子**

保育所の運営は、京王子育てサポートが行い、基準を上回る人数の保育士を配置することで、認可保育所・東京都認証保育所と同等のサービス水準のぬくもり保育を提供しています。

サテライトオフィスと併せて利用していただくことで、「保育所付サテライトオフィス」として仕事と子育ての両立を支援していきます。

## 通勤時間帯の快適性向上

### ●「京王ライナー」の運行時間帯の拡大

2019年2月にダイヤ改正を行い、座席指定列車「京王ライナー」の朝間時間帯の運行（上り）を開始しました。夜間に加え、朝間におけるお客様の快適通勤や着席ニーズにお応えしています。

### ●時差通勤を促進する取り組み

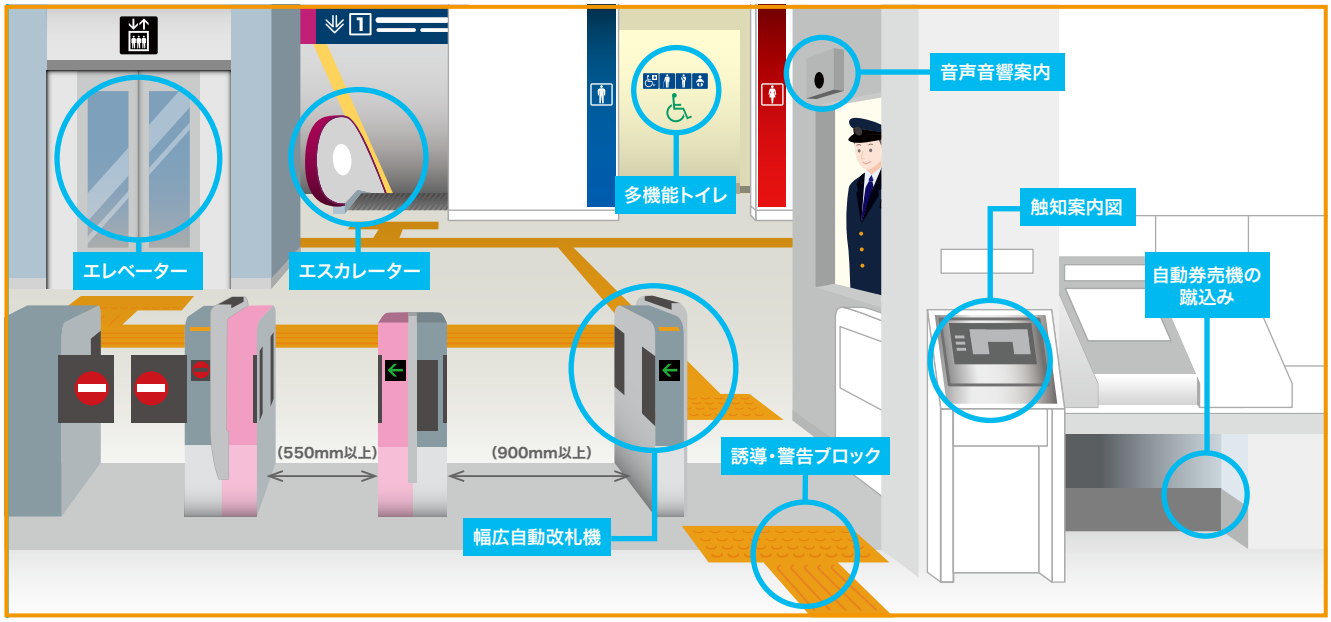
東京都が実施する「スムーズビズ」の集中取り組み期間に合わせて、夕間時間帯の臨時京王ライナー「時差Biz号」を運行しました。




京王ライナー

# お客様の利便性・快適性の向上

## 駅サービスの向上




### ▶エレベーター・エスカレーター・スロープ

全駅の出入口から各ホームまで、段差がなく移動できるよう、エレベーターやスロープを設置しているほか、エスカレーターを設置しています。エレベーターは66駅、エスカレーターは47駅に設置しています。2018年度は府中駅東側にエスカレーターを増設したほか、新宿駅、飛田給駅にエレベーターを増設しました。


府中駅 エスカレーター


飛田給駅 エレベーター

### ▶幅広自動改札機

車いすをご利用のお客様や大きな荷物をお持ちのお客様などにご利用いただけるよう、通路幅を広くした自動改札機を68駅に設置しています。

### ▶触知案内図・点字による案内

凹凸・点字・ピクトグラム（案内用図記号）を用いた案内図を全駅に設置しています。

### ▶お客様用トイレの環境改善

車いすをご利用のお客様や小さなお子様連れのお客様にも安心してご利用いただけるよう、「多機能トイレ」を68駅に設置しているほか、お客様により快適にご利用いただけるよう、トイレの洋式便器化やリニューアルを進めています。


飛田給駅（リニューアル後）

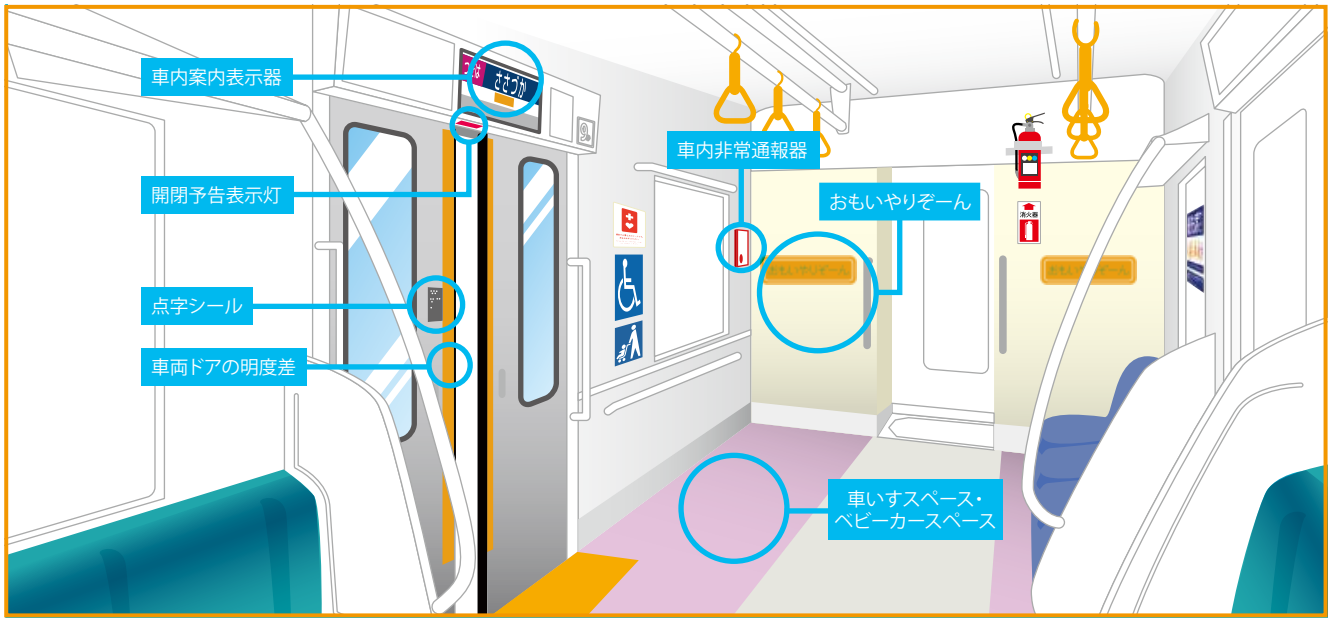

多機能トイレ

### ▶駅係員呼出インターホン

ホーム上で緊急事態が発生した場合やご案内が必要な場合などに、駅係員と通話ができるインターホンを全駅に設置しています。



## 車内サービスの向上




### ▶おもいやりぞーん

車内の優先席を明確化するため、優先席付近のつり革や座席の色を変えた「おもいやりぞーん」を設置しています。「おもいやりぞーん」付近では混雑時には携帯電話の電源をお切りいただくようご案内するなど、人に優しい車内環境の整備に努めています。

### ▶車両のリニューアル

車両はユニバーサルデザインの考え方を採り入れ、すべてのお客様がご利用しやすい車内環境の整備を進めています。車いすスペース・ベビーカースペースについては、全編成に設置しており、既存車両のリニューアルに合わせ、全車両に拡大します。2018年度は、京王線2編成（20両）、井の頭線3編成（15両）に整備しました。


ユニバーサルデザインによる車内の一例


車いす・ベビーカースペース

### ▶女性専用車

2000年に実施した試験導入の結果を踏まえて、2001年から平日23時以降に新宿駅を出発する急行系列車の最後部1両を女性専用車として運転を開始し、2005年から平日朝間・夕間の通勤時間帯にも拡大しました。

なお、女性専用車には女性のお客様の他、小学生以下のお客様、身体の不自由なお客様とその介助者の方もご乗車いただけます。

### ▶車内案内表示器の2画面化

車内ドア上に液晶ディスプレイを2画面設置し、運行案内およびニュースや天気予報などのコンテンツ、交通広告を放映しています。2018年度は京王線2編成（20両）、井の頭線3編成（15両）に整備しました。



## 駅・車内での情報提供

### ▶お客さま案内ディスプレイ

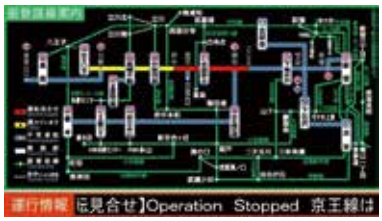
通常時は電車の発車案内や各種情報を表示するほか、事故や災害などで列車の運行に遅延などの支障が発生した異常時には、支障区間や振替輸送経路などを、視覚的にわかりやすく表示する「お客さま案内ディスプレイ」を全駅の改札口付近に設置しています。

また、一部のご案内については、英語表記でも行っています。

【通常時】




【異常時】




お客さま案内ディスプレイ

### ▶タブレット端末の導入

お客様に分かりやすいご案内をするため、列車の最新の運行状況を確認する機能のほか、翻訳・筆談などのアプリを搭載したタブレット端末を全駅に導入および車掌が携帯しています。

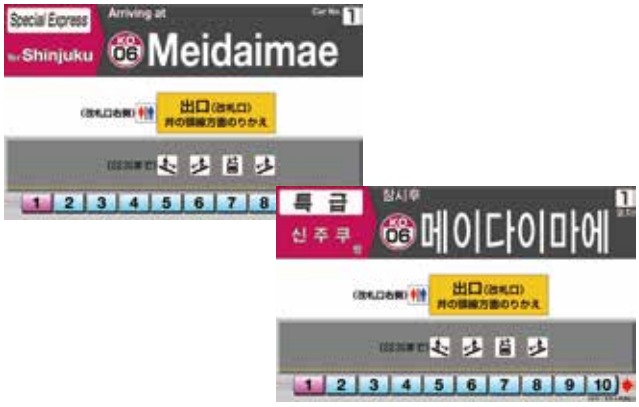






### ▶外国語による情報提供

外国人のお客様へのご案内の拡充を図るため、駅の看板や車内案内表示器などで4カ国語表記（日・英・中・韓）によるご案内を行っています。また、一部の車両には自動放送装置を導入し、日本語と英語による停車駅や乗り換えなどのご案内を実施しています。




車内案内表示器（液晶画面）

### ▶駅・電車内での公衆無線LANサービス

無料Wi-Fiサービス「KEIO FREE Wi-Fi」を20駅3施設において日本語、英語、中国語（繁体・簡体）、韓国語で提供しているほか、2017年9月に登場した5000系車両において「KEIO TRAIN FREE Wi-Fi」サービスを提供しています。

また、2019年から京王線・井の頭線全駅および列車内（一部の列車を除く）で、株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレスが提供する訪日外国人のお客様向けの無料Wi-Fi接続支援アプリ「TRAVEL JAPAN Wi-Fi」での接続対応を開始しました。

KEIO FREE Wi-Fi　KEIO TRAIN FREE Wi-Fi

公衆無線LANサービス

## グループの取り組み

### ▶バス

京王電鉄バスグループ・西東京バスは、路線バス（高速・貸切を除く）の全車両がバリアフリー対応となっています。車体が傾斜し乗降しやすくなるニーリング機能のあるノンステップバス981両をはじめ、リフト付きバス10両、スロープ付きワンステップバス11両を導入しています。



ニーリング機能付きノンステップバス

### ▶サポートタクシーサービス

#### ●民間救急タクシー「サポートCab」

東京消防庁の救命講習を受講した乗務員が、緊急性が低く症状の軽い患者を搬送する民間救急タクシーサービスです。一刻を争うような重症患者に少しでも早く救急車を回す目的で導入しています。

#### ●送迎サービス

「はぴママサポートタクシー」は、東京防災救急協会のマタニティーサポート講習を受講した乗務員による、妊娠中の外出時などにご利用いただけるサービスです。「はぴチルサポートタクシー」は、小学生の学習塾や習い事、学童保育への送迎時にご利用いただけます。



マタニティーサポート講習の様子

はぴママサポートタクシーロゴ

### ▶ホテル

京王プラザホテルでは、バリアフリー活動を支える社内横断的プロジェクト「バーズアイ」のメンバーと京王プラザホテル労働組合による労使共催チャリティイベント「ボランティア・プラザ」を開催しています。

2018年8月のボランティア・プラザでは障害者スポーツ「ボッチャ」の体験に加え、盲導犬や介助犬、聴導犬の役割を紹介する「補助犬デモンストレーション」を実施しました。




「ボッチャ」の体験ブース

**topics**

### 【多摩ニュータウン】自動運転サービス実証調査を実施

内閣府・国土交通省の「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）自動運転プロジェクト」のひとつとして京王電鉄バスが日本総合研究所と共同で、2019年2月、多摩ニュータウン諏訪・永山団地で自動運転サービスの実証調査を実施しました。

今後も、地域のお客様のニーズを捉え、安心・便利・手軽さを備えた移動サービスの実現をめざします。



# お客様との対話

## 積極的な広聴活動

### ▶京王お客さまセンター

お客様からのご意見・ご要望をいただいています。

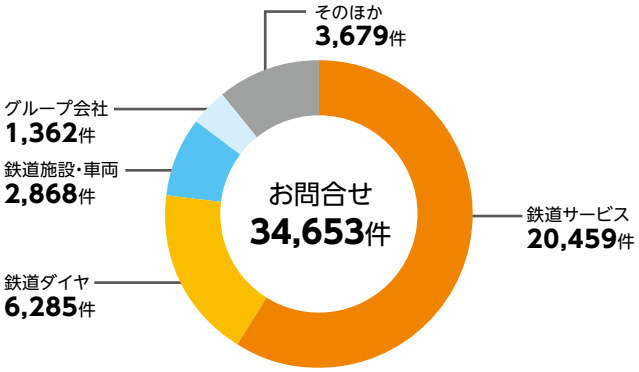
2018年度は34,653件の声を頂戴し、うち29,612件は鉄道に関するものでした。いただいた声に対しては、速やかに回答しているほか、担当部署においてサービス向上や従業員教育に活用しています。

**電話 042-357-6161**
**受付時間 9:00～19:00年中無休（年末年始を除く）**

### ▶車内温度に関するご意見・ご要望

ご意見・ご要望が多い声の一つに、電車内の温度に関するものがあります。ホームページ上に投稿フォームをご用意し、詳細な状況を伺うことで、適切な温度管理に活用しています。

### ▶お客様の声（2018年度）




### ▶お客様満足度調査

電車の運行・ダイヤや、係員・駅施設のサービスレベルなどについて、お客様満足度調査を定期的に行っています。京王お客さまセンターには寄せられない、潜在的なご意見を伺うことで、問題点の把握と改善に努めています。

## 改善活動事例のご紹介

当社では京王ニュース内で、「お客様の声」のコーナーを設け、お客様の声を反映した事例などの紹介を行っています。

**お客様の声**

新宿駅などで京王の無料Wi-Fiを利用しようとすると外国語となってしまいます。日本語でも使えるようになりませんか。

**改善しました**

**無料Wi-Fiサービス「KEIO FREE Wi-Fi」が日本語対応を開始しました。**

これまでの英語・中国語（繁体・簡体）・韓国語の3カ国語対応から日本語にも対応しました。

京王線は新宿駅ほか16駅、井の頭線は渋谷駅・下北沢駅・吉祥寺駅の計20駅と沿線の3施設でサービスを提供しています。

KEIO FREE Wi-Fi

## INTERVIEW



鉄道営業部 京王お客さまセンター 所長

**野宮　満**

お客様からいただいたご要望の中で、2018年度は無料Wi-Fiサービス「KEIO FREE Wi-Fi」の日本語対応を実施しました。

今後も、お客様からいただく声を事業における問題点の把握や改善につなげてまいります。

## ホームページや冊子における多言語案内

### ▶ホームページ・Facebook

京王ホームページでは、英語、中国語（簡体字・繁體字）、韓国語、タイ語、フランス語での情報案内をしています。また、2018年3月に中国語（繁體字）のFacebookを開始し、訪日リピーターの多い台湾・香港のお客様によりタイムリーな沿線情報の提供を行っています。




京王ホームページ（英語）

### ▶各種案内パンフレット・動画

京王電鉄では、外国人のお客様に京王沿線の観光スポットを紹介する冊子や動画などを配布・公開しています。西東京バスでは、バスの乗降ポイントを英語、中国語、韓国語で解説する動画を制作し、YouTubeで公開しています。




沿線情報誌（英語・中国語・タイ語）



沿線紹介動画
One Day Fun Day! Ride the Keio Line




西東京バス「バスの乗り方動画」

## その他のコミュニケーション

### ▶街はぴ

京王線・井の頭線のおでかけスポットやイベント・グルメ情報をまとめた、沿線情報サイト「街はぴ」を運営しています。




街はぴ

### ▶Facebook（けい太くん、プラットガール）

当社キャラクター「けい太くん」や「プラットガール」による事業情報、沿線情報の発信をしています。



けい太くんFacebook

### ▶交通教室

京王電鉄、京王電鉄バスグループ、西東京バスでは、地域の学校施設を訪問し、電車・バスの安全な利用の仕方やマナーについて動画などでわかりやすく授業を行っています。動画の教材は、京王ホームページやYouTubeなどでも公開しています。



授業の様子




けい太くん安全・マナー教室ビデオ

# 多世代が生活しやすい沿線づくり

京王グループでは、幅広い世代の方々が生活しやすくなるよう、ライフスタイルに応じたサービスをお届けしてまいります。

## 子育て支援の取り組み

子育て世代へ幅広いサービスを提供し、子育てしやすい環境づくりを行っています。

### ▶京王キッズプラッツ

認可保育所・東京都認証保育所「京王キッズプラッツ」は、家庭的な雰囲気の中、お子様一人ひとりの発達や気持ちに寄り添い、豊かな成長をサポートします。



京王キッズプラッツ

### ▶事業所内保育所「サクラさーくる」

多摩市の認可基準に基づく地域型事業所内保育所として、地域のお子様の受け入れも行っています。



事業所内保育所「サクラさーくる」

## 地域高齢者を支える事業

多様化するライフスタイルにあわせシニア向け住居の充実を図っています。

### ▶介護付有料老人ホーム「アリスタージュ経堂」

バリアフリーの居室と魅力的な共用空間を有するシニアレジデンスで、ご入居者の身体の状況に応じて、生活サポートサービスや介護サービスなど様々なサービスを提供しています。

### ▶サービス付き高齢者向け住宅「スマイラス聖蹟桜ヶ丘」

快適な住み心地にこだわったバリアフリーの住戸と24時間体制の有人管理により、シニアの自由で安心な暮らしをサポートします。また、地域の方の利用も可能な在宅ケアサービスの拠点も併設しています。

施設内で、沿線の方を対象とした認知症や遺言・相続に関するセミナーも開催しました。



スマイラス聖蹟桜ヶ丘



セミナーの様子

## 暮らしのお手伝い

子育て世代からシニア世代まで家族みんなの生活にゆとりを届ける生活サポートサービスの提供を行っています。

### ▶京王ほっとネットワーク

#### ●移動販売

沿線地域（多摩市内・日野市内・八王子市内など）にて日常の買い物に不便なお客様を対象に移動販売を行っています。



「移動販売」の様子

#### ●家事のお手伝い

水まわりのお掃除やお洗濯などの家事全般を、経験豊かなスタッフがお手伝いします。



「家事のお手伝い」の様子

#### ●空き家巡回

居住していない住居を定期巡回し、郵便物や施錠の確認、通水・換気や簡易清掃などを行い、写真付きでご報告します。少子高齢化が進む中、安心して暮らせる街並みを維持します。

### ▶京王メモリアル

葬儀や法要の施行のほか、終活のお手伝いや相続準備、葬儀に関する心配事等、沿線にお住まいのシニア層やそのご家族の不安を解消するため、幅広いお手伝いを行っています。



終活相談の様子



京王メモリアルの葬儀ホール

**VOICE**

**地域活動に積極的に参加しています**



京王メモリアル 管理部

**佐竹 有香子**

地域に根差す葬儀社として、終活セミナーや人形供養祭の開催だけでなく、自治会や商店会とのイベントの共催、夏祭りの運営のお手伝い、清掃活動などの地域活動に積極的に取り組んでいます。地域活動への参加を通して、葬儀に関する不安や疑問を気軽にご相談いただけるような、親しみやすい存在になることを目指しています。

# 地域社会への貢献

## 文化・教育・子育て支援イベント　京王アカデミープログラム

京王アカデミープログラム

京王では、沿線の大学・団体などと連携して、沿線地域で育まれてきた多様で豊かな文化資産を見つめ直し、お子さまから大人まで幅広い世代に向けた「学びプログラム」を実施しています。

ともに学び、ともに創り、ともに育つ。

「京王アカデミープログラム」は、より豊かな京王沿線のくらしに向けた、新しい学びのかたちです。

### ▶2018年度に実施した主なイベント

| | 実施イベント | 対　象 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| 教育 | 京王キッズおしごと隊 | 小学生と保護者 | 京王グループでの職業体験を通して、自分の将来の職業について考え、社会の仕組みを知るプログラム。 |
| 教育 | 髙尾山峰中修行体験合宿 | 小学3年～6年生 | 髙尾山薬王院での座禅、法話、写経、水行などを通して、自然の中で学びながら心に残る思い出をつくる一泊二日のプログラム。 |
| 文化 | 講演会<br>「二宮清純が語る『スポーツのチカラ』」 | 大人向け | スポーツの与えるチカラを通じて実現できることや学ぶことを掘り下げ、社会や自身を見つめ直すきっかけを提供する講演会を実施。 |
| 文化 | 沿線めぐり<br>「新選組副長 土方歳三 没後150年」<br>～土方歳三の生い立ちから学ぶ歳三の魅力～ | 大人向け | 土方歳三の菩提寺である高幡不動尊の見学や、護摩祈祷の体験を通し、沿線の文化資産を見つめ直し「学び」と「成長」のきっかけとするプログラム。 |
| 子育て | 子育てサロン<br>～耳をすまして心ワクワク<br>音あそび・アニマルシアター～ | 4～6歳と保護者 | 明星大学と連携し、日頃なじみのある「音」をテーマに聴くことの楽しさや子育てのヒントを気軽に学ぶプログラム。 |

### ▶イベントの様子

●京王キッズおしごと隊





●髙尾山峰中修行体験合宿



●沿線めぐり



●子育てサロン
～耳をすまして心ワクワク 音あそび・アニマルシアター～



**子育てサロン参加者の声**



保護者

子どもが夢中になって楽器を作っていてとても楽しかったです。アニマルシアターも充実した内容であっという間の時間でした。

聴くことの大切さを学び、音に対する関心が深まるとても貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

## チャリティ・スポーツ振興・産学連携

### ▶京王駅伝フェスティバル

2013年から、駅伝競技や親子ランのほか、キャラクターや学生・団体によるパフォーマンス、鉄道イベントなどを味の素スタジアムにて実施しています。参加料の一部は、「東日本大震災みやぎこども育英募金」「いわての学び希望基金」「東日本大震災ふくしまこども寄附金」へ寄付しています。



京王駅伝フェスティバル

### ▶京王音楽祭

1994年から25回実施しています。京王駅伝フェスティバルと同様に、入場料の一部を東日本大震災により被災した子どもたちのために寄付しています。


京王音楽祭

**topics**

### 宮城県知事から感謝状を授与

2014年から継続して「東日本大震災みやぎこども育英募金」に寄付をしたことに対して宮城県知事から感謝状が授与されました。



### ▶スポーツ振興

沿線地域で開催されるスポーツイベントに協賛し、地域の皆様の健康な暮らしづくりを応援しています。

また、八王子がホームタウンであるプロバスケットボールチーム「東京八王子ビートレインズ」と2018年シーズンからスポンサー契約を結びました。京王クリーンキャンペーンには選手・スタッフも参加し、イベントを盛り上げました。


京王クリーンキャンペーン

### ▶産学連携

沿線の大学や高校などと連携し、フィールドワークを通じて地域課題や活性化策に取り組むことで、学生の支援を行っています。


昭和女子大学と連携した
茶道体験の様子

### ▶地域行事への参加（八王子まつり）

八王子まつりのイベント参加や、八王子まつり翌日の清掃活動を2017年から実施しています。


八王子まつり翌日の清掃活動の様子

# 地域社会・行政との連携

## 沿線自治体との連携

### ▶コミュニティバス

東京都内では、自治体が中心となって、コミュニティバス路線を開設しています。京王電鉄バスグループと西東京バスは、利便性の高い街づくりに貢献するため、13の自治体から運行を受託しています。



ちゅうバス（府中市）

### ▶PFI事業

東京都のPFI事業として多摩地域ユース・プラザ整備等事業を京王ユース・プラザが受託し、閉校した都立高校を改修して「高尾の森わくわくビレッジ」を開館し、施設の運営、維持管理業務を行っています。

※PFI…公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金やノウハウを活用することにより、公共サービスの提供を行う事業手法



高尾の森わくわくビレッジ

### ▶指定管理

京王グループでは、「高尾599ミュージアム」や「北野余熱利用センター」などの指定管理者として、自治体の施設等の管理・運営を行っています。



高尾599ミュージアム

**topics**

#### 笹塚アキチ！

●地域交流ラウンジ「笹塚アキチ！」

2019年3月にオープンした中長期滞在者向けの宿泊施設「KARIO SASAZUKA TERRACE」では、地域交流の拠点として活用できるラウンジを設けています。宿泊者同士の交流だけでなく、商店街や地域住民との交流の場、情報の相互発信の場として、利用者の満足度向上と地域消費の促進、街の活性化につなげます。




地域交流ラウンジ「笹塚アキチ！」

### ▶サテライトオフィス「KEIO BIZ PLAZA」

多摩市「ビジネス支援施設」に認定され、ワークスペースの提供や創業支援策の実施、多摩市・稲城市主催「志創業塾」への協力のほか、会員交流セミナー・イベントを定期的に開催し、会員相互の交流や協働、イノベーションを促しています。

「テレワーク・デイズ2018」の期間中では、テレワークを促す取り組みやセミナーを実施しました。



セミナーの様子

## 中部地方との連携

中央道の高速バスエリアの関係自治体や事業者と連携して、新たな広域観光ルートづくりや高速バス乗車券の販売、観光情報の提供等を行うことで、地域活性化に貢献しています。

### ▶中部地方インフォメーションプラザin京王新宿

新宿駅の「京王モール」内に、岐阜県・長野県・山梨県の自治体などが出展する観光案内所を運営しています。

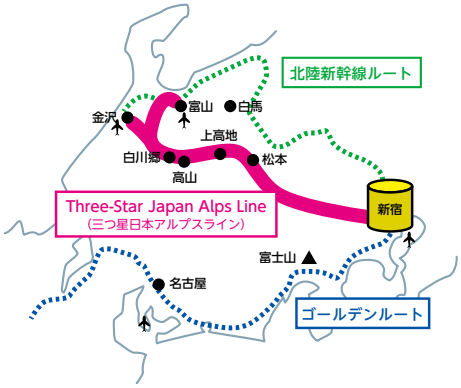
「中央道を主体とした広域観光ルート（三つ星日本アルプスライン）」の拠点として、各地域の観光情報を提供するとともに、高速バス乗車券の販売や観光PRイベントの開催なども行っています。




中部地方 インフォメーションプラザin京王新宿

### ▶三つ星日本アルプスライン（英語名：Three-Star Japan Alps Line）

中央道を主体に高速バスや地域の路線バスを使って新宿と中部地方を旅行することができる広域の観光ルートを「三つ星日本アルプスライン」と名付け、地域の観光産業の活性化に貢献しています。




### ▶高速バスを利用した“貨客混載”による農産物の販路拡大

2017年より開始した岐阜県高山市に続き2018年からは長野県駒ヶ根市とも連携し、高速バスのトランクを活用した「貨客混載」により、両地域の新鮮な農産物を東京へ輸送し、京王ストアや京王百貨店で販売しています。




高速バスを利用した貨客混載

VOICE

**農産物を通じて駒ヶ根の魅力を伝えていきます**



駒ヶ根市 公設地方卸売市場 せり人

**竹上 文隆**

全国的に見ても小規模な卸売市場ではありますが、私たちには駒ヶ根市内すべての小中学校や保育園などの給食向けに出荷しているという農産物の安全・安心と、上級品並みの味へのこだわりと自信があります。また、地元農家からもこの農産物を都会の消費者の方々にも提供したいという強い想いもあり、事業開始に至りました。

東京のお客様からの「駒ヶ根産農産物のファンですよ!」というお声を励みに、地元農家と協力しながらより多くの方々に「おいしい駒ヶ根」を知っていただけるよう、貢献していきたいです。

### ▶ホームページ、Facebook

中部地方インフォメーションプラザin京王新宿のホームページおよびFacebookでは、中部地方のおすすめエリアの観光スポット情報やイベント情報、高速バスのお得なきっぷ情報などを、多言語で発信しています。

# 人材の活用と働きやすい職場づくり

## 人材雇用

### ▶公正な採用方針

京王グループは、公正採用選考人権啓発推進員制度（厚生労働省）に基づいた採用活動を行っています。

### ▶人材雇用に関するデータ

■ 従業員数、平均年齢

| | 従業員数（人） | 平均年齢（歳） |
|---|---|---|
| 2014年度 | 2,416 | 40.3 |
| 2015年度 | 2,447 | 40.2 |
| 2016年度 | 2,497 | 40.3 |
| 2017年度 | 2,518 | 40.4 |
| 2018年度 | 2,549 | 40.3 |

■ 平均勤続年数

| | |
|---|---|
| 男性 | 18年3カ月 |
| 女性 | 10年0カ月 |

### ▶年休の取得率向上に向けて

「計画的な年次有給休暇の取得推奨」「年次有給休暇の半日単位付与」などにより休暇の取得を推進しており、2018年度の年次有給休暇の取得率は85.1%となっています。

### ▶柔軟な働き方の実現

本社勤務者等を対象として、「フレックスタイム制度」を導入しています。2017年度からフレキシブルタイムを拡大したほか、2018年度にはサテライトオフィスを増設し、より柔軟な働き方を可能としました。

## 働きやすい職場環境づくり

### ▶働きやすい職場環境づくりに向けた調査の実施

社員一人ひとりが主体的に働きやすい職場環境づくりをするために、無記名式アンケートによる「従業員意識調査」を実施しています。2016年に実施した調査では、対象2,779名のうち96.4%から回答があり、従業員の満足度は概ね良好な結果が得られました。

■ 月ごとの平均所定外労働時間（正社員対象）

| | 男性 | 女性 |
|---|---|---|
| 2014年度（2014/8～2015/7） | 29.5 | 17.9 |
| 2015年度（2015/8～2016/7） | 30.0 | 19.8 |
| 2016年度（2016/8～2017/7） | 27.4 | 17.3 |
| 2017年度（2017/8～2018/7） | 29.3 | 19.0 |
| 2018年度（2018/8～2019/7） | 27.5 | 17.8 |

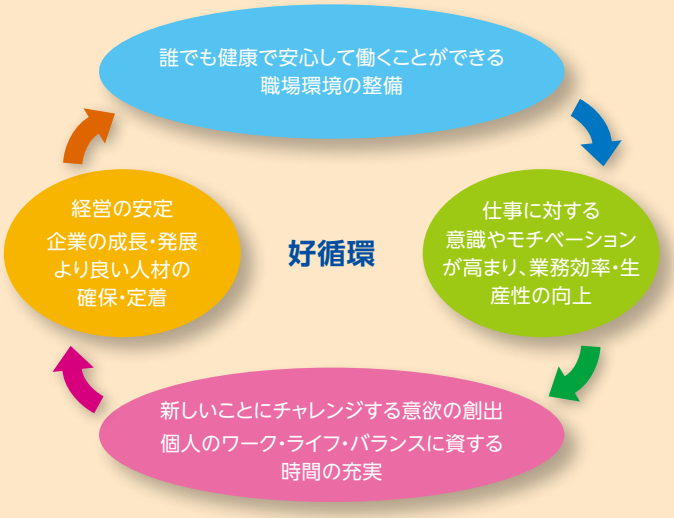
**topics**

### 働き方改革プロジェクトの推進

働き方改革プロジェクトを立ち上げ、本社部門においては、これまでの働き方を見直し、誰もが健康で安心して働くことのできる職場環境を整備し、また、仕事に対するモチベーションや業務効率の向上を図っています。

さらに、新しいことへチャレンジする意欲の創出やワーク・ライフ・バランスを充実させることを目標に様々な施策への取り組みを推進しました。

具体的な取り組み例：「夜型勤務」から「朝型勤務」への転換、コンパクト会議の推進 など



## 人権・労働安全衛生

### ▶人権・ハラスメント防止の啓発

京王グループ行動規範に基づき、人権研修を実施するなどの啓発を行っています。また、ハラスメント防止に向け、相談窓口の設置や研修を実施しています。



人権研修

### ▶安全衛生の取り組み

「安全・衛生のひろば」を定期的に開催し労働安全や健康に関する課題を共有しているほか、安全衛生概況や安全衛生委員会の活動状況などについて社内掲示板を活用し、周知しています。




安全・衛生のひろば

### ▶衛生講演会・メンタルヘルスケア

定期的に衛生講演会を開催し、診療所の産業医や医療スタッフが、健康に関する講演を行っています。また、法令に基づくストレスチェック制度を実施し、高ストレスと判断された社員に対しては産業医との面談を促しているほか、専門医による相談窓口の設置や情報提供を実施しています。



医師による面談

### ▶3年連続で「健康経営優良法人（ホワイト500）」に認定

若年層への生活習慣の改善指導や、ウォーキングをテーマにした運動への習慣づけ、表彰制度等による健康増進への取り組みを継続しており、社員の健康課題を把握し対応していること、各種施策の結果の把握や効果検証に取り組んでいることなどが評価されました。

2019
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

■当社の健康経営に関する主な取り組み

| 実施項目 | 対　象 | 内　容 |
|---|---|---|
| 「若メタボ」対策 | 39歳以下、BMI28以上の社員 | 産業医、保健師、管理栄養士等による生活習慣改善指導を実施しています。 |
| 健康増進施策<br>「京王ヘルスチャレンジ2019」 | 全社員 | 運動の習慣づけを目的にウォーキングを主体とした通年の健康イベントを実施しています。 |
| 衛生講演会 | 全社員 | 産業医や外部有識者による健康をテーマとした講演会を年2回開催しています。 |

## ダイバーシティ・マネジメントの推進

### ▶仕事・育児・介護の両立支援

育児・介護ともに休業制度・短時間勤務制度について、法定以上の制度を整備しています。

また、鉄道事業の現業職場では泊まり勤務がありますが、勤務ダイヤに日勤ダイヤを設定することで、育児または介護に従事する社員が同じ仕事を続けることを可能にしています。

その他、育児・介護が理由で退職した社員を対象とした再入社制度などを整えています。

■ 育児休業取得者数・育児休業復帰率

| | 取得者数(人) | うち男性(人) | 復帰率(%) |
|---|---|---|---|
| 2014年度 | 33 | 1 | 91.7 |
| 2015年度 | 28 | 4 | 95.7 |
| 2016年度 | 29 | 4 | 100.0 |
| 2017年度 | 40 | 7 | 100.0 |
| 2018年度 | 29 | 5 | 100.0 |

VOICE

**再入社制度を利用して復職することができました**



鉄道営業部 京王中央管区 指導営業掛

**雨宮 寿也**

父親の介護と仕事を両立することが難しく、その状況がいつまで続くのか不明だったため、退職し介護に専念することを選択しました。退職して3年が経過したところで父親の介護施設への入所が決まり、直接介護の必要がなくなったため、再入社制度を利用して復職することができました。退職時と同じ条件(職位・給与)で再入社できるため、以前の駅係員のスキルを活かすことができ、経済的な面だけでなく精神的にも不安を感じることなく業務に復帰することができています。

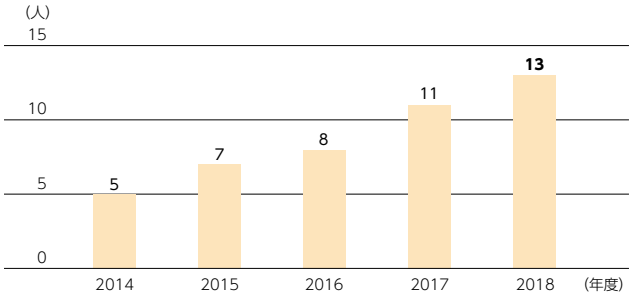
### ▶ライフステージに応じた両立支援

不妊治療を行うために、積立てた年次有給休暇を行使できる制度や、カフェテリアプラン制度を活用し治療費の補助を受けられる仕組みを整え、育児や介護だけでなく幅広い両立支援を実施しています。

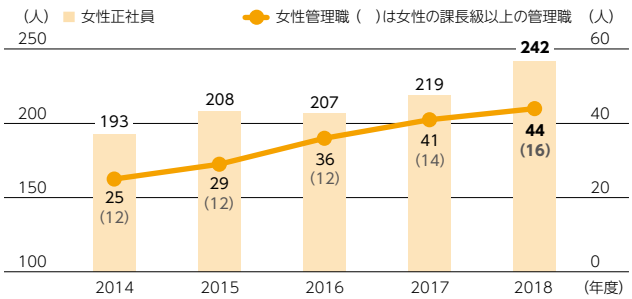
### ▶女性の活躍

グループ会社社長や社外監査役、現業長など幅広く女性が活躍しています。また、「女性の課長級以上の管理職人数を2021年3月までに2016年4月と比較して5割増」とする数値目標を設定し、女性総合職の新卒採用人数を総合職新卒採用人数全体の30%以上とするなどの施策を実施しています。

■ 京王グループ女性役員数の推移




■ グループ会社への出向を含む当社女性正社員と女性管理職の推移(休職者を除く)



■ 管理職における女性人数と比率（当社）

| | 管理職総数（人） | うち女性（人） | 女性比率（%） |
|---|---|---|---|
| 2014年度 | 300 | 12 | 4.0 |
| 2015年度 | 314 | 16 | 5.1 |
| 2016年度 | 328 | 23 | 7.0 |
| 2017年度 | 340 | 27 | 7.9 |
| 2018年度 | 332 | 28 | 8.4 |

■ 採用した社員（新卒・総合職）のうち女性の占める割合

| | |
|---|---|
| 2015年度入社 | 15.8%（19人中3人） |
| 2016年度入社 | 23.8%（21人中5人） |
| 2017年度入社 | 42.1%（19人中8人） |
| 2018年度入社 | 51.7%（29人中15人） |
| 2019年度入社 | 25.9%（27人中7人） |

VOICE

**ライフスタイルの変化があっても長く続けられます**



株式会社京王子育てサポート 京王キッズプラッツ東府中 施設長

**伊藤 美和**

2017年4月より、京王キッズプラッツ東府中の施設長として、地域のお子さまをお預かりしています。

2010年に入社し10年目になりますが、その間に2度の産休・育休を取得しています。復帰してから子どもが体調を崩したりし、早退や休むことがありますが、職員との助け合いや本社との連携により、不安なく安心して働ける環境です。

生き生きと働くみんなの表情や動きを感じて、今の仕事のやりがいを感じています。

## ▶外国籍の方の採用

海外関連事業の拡大に伴い、外国人の総合職社員を採用しており、現在3名が活躍しています。

## ▶ 高齢者再雇用

2006年から「継続雇用制度」を実施しており、2018年度の再雇用割合※は82.0%でした。

※該当年度における継続雇用者数／定年退職者数

■ 継続雇用者総数

| | |
|---|---|
| 2014年度 | 191人 |
| 2015年度 | 202人 |
| 2016年度 | 221人 |
| 2017年度 | 224人 |
| 2018年度 | 220人 |

## ▶ 障がい者雇用

2004年に特例子会社「京王シンシアスタッフ」を設立しました。2006年からは、関係会社特例認定を取得し、京王グループ全体の障がい者雇用も拡大し、社内施設の清掃業務、名刺作成、事務補助作業などに従事しています。当社では、2016年度から「障害者相談窓口」を設置しています。

■ 障がい者雇用と雇用割合

| | 障がい者数（人）※ | 実雇用率（%）※ |
|---|---|---|
| 2014年度 | 163 | 2.4 |
| 2015年度 | 170 | 2.5 |
| 2016年度 | 181 | 2.6 |
| 2017年度 | 181 | 2.6 |
| 2018年度 | 177 | 2.5 |

※障がい者雇用促進法に定める計算方法に基づく

topics

### 優秀勤労障害者表彰を受ける

2018年9月に独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長努力賞として、京王運輸世田谷営業所の社員が「優秀勤労障害者」、京王運輸が「障害者雇用優良事業所」として表彰を受けました。



## 社員のキャリア支援

当社では、若手社員から中堅社員、正社員から非正規社員に至るまで様々な社員が自律し、長期にわたって活躍できるように、社員のキャリア支援に取り組んでいます。

### ▶社員のキャリア支援に関する主な取り組み

| 実施項目 | 内　容 |
|---|---|
| キャリアデザインシートおよびキャリア面談 | 社員の自律性を高めることを目的とし、社員が自らのキャリアを考え、主体的に能力開発を進めていく仕組みとして「キャリアデザインシート」の導入や上司との「キャリア面談」を実施しています。 |
| キャリアチャレンジ制度 | キャリアを自身で変革する機会の提供を目的とした人材公募制度を導入しています。 |
| 社外派遣制度 | 当社では得られない経験・スキルの習得等を目的としたグループ外企業への派遣制度を導入しています。 |
| トライアルコース研修 | 経営層から直接、会社のビジョンや仕事観等を聞き、意見交換を実施しています。 |
| 生き方・働き方プランニング研修 | 50歳を迎えた社員に対し、「これからのありたい自分」を実現するための考え方を習得する研修を実施しています。 |
| 正社員登用制度・特定社員制度 | 非正規社員から正社員への登用制度・有期雇用の非正規社員を無期雇用へ変更する制度を導入しています。 |

### VOICE キャリア支援経験者の声

#### 社外派遣制度でグループ外企業へ派遣



開発企画部
新宿再開発推進室
**深澤 康之**

三井住友信託銀行株式会社不動産ソリューション部および三井住友トラスト不動産投資顧問株式会社にて、不動産関連の提案書作成やファンドの運営を行い、信託銀行ならではの業務を学びました。派遣先は温かい社員が多く、環境に恵まれ、有意義に過ごすことができました。

派遣制度での経験を踏まえ、これまでの事例にとらわれず、今後の業務に生かしていきたいと思います。

#### 生き方・働き方プランニング研修に参加



車両電気部
若葉台検車区 区長
**相田 安久**

60歳という節目を迎えたときのために、「今後、どんな人生を送りたいか」自分のありたい姿を前向きに描くことが重要であると感じました。

自分や家族に起こるであろうライフイベントに対して、「ありたい姿」を実現するために「何をすべきか、どのような計画を立てるべきか」を今のうちにじっくりと向き合っていきたいと考えています。

# 株主・投資家・取引先等への取り組み

## 株主・投資家の皆様との対話

### ▶ディスクロージャー・ポリシーに基づいたIR活動（Investor Relations）

株主・投資家への情報開示に向けた基本的な考え方として、2006年4月に「ディスクロージャー・ポリシー」を制定し、これに基づきIR活動を実施しています。当社グループの業績や中長期計画を中心とした財務情報の提供に加えて、当社グループの将来像やCSRに関する取り組みなどについて、株主・投資家と活発な対話（意見交換）を行うとともに、得られた声を社内で共有し、適切に経営に反映させるよう努めています。

### ▶株主・投資家との対話事例

| 取り組み | 時　期 | 内　容 |
|---|---|---|
| 決算説明会 | 年2回 | 社長をはじめとした経営陣幹部が、証券アナリストや機関投資家に対して、当社グループの業績や将来像などを説明するとともに、質疑応答を行い、経営陣幹部の考えを直接伝えています。 |
| スモールミーティング | 適宜 | 「京王グループ中期3カ年経営計画（2018年度～2020年度）」の内容への理解を深めていただくため、証券アナリストや機関投資家と、財務・情報開示担当役員との間でミーティングを開催しました。 |
| 個別取材 | 年50件以上 | 経理部長やIR業務の担当者が、証券アナリストや機関投資家と個別に面談し、業績の内容や事業の具体的な取り組みなどについて、1回あたり約1時間の意見交換を行っています。 |
| 施設見学会 | 適宜 | 実際の物件を見学することで事業内容の理解を深めていただくため、証券アナリストや機関投資家を対象に、適宜見学会を開催しています。また、個人株主を対象に、2018年8月に「鉄道教習所・京王資料館」および「京王あそびの森 HUGHUG〈ハグハグ〉」の見学会を開催しました。 |
| ホームページでの情報開示 | 適宜 | 投資判断に影響を及ぼすと考えられるIR情報を、当社ホームページに積極的に開示しています。公平性のさらなる向上を図るため、「決算説明会資料」を中心に開示内容の充実を図っています。 |



決算説明会



個人株主向け
鉄道教習所・京王資料館見学会




個人株主向け
京王あそびの森 HUGHUG〈ハグハグ〉見学会

## 取引先への取り組み

### ▶公正・誠実な購買活動の推進

京王電鉄行動基準において、一般的なビジネス慣習に則り、相互に利益を享受できる関係を構築することを定めています。

また、最適な調達活動を推進していくため、当社において社内規程の整備に向けた準備を進めているほか、定期的な取引先訪問も実施し、製造工程の現地監査や改善のアドバイスを行っています。

### ▶パートナーシップの強化

2019年2月に取引先との懇親会を開催し、対話や交流を通して、信頼関係構築につなげました。




取引先との
懇親会の様子

環境報告

# 環境保全の推進


## ● 環境マネジメント ☞ P.74

- 推進体制
- 監査・教育・コミュニケーション
- 中期環境目標の達成に向けて

## ● 低炭素社会を目指して ☞ P.76

- 鉄道における電力・$CO_2$排出量削減の取り組み
- グループによる電力・$CO_2$排出量削減の取り組み
- 再生可能エネルギーの活用










## 環境関連データ ☞ P.84

- 環境負荷の把握
- 環境会計

## 自然共生社会を目指して ☞ P.82

- 生物多様性の取り組み








## 循環型社会を目指して ☞ P.80

- 資源の有効活用

# 持続可能な社会の実現に向け
# グループ一体での環境経営を推進します



リビタが手掛けた
戸建てリノベーション物件

常務取締役
（環境管理責任者）
**南　佳孝**

京王グループは、「京王グループ環境基本方針」「生物多様性行動指針」に基づき、環境にやさしい企業集団を目指しています。環境マネジメントシステムも運用開始から15年目を迎え、設定した環境目標をすべての職場で達成するためPDCAサイクルを着実に回しています。

鉄道事業部門においては、列車走行時の電力を大幅に抑制するVVVFインバータ制御装置を大手私鉄で初めて全営業車両へ導入しましたが、さらに省エネルギー性能の高い新型VVVFインバータ制御装置の切り替えも順次進めています。鉄道以外においても、バス、タクシー事業でのハイブリッド車の導入など、車両の省エネルギー化を継続的に行っています。

また、開発事業部門では東京都が定める基準値を上回る$CO_2$排出量の削減を図ったほか、サステナブルで環境にやさしいリノベーションの手法を活用した既存建物の再生など、環境負荷低減に資する事業を推進しました。さらに、再生可能エネルギーの活用や沿線自然環境の保全、多摩産材の活用などにも取り組んでいます。そのほか京王プラザホテルチェーンなどでは、紙ストローの使用を開始するなど、海洋プラスチック問題への対応も進めています。

持続可能な社会の実現へ貢献すべく、今後もグループ一体となった環境経営を推進し、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会の実現を目指してまいります。

### 京王グループ環境基本方針

私たちは、「環境にやさしく」というグループ理念に基づき、環境問題を地球規模で考え、持続的発展が可能な社会の実現を目指して、環境保全に配慮した事業活動を行います。

### 生物多様性行動指針

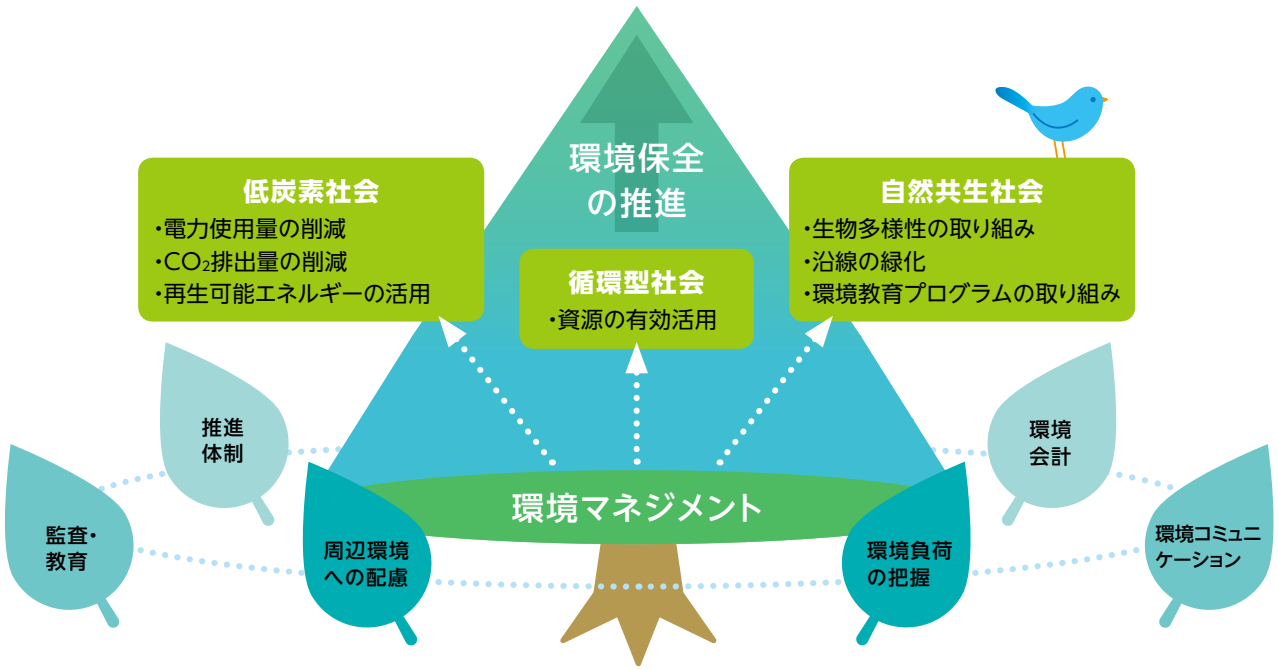
私たちは、生活に身近な事業を展開していくなかで、自然の恩恵を継続的に享受していることを認識し、持続可能な利用や自然と共生する社会の実現に向け、生物多様性に配慮した事業活動を行います。

# 環境方針

## 基本的な考え方

2000年11月に環境基本方針を制定し、環境法令遵守をはじめ、省エネや廃棄物削減、リサイクル、環境教育の実施などを推進してきました。その後、環境保全はグループ共通の課題であるとの認識から、2004年12月に「京王グループ環境基本方針」を制定し、環境マネジメントシステム(EMS)の継続的運用を通じて浸透を図っています。

## 環境方針概念図




## 中期環境目標

当社では、「国連気候変動枠組条約締約国会議(COP)」において、2020年以降の地球温暖化対策の新たな指針となるパリ協定が採択されたことを踏まえ、中期環境目標を更新しました。

| | 中期環境目標 | 目標達成に向けての取り組み |
|---|---|---|
| 鉄道事業部門 | 電車の運転用電力を2030年度に26%削減(2013年度比) | 新型VVVFインバータ制御装置導入<br>車内照明のLED化実施　など |
| 開発事業部門 | 東京都の$CO_2$排出量削減義務(27%)の達成<br>第3計画期間(2020年度～2024年度) | 照明のLED化など省エネルギー施策の推進<br>各種クレジットの活用 |

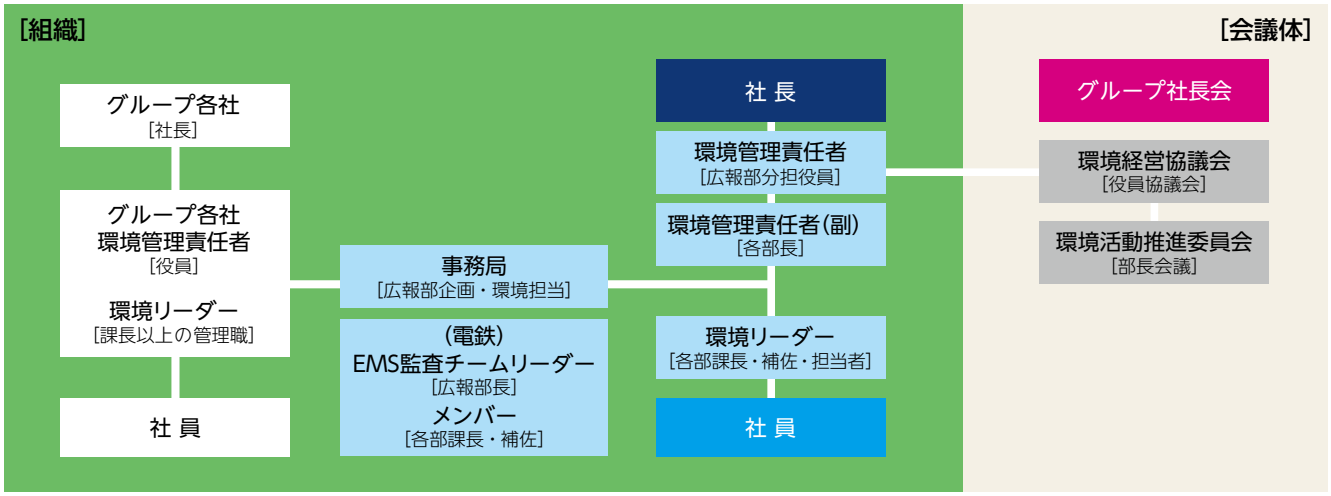
# 環境マネジメント

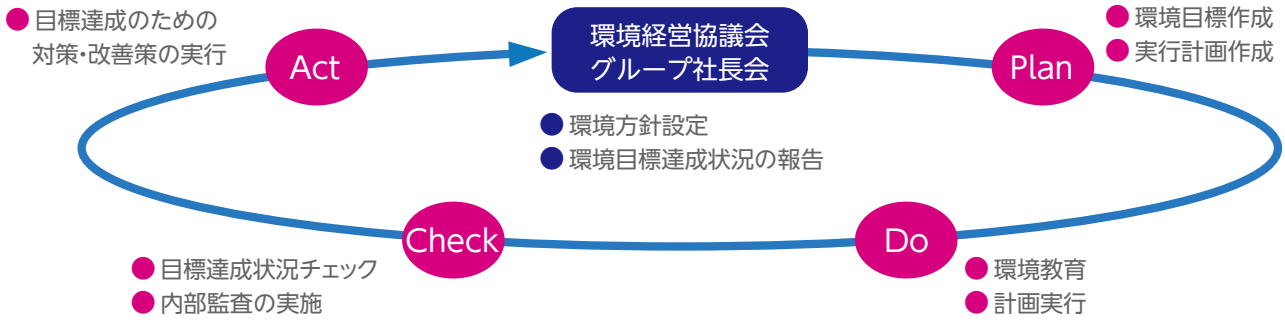
## 推進体制

当社は鉄道現業を含めたすべての職場において、ISO14001を参考に独自のEMSを構築・推進し、環境経営協議会において経営層へ報告・承認を受けています。また、グループ社長会を通じて各社に環境マネジメントを徹底しています。

グループ会社では、ISO14001を3社、グリーン経営認証を6社、エコアクション21を1社で取得し、その他の各社はISO14001またはエコアクション21を参考にしたEMSに取り組んでいます。

### ▶京王グループEMS推進体制




### ▶京王グループ各社の第三者認証取得状況

| 分類 | 会社名 |
|---|---|
| ISO14001 | 認証取得(3社)<br>● 京王設備サービス ● 京王建設 ● 京王エージェンシー |
| グリーン経営認証 | 認証取得(6社)<br>● 京王電鉄バス ● 京王バス東 ● 京王バス中央 ● 京王バス南 ● 京王バス小金井 ● 京王運輸 |
| エコアクション21 | 認証取得(1社)<br>● 東京特殊車体 |

## 監査・教育・コミュニケーション

### ▶EMS内部監査

EMSの有効性と社員の自覚を確認するため、毎年各部管理職1人以上のEMS監査員を選出し、新任監査員は有限責任監査法人トーマツによる専門教育を受けた後、部署間相互による内部監査を実施しています。

### ▶環境教育

環境意識やEMS理解度の向上など必要性を明確にした上で、環境教育を実施しています。

■ 主な教育実績（2018年度）

| 名称 | 時期 | 対象 | 人数 |
|---|---|---|---|
| 京王クリーンキャンペーン | 5月 | グループ社員、一般 | 735名 |
| EMS監査員養成研修 | 11月 | 新任監査員 | 6名 |
| 環境eラーニング | 1月 | 京王電鉄社員 | 1,264名 |
| 廃棄物管理勉強会 | 3月 | グループ実務担当者 | 39名 |

### ▶CSR・環境コミュニケーション

京王グループの活動に関する情報は、以下の媒体で公表しています。



京王こども百科



京王ニュース



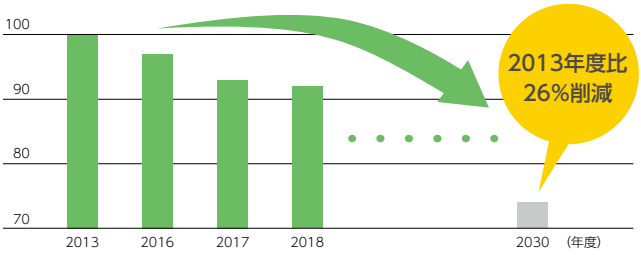
京王ホームページ

## 中期環境目標(P.73)の達成に向けて

### ▶鉄道事業部門

2030年度における運転原単位（1車両が1km進む際に使用する電力量）を2013年度比で26%削減することを目指します。2018年度は2013年度比で約8%の削減となりました。

■ 電車の運転用電力削減推移
（2013年度の運転原単位を100とした場合）

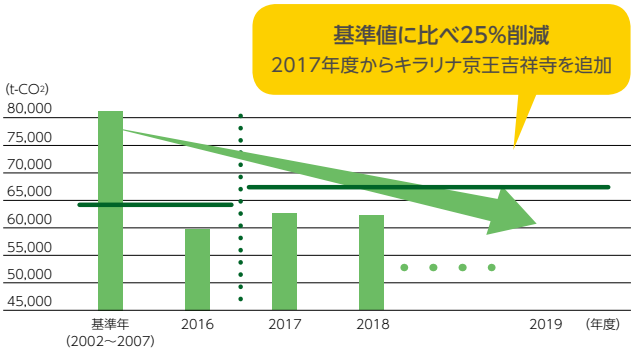



※車両の走行に関する性能（理論値）に限定して原単位を算出しています。

### ▶開発事業部門

2018年度の$CO_2$排出量は62,209t-$CO_2$となり、排出基準量の約25%の削減となりました。当社では引き続き東京都の$CO_2$排出量削減義務の達成を目指します。

■ 大規模ビル9物件の$CO_2$排出量削減実績と目標
（東京都環境確保条例の削減義務　第2計画期間）




※京王プラザホテル（新宿）、京王プラザホテル八王子、京王プラザホテル多摩、京王品川ビル、京王八王子明神町ビル、京王百貨店新宿ビル、京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター、京王八王子ショッピングセンター、2017年度からキラリナ京王吉祥寺を追加

※「基準値」とは、2002～2007年度のうち任意の連続した3カ年における$CO_2$排出量の平均値をいいます。

# 低炭素社会を目指して

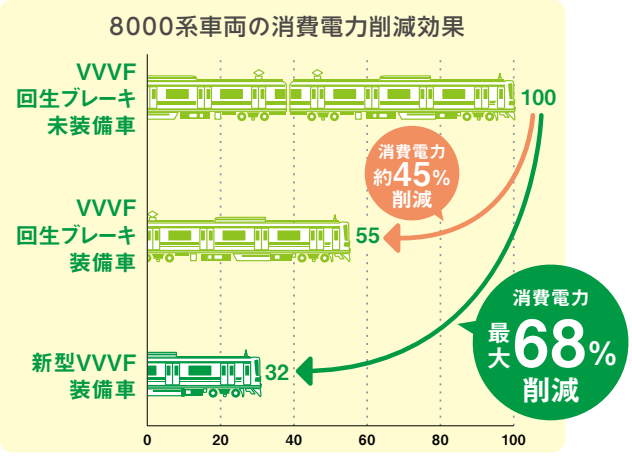
## 鉄道における電力・$CO_2$排出量削減の取り組み

鉄道事業では1年を通じて多くの電力を消費することから、少ないエネルギーで効率的に動くことができる「環境にやさしい鉄道」を目指しています。

### ▶走行用電力の削減

#### ●VVVFインバータ制御装置

VVVFインバータ制御装置とは、電車の加速力や速度などに応じて電圧や周波数を変化させながらモーターを効率良く動かす装置です。当社では1992年に初のVVVF車両として導入して以降、継続的に導入を進め、2012年に京王線・井の頭線全営業車両のVVVFインバータ制御化を大手民鉄で初めて完了しました。2015年から、さらに消費電力削減効果に優れたVVVFインバータ制御装置への更新を進めています。2018年度は、8000系2編成、1000系3編成を新型に更新しました。




(注)横軸は未装備車の使用電力量を100とした場合の数値

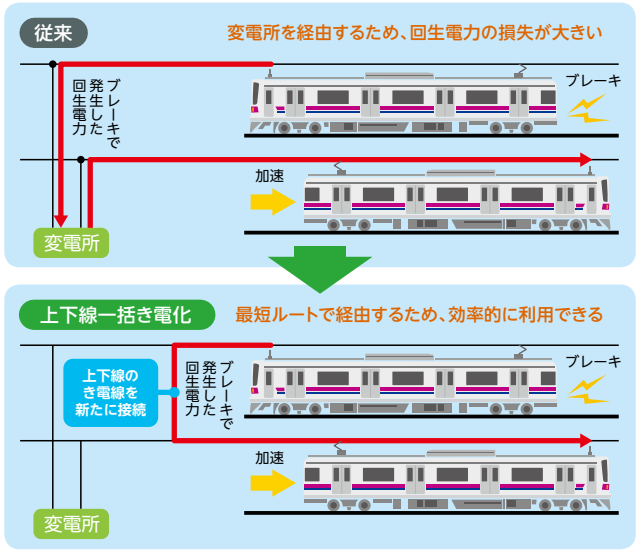
### ▶走行用電力を再利用する

#### ●回生ブレーキ

回生ブレーキとは、電車がブレーキをかけた際にモーターを発電機として作動させ、発生した電力(回生電力)を架線に戻すことで他の電車が使えるようにする装置です。1999年に全車両への装備が完了しました。

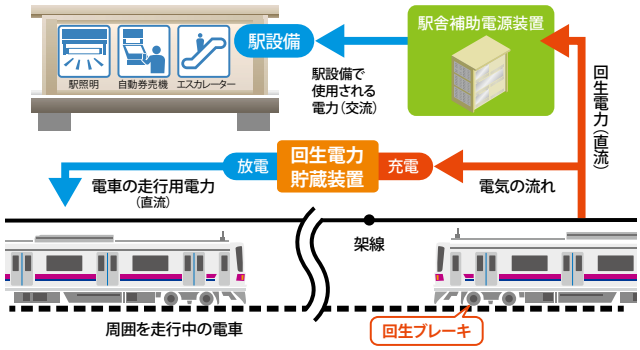
#### ●上下線一括き電化

上り線と下り線のき電線(電車に電気を供給する線)を接続することで、回生ブレーキで発生した電気を他の電車に最短ルートで送り、電気を送る際の損失低減を図ることができる設備です。当社では、2012年に井の頭線で整備しました。




#### ●駅舎補助電源装置

電車がブレーキをかけた際に発生する回生電力を駅設備で使用される電力に変換して、駅の照明や空調、エスカレーターなどに供給する装置で、東府中駅、高幡不動駅、北野駅に導入しています。



## ▶LED照明導入

### ●駅などのLED化

駅舎・ホームや車両基地に、従来の照明設備に比べて大幅に消費電力を削減できるLED照明の導入を進めています。また、柴崎駅～西調布駅間と調布駅～京王多摩川駅間の地下化にあわせて、トンネル内の照明設備にもLEDを用いています。



駅構内のLED照明

### ●車両のLED化

車両の客室内照明を蛍光灯からLEDへの置き換えや、車両前照灯のLED化を進めています。これにより、明るさは変わらずに消費電力が従来に比べ約2分の1になるほか、長寿命のため交換サイクルが長くなることから廃棄物の削減にもつながっています。



車両のLED照明

### ●自然採光

ホームやコンコースの屋根に自然採光の工夫を行うことで、照明の消灯に努めています。



自然採光の屋根

## ▶その他の省エネルギー対策

### ●エスカレーター更新

老朽化が進んでいるエスカレーターについて、更新を進めています。一定時間ご利用がない場合に、運転速度を減速または自動的に停止する機能のあるエスカレーターへ更新することにより、従来より最大約35%の消費電力削減が図れます。2018年度は京王多摩センター駅にてエスカレーターの更新を行いました。



京王多摩センター駅
エスカレーター

### ●遮熱・断熱フィルム

夏の冷房期、冬の暖房期に約10%の節電効果が期待される遮熱・断熱フィルムを電車の窓に順次貼り付けています。

京王線では342両、井の頭線では50両の客室窓に整備しています。

### ●環境配慮型の変圧器

脱化石資材・低炭素社会に配慮し、$CO_2$排出量を従来の物と比べ約65%削減できる変圧器を上北沢変電所に、2基、駒場東大前変電所に1基導入しています。



上北沢変電所

## グループによる電力・$CO_2$排出量削減の取り組み

### ▶電気バス・ハイブリッドバス

西東京バスでは、羽村市から運行を受託しているコミュニティバス「はむらん」において、定期路線バスでは日本初となる小型電気バスによる運行を行っています。

また、京王電鉄バスグループ・西東京バスではハイブリッドバスを16両導入しています。




小型電気バス（コミュニティバス「はむらん」）



ハイブリッドバス

### ▶ハイブリッドタクシー・アイドリングストップ車

京王自動車グループでは、タクシーにハイブリッド車やアイドリングストップ車を導入し、エネルギーの効率利用に取り組んでいます。



ハイブリッドタクシー

### ▶建物の省エネルギー化

キラリナ京王吉祥寺では、壁面・屋上緑化をしており、壁面緑化の灌水（かんすい）には、井戸水を使用することで、水資源を守っています。また、氷蓄熱システムを導入し、電力需要の下がる夜間電力を利用して氷を作り、日中の冷房に利用することで、夏場のピーク時における省エネルギー化を図っています。

メルクマール京王笹塚では、緑化のほかにも、水平庇と高遮熱断熱ガラスなどを取り入れ、ヒートアイランド現象軽減などを図っています。





建物の省エネルギー化を図るキラリナ京王吉祥寺（左）とメルクマール京王笹塚（右）

### ▶Ecoパートナーに認定

キラリナ京王吉祥寺は、武蔵野市から、ごみ減量資源化推進事業所（Ecoパートナー）として認定、表彰されています。




### ▶LED照明導入

当社およびグループ各社では、ショッピングセンター・オフィス・ホテルなどの施設において、LED照明を積極的に導入しています。



京王プラザホテル本館フロントLEDシャンデリア

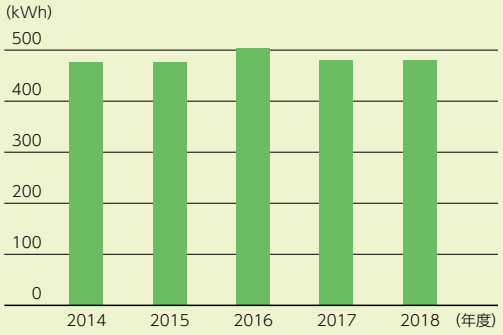
## 再生可能エネルギーの活用

京王グループでは、再生可能エネルギーの活用に積極的に取り組んでいます。

### 太陽光発電

1. メルクマール京王笹塚
2. 明大前駅
3. 永福町駅
4. 桜上水総合事業所
5. 芦花公園駅
6. 若葉台駅
7. 京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター
8. 京王電鉄バス桜ヶ丘営業所
9. 高幡不動現業事務所（乗務区・施設管理所）
10. 京王れーるランド
11. 高尾の森わくわくビレッジ
12. 相模原市（緑区三井、緑区中野）

■ 太陽光発電の合計発電能力の推移




### 風力発電

F1 メルクマール京王笹塚
F2 高尾の森わくわくビレッジ




### ▶岩手県で「太陽光発電事業」を開始

神奈川県相模原市に続き、岩手県宮古市において、2019年秋に太陽光発電事業の開始を予定しています。



神奈川県相模原市の太陽光発電システム

■ 太陽光発電事業の取り組み

| | 開始時期 | 設置パネル数 | 発電能力 |
|---|---|---|---|
| 神奈川県相模原市 | 2015年2月 | 1,021枚 | 302kW |
| 岩手県宮古市 | 2019年秋 | 11,488枚 | 2,872kW |

# 循環型社会を目指して

## 資源の有効活用

### ▶車両洗車時の節水

京王線の若葉台工場では、「処理水再利用装置」を導入し、使用済みの水の汚れを取り除くほか、工場内の湧水を活用し、洗浄水などに利用しています。現在、利用している水の半分以上はこの装置により処理されたものです。

また、若葉台と高幡不動の車両基地では、車両洗浄に使用する水を従来に比べ約半分にできる車両洗浄装置を導入しています。



節水型車両洗浄装置

### ▶リサイクル

#### ●きっぷ

使用済みきっぷをリサイクルして、駅のトイレットペーパーとして使用しています。

#### ●ペットボトル

駅売店などで回収された飲料用ペットボトルをリサイクルし、駅の案内板に使用しています。

### ▶間伐材を使用したベンチ

一部の駅に木の温かみを感じられる木製ベンチを設置しています。素材には、多摩地域で発生した間伐材を使用しています。



### ▶～笹塚駅前広場～ 地元の方々と共同制作のベンチを設置

笹塚駅前広場に地元の方々と共同で、デジタル加工技術を活用し、オリジナル木製ベンチを制作し設置しました。

木材の一部には多摩産材も使用しています。



広場に設置されたオリジナル木製ベンチ

**VOICE**

**子どもたちに木の温もりを感じてほしい**



VUILD 株式会社 代表取締役

**秋吉 浩気**

都心で育つ子どもたちにとって、木々を意識する機会はそう多くありません。地域の木材を使うことで持続可能な社会づくりに貢献するとともに、自然とのつながりを再認識してほしいという思いからこのベンチを制作しました。駅前の広場に設置することで都心にいながらも木の温もりを身近に感じることができると考えています。

### ▶車両のリニューアル・再生

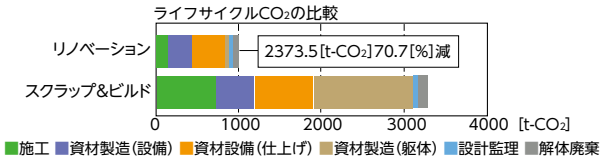
京王重機整備では、現役車両のリニューアル工事や京王電鉄他を引退した車両の再生化工事を実施しています。全国の鉄軌道事業者のニーズに合わせ、新造車同様に再生した改造車両を、約200両提供しています。

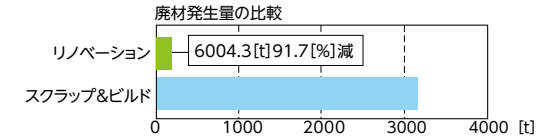



伊予鉄道3000系（元京王3000系）

### ▶環境負荷を低減した「リノベーション事業」を展開

既存建物を再生し、魅力ある住宅を供給するリノベーション事業は、限られた資源を有効に使い、$CO_2$排出を抑制する環境にやさしい手法です。例えば、リビタが手がけた「リノア多摩川CORTE」では、省エネ改修によって、ライフサイクル$CO_2$※1を70%削減、廃材発生量※2を91%削減することができました。




※1 ライフサイクル$CO_2$とは、建物の建設から運用、解体までのライフサイクルを通じて排出される二酸化炭素($CO_2$)の量を指します。
※2 廃材発生量とは、建物を解体した場合に発生する材料を指します。建物が与える地球温暖化への影響を評価する指標です。

### ▶ECOステイ

京王プレッソインでは、連泊のお客様を対象に、お申し出いただくとタオルやシーツを交換せずに清掃を行い、クリーニングの回数を減らして水資源保護・$CO_2$排出削減を図る「ECOステイ」を推奨しています。ご協力いただいたお客様には、ミネラルウォーターなどをプレゼントしています。





京王プレッソイン東京駅八重洲

## topics

### リノベーションにより「高尾山スミカ」がリニューアルオープン

高尾山ケーブルカー「高尾山駅」に隣接する商業施設が2018年4月、「高尾山スミカ」としてリニューアルオープンしました。

リビタによるリノベーションによって、多摩産材などの地域色豊かなオブジェを設置し、高尾山の魅力を発信する基地として生まれ変わりました。





### 海洋プラスチックゴミ問題への対応

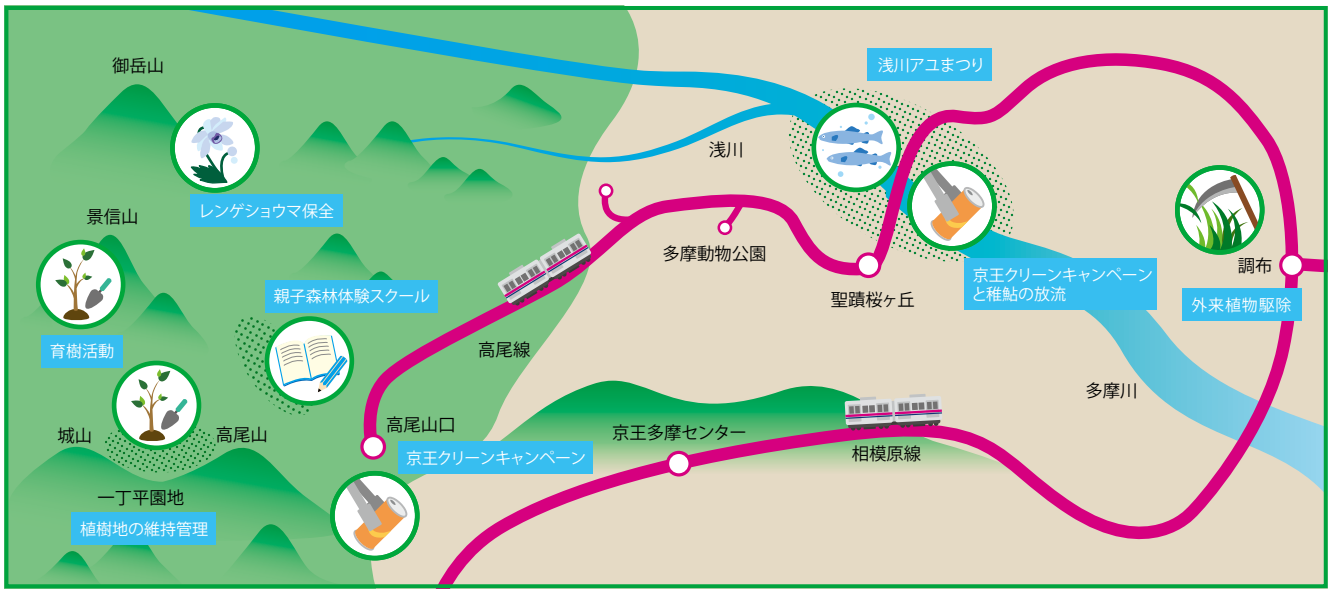
京王プラザホテルチェーンでは年間約43万本使用していたプラスチックストローを、2018年12月より新宿・多摩・八王子・札幌、4つのチェーンホテルで原則廃止し、紙製ストローへ移行しました。

その他、京王百貨店および京王ストアでは、お客様にマイバッグの持参を呼びかけています。



# 自然共生社会を目指して

## 生物多様性の取り組み




### ▶京王クリーンキャンペーン

1991年から沿線地域の環境保全を目的に、毎年高尾山や多摩川の清掃活動を行っています。2019年5月には、高尾山で清掃活動を行い、一般のお客様と京王グループ社員合わせて862名が参加しました。



高尾山での清掃活動

### ▶浅川アユまつり

2017年から、日野市が主催する漁場としての川の保全・啓発活動「浅川アユまつり」に参加しています。



浅川アユまつりの様子

### ▶外来植物駆除

多摩川には様々な外来植物が生育しており、在来植物の生育を抑圧するなどの悪影響を及ぼすとされています。そこで、生物多様性保全協会主催・調布市共催の「多摩川の外来植物駆除」に参加し、河川敷で駆除活動を行っています。




多摩川での駆除活動

### ▶森林再生への取り組み

2002年から日本山岳会「高尾の森づくりの会」が裏高尾（小下沢国有林）で行う森林再生活動を支援しており、累計約17,000本の苗木提供を行ったほか、下草刈りなどの育樹活動を行っています。

### ▶高尾の森 親子森林体験スクール

裏高尾において、日本山岳会「高尾の森づくりの会」と協力して、お子様と保護者の方に、植樹や下草刈りの体験、水生生物の観察などを通じて、森の大切さを学んでいただいています。



自然観察の様子

**参加者の声**



保護者様

多くの方々が高尾の山を守っていることは大変すばらしいと思いました。自分も何かできることがあるのかと考える良いきっかけになりました。

自然と触れ合えて、水の生き物を知ることができて良かったです。



小学校4年生

### ▶屋上庭園「ふくにわ」

「京王リトナード永福町」の屋上庭園「ふくにわ」は、地域の公園機能を代替し、コミュニティー庭園として利用されているほか、井の頭線の線路脇を含む沿線で緑化を展開していることなどが評価され、都市緑化機構主催のSEGES（社会・環境貢献緑地評価システム）認定緑地に選ばれています。




屋上庭園「ふくにわ」

### ▶線路脇の緑化

1991年から、線路脇の雑草には除草剤を使わず、人の手による草刈りを行っています。また、降雨による法面の崩壊を防ぐとともに、お客様に沿線風景を楽しんでいただくため、線路脇へアジサイ・ツツジ・サザンカなどを植栽し、緑化を行っています。



線路脇の緑化

### ▶ツバメのフン受け板の設置

2014年から、ツバメが巣作りをする春から初夏にかけて、駅の設置可能な箇所に設置しています。ツバメのフンでお客様にご迷惑をおかけしないこと、またツバメの生息環境にも配慮した生物多様性施策の一環です。



ツバメのフン受け板

### ▶レンゲショウマ保全

御岳登山鉄道は、御岳山に群生し絶滅危惧種に指定されている山野草「レンゲショウマ」の保全活動として、みたけ山観光協会などと協力し、群生地での下草刈りやハイキングコースの整備を行っています。



下草刈り作業



レンゲショウマ

# 環境関連データ

## 環境負荷の把握

当社には「鉄道事業部門」、土地・建物の賃貸・販売を行う「開発事業部門」、会社全般の管理業務を行う「一般管理部門」があります。それぞれの事業特性に応じて、資源の使用（インプット）と$CO_2$・廃棄物の排出（アウトプット）を定量的に把握し、企業活動に役立てています。

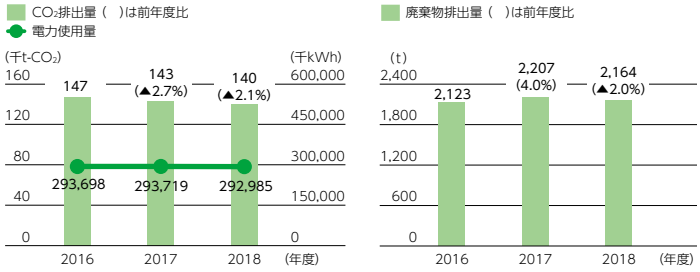
■ 2018年度の環境負荷レビュー

### 鉄道事業部門

| INPUT | |
|---|---|
| 電力 | 292,985千kWh |
| 都市ガス | 196千$m^3$ |
| LPG | 2t |
| 石油燃料系 | 21kℓ |
| 水 | 369千$m^3$ |

| OUTPUT | |
|---|---|
| $CO_2$ | 140,000t-$CO_2$ |
| 廃棄物 | 2,164t |









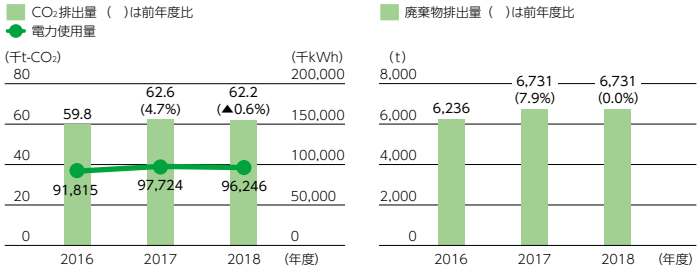
集計対象は、電車の運行、駅および現業事務所です。
前年度に比べ、$CO_2$排出量、電力使用量ともに減少となりました。
廃棄物排出量においても前年度に比べ2.0%の減少となりました。

### 開発事業部門

| INPUT | |
|---|---|
| 電力 | 96,246千kWh |
| 都市ガス | 1,849千$m^3$ |
| 石油燃料系 | 7kℓ |
| 熱 | 183,156GJ |
| 水 | 972千$m^3$ |

| OUTPUT | |
|---|---|
| $CO_2$ | 62,209t-$CO_2$ |
| 廃棄物 | 6,731t |









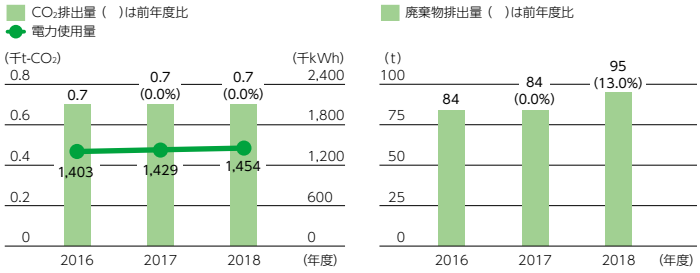
集計対象は、東京都環境確保条例に基づく大規模9事業所です。
前年度に比べ$CO_2$排出量、電力使用量ともに減少となりました。
廃棄物排出量は前年度と同量でした。

### 一般管理部門

| INPUT | |
|---|---|
| 電力 | 1,454千kWh |
| 都市ガス | 19千$m^3$ |
| 水 | 13千$m^3$ |

| OUTPUT | |
|---|---|
| $CO_2$ | 757t-$CO_2$ |
| 廃棄物 | 95t |









集計対象は、本社ビルおよび福利厚生施設です。
前年度に比べ、$CO_2$排出量は同量だったものの電力使用量は増加に転じました。

## 環境会計

環境保全に向けて、2018年度は約67億円の環境投資・費用を行使しました。

当社は、環境負荷の低減に向けて、列車の騒音振動防止や、駅施設やオフィスビル・店舗などへの高効率照明をはじめとした環境配慮設備の導入による省エネルギー化、廃棄物の分別・リサイクルなどのレベルアップに向けて、環境投資を継続しています。

2018年度は、オフィスビルなどで空調の効率化やLED照明を導入するなどの省エネルギー施策を推進しました。

一方、省エネルギー化を図った新型車両5000系の新造にかかるコストが前年度よりも減少したため、全体で前年度比7.2%の減少となりました。

### ▶2018年度の環境保全コスト(投資・費用額)

(単位:百万円)

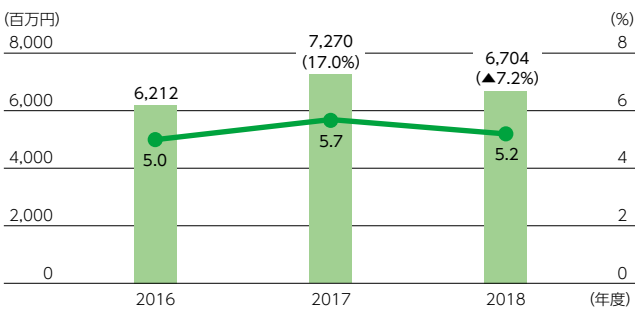
| 内容 | 主な取り組み | 具体的な内容 | 投資 | 費用 |
|---|---|---|---|---|
| (1)事業エリア内コスト | | | 4,136 | 2,465 |
| ①公害防止コスト | ●騒音振動防止<br>●大気汚染防止<br>●水質汚濁防止 | ◎連続立体交差化　◎道床更換<br>◎草刈り　◎低VOC塗料<br>◎分岐器床板更換 | 1,903 | 828 |
| ②地球環境保全コスト | ●省エネルギー化<br>●モーダルシフト<br>●オゾン層破壊防止 | ◎新型VVVFインバータ制御装置導入<br>◎ノンフロン車内空調機導入<br>◎可動式ホーム柵設置<br>◎オフィスビル等の空調機更新・照明LED化 | 1,670 | 172 |
| ③資源循環コスト | ●廃棄物減量<br>●廃棄物処理・処分<br>●廃棄物リサイクル | ◎PASMO※関連費用<br>◎駅清掃費　◎車両清掃費　◎車両座席シート交換<br>◎駅旅客用トイレ改修 | 563 | 1,465 |
| (2)管理活動コスト | ●景観保持<br>●自然保護・緑化<br>●教育・啓発 | ◎植栽管理<br>◎環境報告書制作 | 0 | 100 |
| (3)社会活動コスト | ●自然保護・緑化<br>●環境保全の寄付<br>●社会的取り組み | ◎京王クリーンキャンペーン<br>◎親子森林体験スクール | 0 | 3 |
| 合計 | | | 4,136 | 2,568 |
| コスト総計 | | | 6,704 | |

**[対象期間]**
2018年4月1日～2019年3月31日

**[対象範囲]**
当社の鉄道事業部門、開発事業部門、一般管理部門で発生した環境保全コストを対象としています。
(京王グループ各社で発生したコストは含んでいません)

**[算定基準]**
1. 「環境省環境会計ガイドライン(2005年版)」および「民鉄事業環境会計ガイドライン(2008年版)」を参考に集計しています。
2. 環境保全コストとして確実に把握したもののみ計上しています。
3. 減価償却費は計上していません。

■ 環境保全コストの推移




※PASMOは、株式会社パスモの登録商標です。

## コーポレート・ガバナンスと内部統制

### ▶基本的な考え方

当社グループでは、「京王グループ理念」に掲げる「信頼のトップブランド」の確立を目指し、「京王グループ行動規範」に基づき、「住んでもらえる、選んでもらえる沿線づくり」を進めております。特に鉄道事業においては、皆様から信頼され、愛される鉄道になるため、「安全に関する基本方針」および「安全に係る社員の行動規範」を定め、全社員が一丸となって安全文化の構築に取り組んでいます。

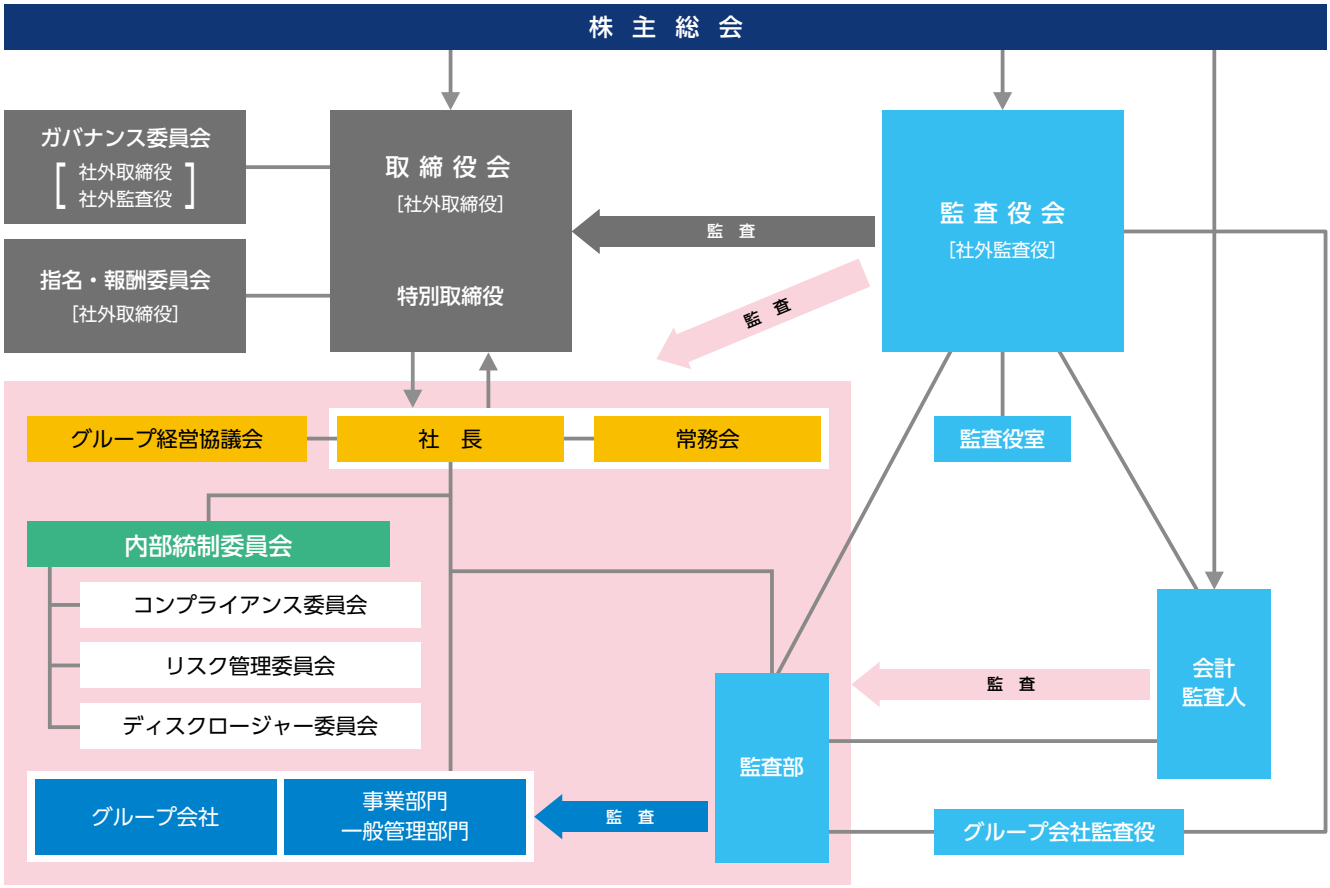
鉄道事業者として、安全と事業の継続性を確保しながら、「京王グループ理念」に基づき、透明性・公正性を担保しつつ、迅速・果断な意思決定を行うことにより、株主の皆様をはじめつながりあうすべての人からの信頼を確保し、当社グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図るため、当社ではコーポレート・ガバナンス基本方針に基づき、コーポレート・ガバナンスの充実・強化を推進してまいります。

### ▶コーポレート・ガバナンス体制

監査役会設置会社として、監査役会が取締役の経営や業務の執行を監査・監督する体制を採っています。さらに、経営に対する監督機能の強化を図るため、社外取締役を選任しています。

一方、当社に課せられた重要な公共的使命を果たし続け、沿線を中心とした事業の多角的な展開により総合力を発揮していくため、会社業務に精通した取締役の選任が求められており、社外取締役以外の取締役が取締役会の多数を占めています。また、取締役会の諮問機関としてガバナンス委員会および指名・報酬委員会を設置し、グループガバナンスの向上や経営の透明性確保に努めています。

**コーポレート・ガバナンス体制**（2019年6月27日現在）



## ▶取締役会

### 2018年度 開催状況

| 開催状況 | 回数 |
|---|---|
| 取締役会 | 11回 |
| 特別取締役会による決議 | 0回 |
| 常務会 | 29回 |
| グループ経営協議会 | 4回 |

取締役会は、社外取締役2名および主要なグループ会社の社長5名を含む18名で構成しており、法令で定められた事項はもとより経営上の重要な事項等についての決議や業務執行の監督を行うほか、時機を捉えた迅速な意思決定が必要な事案については、会社法に基づく特別取締役で構成される特別取締役会にて決議を行っています。

また、常勤取締役で構成する常務会では、取締役会で決定された方針に基づき、経営上の重要事項についての審議を行っています。

さらに、常勤取締役やグループ会社の社長等をメンバーとするグループ経営協議会において、グループ全体の経営課題について協議し、グループ経営の強化・推進をはかっています。

## ▶監査役会

### 2018年度 開催状況

| 開催状況 | 回数 |
|---|---|
| 監査役会 | 15回 |
| グループ監査役会 | 10回 |

監査役会は、社外監査役3名を含む4名で構成し、監査役は、取締役の職務執行の監査を行うほか、取締役会その他重要な会議に出席し、必要な意見陳述を行っています。また、会計監査人、内部監査部門および内部統制部門の連携体制を構築しています。さらに、グループ監査役会を定期的に開催するなど、グループ全体の監査の充実・強化に取り組んでいます。

## ▶ガバナンス委員会、指名・報酬委員会

### 2018年度 開催状況

| 開催状況 | 回数 |
|---|---|
| ガバナンス委員会 | 2回 |
| 指名・報酬委員会 | 2回 |

取締役会の諮問機関としてガバナンス委員会および指名・報酬委員会を設置し、グループ・ガバナンスの向上や経営の透明性確保に努めています。

ガバナンス委員会は、社外取締役を含むメンバーで構成され、社外取締役の視点を交えて当社グループの企業戦略等やガバナンス体制について審議を行うとともに、代表取締役、社外取締役および社外監査役の連携を強化し、グループの持続的な成長と中長期的な企業価値向上をはかっています。

指名・報酬委員会は、社外取締役を含むメンバーで構成され、役員の人事・報酬について審議し、取締役会に答申を行っています。

## ▶内部監査

内部監査は法令および社内規程等の諸基準への準拠性、管理の妥当性・有効性の検証を目的とした監査を実施しており、経営の合理化、業務の改善、効率性の向上および事業の健全な発展のための提言を行っています。

内部監査の独立性・客観性を保持するため監査部は社長直轄の組織としており、2019年3月末現在、33名が在籍しています。

グループ会社の常勤の監査役は、原則として監査部に所属しており、相互に連携をはかることによりグループ全体の監査体制の充実・強化に取り組んでいます。

### ▶内部統制システムの強化

「京王グループ内部統制システムに関する基本方針」のもと、内部統制の整備状況を確認・検証し、必要に応じた見直しを行っています。また、内部統制に関する体制を統括するため、内部統制委員会を設置しているほか、財務報告に関わる内部統制についても専任部署を設けてグループ全社で取り組んでいます。

なお、2018年度に京王観光株式会社の一部支店の団体旅行業務で不正行為が行われていたことが判明しました。同社は本件発覚後、外部の弁護士を交えて事実関係の調査と原因究明を行い、信頼回復に向けて全社員が一丸となって、再発防止に取り組んでいます。また、当社グループで本件が発生したことを重く受け止め、京王観光株式会社および当社における京王グループ全体の内部統制システムについて、検証チームを設置の上検証し、グループ内部統制体制の強化に取り組んでいます。

## コンプライアンス

### ▶基本的な考え方

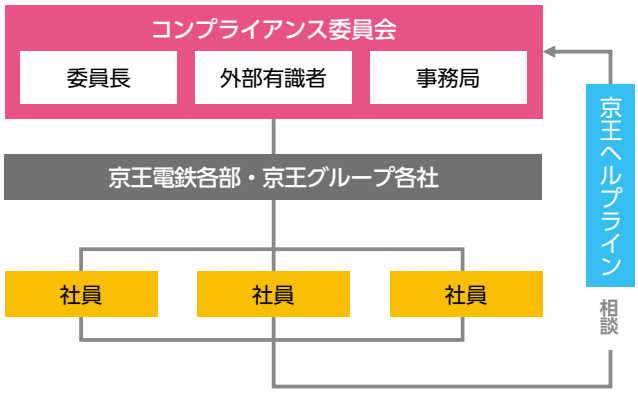
京王グループにとっての「コンプライアンス」とは、「法令遵守にとどまらず、社会の規範やルールまで含めて遵守することで、社会の期待に応える」ことであると考えています。京王グループ行動規範（P.5）を実践し、誠実な企業としてお客様や社会から一層の信頼を獲得したいと考えています。

### ▶コンプライアンス体制

当社では、「コンプライアンス委員会」が中心となって、グループ全体のコンプライアンス体制を推進しています。「コンプライアンス委員会」は当社総務法務部分担役員が就く委員長、外部有識者、事務局により構成され、コンプライアンスに関する各種取組みの検証や改善策の検討等を行っています。

京王グループでは、コンプライアンス上の問題の早期発見と解決を図るため、「京王ヘルプライン」（社内窓口：当社総務法務部、社外窓口：弁護士事務所）を設けています。京王グループの全従業員と取引先の方が利用でき、通報内容についてコンプライアンス上の疑義があるものは速やかに調査・対応を行っています。

● コンプライアンス体制




### ▶コンプライアンス意識の浸透

京王グループで働く一人ひとりにコンプライアンス意識が浸透するよう、「京王グループコンプライアンスブック」を全従業員に配布しています。このほか、職位や職種に応じた研修の実施や、時事的な話題をテーマとした「コンプライアンス・トピックス」を毎月発信するなど、継続的に啓発を行っています。



京王グループコンプライアンス・ブック



コンプライアンス・トピックス

## リスクマネジメント

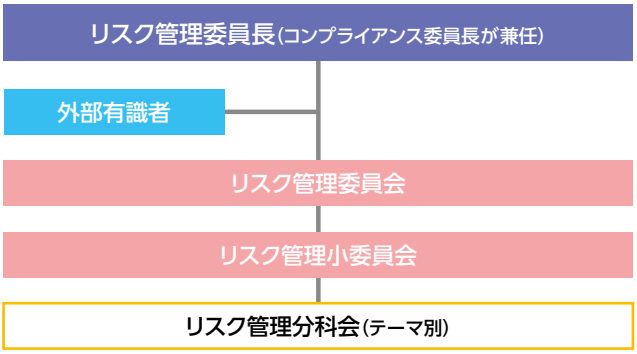
### ▶基本的な考え方

京王グループでは、「信頼のトップブランド」にふさわしい適切なリスク管理活動を実施するため、「京王グループリスク管理方針」を定め、リスクの低減および発生防止を目的とした体制を整備しています。

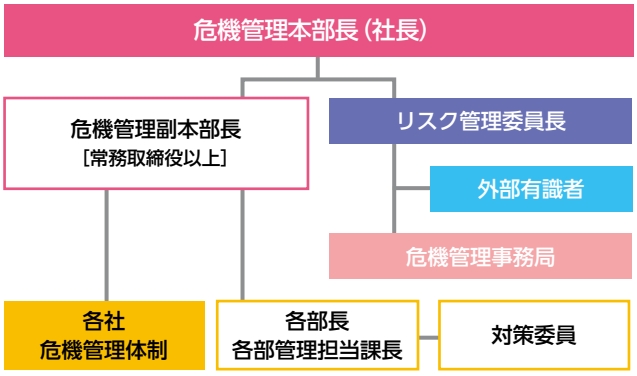
### ▶リスクマネジメント体制

京王グループのリスクマネジメント体制は、平常時の体制と危機発生時の体制の2つからなっています。平常時は、コンプライアンス委員長が兼任するリスク管理委員長のもと「リスク管理委員会」を定期的に開催し、リスク対策重点項目の設定や対策の実施状況の確認、リスクマネジメントに関する活動報告などを行っています。このほか、「リスク管理小委員会」「リスク管理分科会」などの組織を持ち、リスク対策を実効的に行えるようにしています。危機発生時は当社の社長を本部長とする「危機管理本部」を設置し、速やかに対応します。

● リスクマネジメント体制（平常時）




● リスクマネジメント体制（危機発生時）




### ▶災害時における事業継続への取り組み

大規模災害等のさまざまな緊急事態が発生した場合において、重要業務を中断させず、仮に中断したとしてもできるだけ早急に復旧させることを目的に、BCP（事業継続計画）を策定しています。また、「京王グループ防災ハンドブック」の配布や定期的に訓練を実施するなど、防災意識の浸透を図っています。



総合防災訓練の様子

## 情報セキュリティ

### ▶情報セキュリティ体制

リスク管理上の重要項目として位置づけ、個人情報を含む機密情報の取り扱いや、情報システムのBCP、セキュリティを規定した情報管理基本方針に基づき、リスク管理分科会の一つとして常設で情報セキュリティ分科会を設置しています。また、セキュリティインシデントに対応するCSIRTを設置し内外の情報を集めるとともに、発生したインシデントの対応にあたっています。

## 京王グループでは、CSR活動をより深化させていくために、「企業統治」「安全」「社会」「環境」における重要テーマに取り組み、中期目標とアクションを立てて推進しています。

| CSR項目 | 重要テーマ | 中期目標 | 2018年度実績 |
|---|---|---|---|
| 安全 | 事故等の未然防止 | ●事故や輸送障害の未然防止に向けた施策の実行<br>●テロ対策を含めた災害・危機管理<br>●ホームドアの設置等によるホーム安全対策の実施 | ●台風24号による輸送障害を受けた課題抽出および対応策の検討実施<br>●警察・消防と連携したテロ対策訓練、社内サイバー攻撃対処訓練の実施<br>●新線新宿駅、渋谷駅、飛田給駅へのホームドアの設置や、東府中駅へのホーム固定柵の設置 |
| | 減災対策 | ●耐震補強や自然災害対策等の減災対策の実施 | ●新宿トンネルの耐震補強工事および高架橋、盛土区間の耐震補強工事を実施<br>●高尾線において、大雨による土砂災害の防止対策として、法面防護工事を実施<br>●雷害対策として、防雷設備の増強や電気機器の耐雷性向上対策を実施 |
| | 安全対策・老朽化対策 | ●京王線（笹塚駅～仙川駅間）連続立体交差事業の推進<br>●下北沢駅改良工事の推進<br>●老朽設備の着実な更新による保安度の向上 | ●京王線（笹塚駅～仙川駅間）連続立体交差事業の推進（用地取得や工事ヤード整備等を実施）<br>●交差部において本設橋梁を架設したほか、下北沢駅中央口を開業<br>●経年劣化した電気設備・車両設備の老朽更新を実施 |
| 社会 | お客様の利便性・快適性の向上 | ●駅施設・車両設備の整備<br>●改良によるお客様サービスの向上<br>●沿線活性化への取り組みの推進 | ●府中駅と京王よみうりランド駅のリニューアル工事を実施<br>●京王線8000系2編成、井の頭線1000系3編成のリニューアル工事を実施<br>●車内案内表示器の2画面化を井の頭線1000系3編成で実施 |
| | お客様との対話 | ●様々なお客様にとってわかりやすい情報の発信 | ●京王ホームページリニューアルの推進<br>●英語Facebook開始 |
| | 多世代が生活しやすい沿線づくり | ●高齢者事業・生活支援事業・子育て支援事業の推進 | ●サテライトオフィスKEIO BIZ PLAZA開業<br>●企業主導型保育所京王キッズプラッツ多摩センター着工 |
| | 地域社会への貢献 | ●文化・教育・子育て支援イベント・スポーツ振興支援の実施 | ●京王アカデミープログラム、チャリティイベント（京王駅伝フェスティバル、京王音楽祭）を開催<br>●スポーツイベントへの協賛 |
| | 地域社会・行政との連携 | ●京王沿線および中央道高速バスエリアの関係自治体や事業者と連携した地域活性化への貢献 | ●高速バスのフリーきっぷ販売<br>●高速バスを活用した貨客混載事業にて販売店舗・輸送路線を拡大<br>●新宿の観光案内所を活用したイベント開催等による観光情報の提供を継続実施 |
| | 人材の活用と働きやすい職場づくり | ●女性活躍推進（管理職における女性比率を2021年度末までに2016年4月比で5割増）<br>●障がい者雇用の推進・職場環境の整備推進<br>●ワーク・ライフ・バランスの推進 | ●公正な管理職登用を実施し女性の活躍を推進<br>（女性の課長級以上の管理職人数 2017年度14名→2018年度16名）<br>●障がい者雇用推進 障がい者雇用率2.5%<br>●年次有給休暇の取得推進（年次有給休暇取得率 2017年度82.1%→2018年度85.1%） |
| | 株主・投資家・取引先等への取り組み | ●株主・投資家・取引先等にわかりやすい情報開示の推進 | ●適時適切な情報開示、株主・投資家との対話を継続実施<br>●スモールミーティングの開催 |
| 環境 | 低炭素社会を目指して | ●車両の省エネルギー化<br>●駅やビルなどの省エネルギー化 | ●京王線8000系2編成、井の頭線1000系3編成を省エネ型のVVVFインバータ制御装置に更新<br>●車両や駅構内の照明のLED化を実施<br>●宮古市太陽光発電事業着工 |
| | 自然共生社会を目指して | ●環境保全活動・環境教育の実施 | ●高尾山エリアでの育樹活動および多摩川河川敷での外来植物駆除活動の実施<br>●京王クリーンキャンペーン、高尾の森 親子森林体験スクール、京王アカデミープログラム等環境教育プログラムを実施 |
| 企業統治 | コーポレート・ガバナンス | ●コーポレート・ガバナンスの強化の推進 | ●取締役会の実効性を向上させるため社外役員への情報提供の充実を実施 |
| | コンプライアンス | ●コンプライアンス意識浸透策の実施、法改正等への対応 | ●階層別研修やeラーニング等による従業員教育、コンプライアンス・トピックス等による各種啓発活動を実施<br>●法令改正情報の周知・適切な対応策を実施<br>●コンプライアンス・アンケートの実施 |
| | リスクマネジメント | ●グループ共通リスク対策重点項目等への対策・啓発活動の推進<br>●事業継続計画（BCP）の展開 | ●グループ共通リスク対策重点項目の策定および対応策の検討、実施<br>●不正行為防止に向けた情報共有を実施<br>●グループ防災情報連絡会議を開催<br>（南海トラフ地震に関する臨時情報発令時における対応方について情報を共有） |
| | 情報セキュリティ | ●セキュリティリスク対策等のIT統制の推進 | ●マニュアル、ガイドライン等の整備継続、PDCAサイクルの確立<br>●セキュリティ対応のグループ内標準対応推進<br>●リスクアセスメント実施に基づく、課題点の解消 |

## SDGsへの取り組み

SDGs(Sustainable Development Goals)は、持続可能な世界を実現するために、2015年に国連で採択された2030年に向けた開発目標です。
京王グループは、この持続可能な開発目標の考え方を取り入れ、事業活動を通じて社会の持続的な発展に貢献していくことを目指します。

| 2019年度のアクションプラン | 関連するSDGs |
|---|---|
| ●駅構内やホーム、車内、踏切への防犯カメラや監視カメラの整備を拡大<br>●飛田給駅へのホームドア設置や、笹塚駅、分倍河原駅、橋本駅へのホーム固定柵の設置<br>●サイバー攻撃に対する防衛能力強化やテロ対策の推進 |  |
| ●新宿トンネルの耐震補強工事及び高架橋、盛土区間の耐震補強工事を継続実施<br>●高尾線において、大雨による土砂災害の防止対策として、法面防護工事を継続実施<br>●雷害対策として、防雷設備の増設を継続実施 | |
| ●京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業の推進(用地取得や工事ヤード整備等を実施)<br>●経年劣化した電気設備・車両設備の老朽更新を計画的に実施 | |
| ●新線新宿駅、飛田給駅、仙川駅のリニューアル工事を継続実施<br>●京王線8000系3編成、井の頭線1000系3編成のリニューアル工事を実施<br>●駅および車内における、異常時を含めた情報提供の外国語対応強化 |  |
| ●京王ホームページリニューアルの推進 | |
| ●企業主導型保育所京王キッズプラッツ多摩センター開設 | |
| ●京王アカデミープログラムや各種イベントの継続実施<br>●各種スポーツイベントへの協賛を継続実施 | |
| ●高速バスフリーきっぷの販路拡大を継続実施<br>●高速バスを活用した貸客混載事業の拡大<br>●新宿の観光案内所を活用したイベント開催等による観光情報の提供を継続実施 |  |
| ●女性総合職新卒採用人数を総合職新卒採用人数の30%以上となるよう2020年卒の採用活動を実施<br>●障がい者雇用の継続促進<br>●夜型勤務から朝型勤務への転換推進<br>(本社の通年入館時刻を8時から7時に繰り上げ、退館時刻を22時から21時に繰り上げ) | |
| ●適時適切な情報開示、株主・投資家との対話を継続実施 | |
| ●京王線8000系3編成、井の頭線1000系3編成のVVVFインバータ制御装置を省エネ型に更新<br>●車両や駅構内・ホテル・ショッピングセンター等の照明のLED化を継続実施<br>●宮古市太陽光発電事業開始 |  |
| ●高尾山エリアでの育樹活動および多摩川河川敷での外来植物駆除活動の継続実施<br>●各種環境教育プログラムの継続実施 |  |
| ●社外役員へのさらなる情報提供の充実、審議充実のための運営上の工夫<br>●ESG、SDGsへの対応 |  |
| ●コンプライアンス意識浸透策、法令改正への対応等の継続実施<br>●遠隔地の事業所等へのコンプライアンス教育の実施 | |
| ●グループ共通リスク対策重点項目等への対応の継続実施 | |
| ●セキュリティガイドライン等の整備継続、PDCAサイクルの確立<br>●グループ内公開ウェブサーバのセキュリティ統制強化<br>●リスクアセスメント実施に基づく、課題点の解消の継続 | |

# ISO26000対照表

| 中核主題 | 課題 | CSRレポート2019掲載ページ |
|---|---|---|
| 組織統治 | 組織統治 | P.2–P.4　トップメッセージ<br>P.5–P.7　経営計画<br>P.86–P.89　コーポレート・ガバナンス |
| 人権 | デューディリジェンス | P.64–P.68　人材の活用と働きやすい職場づくり |
| | 人権に関する危機的状況 | |
| | 加担の回避 | |
| | 苦情解決 | |
| | 差別及び社会的弱者 | |
| | 市民的及び政治的権利 | |
| | 経済的、社会的及び文化的権利 | |
| | 労働における基本的原則及び権利 | |
| 労働慣行 | 雇用及び雇用関係 | P.24–P.25　人材の育成<br>P.64–P.68　人材の活用と働きやすい職場づくり |
| | 労働条件及び社会的保護 | |
| | 社会対話 | |
| | 労働における安全衛生 | |
| | 職場における人材育成及び訓練 | |
| 環境 | 汚染の予防 | P.74–P.75　環境マネジメント<br>P.76–P.79　低炭素社会を目指して<br>P.80–P.81　循環型社会を目指して<br>P.82–P.83　自然共生社会を目指して<br>P.84–P.85　環境関連データ |
| | 持続可能な資源の利用 | |
| | 気候変動緩和及び適応 | |
| | 環境保護、生物多様性及び自然生息地の回復 | |
| 公正な事業慣行 | 汚職防止 | P.69　株主・投資家・取引先等への取り組み<br>P.86–P.89　コーポレート・ガバナンス |
| | 責任ある政治的関与 | |
| | 公正な競争 | |
| | バリューチェーンにおける社会的責任の推進 | |
| | 財産権の尊重 | |
| 消費者課題 | 公正なマーケティング、情報及び契約慣行 | P.10–P.11　特集 沿線大学とのオープンイノベーションの取り組み<br>P.15　安全方針・安全管理体制<br>P.16　安全管理方法<br>P.18　2018年度 安全目標・安全重点施策<br>P.19　2018年度 輸送安全実績<br>P.20　2018年度に発生したトラブルおよびその後の対処<br>P.21　2019年度 安全目標・安全重点施策<br>P.26–P.27　安全文化の構築<br>P.28–P.29　危機に備えた訓練<br>P.30–P.39　施設・設備の取り組み<br>P.40–P.41　日々の保守管理<br>P.42–P.43　災害などへの備え<br>P.44–P.45　そのほかの取り組み<br>P.46–P.47　グループ会社の安全対策<br>P.52–P.55　お客様の利便性・快適性の向上<br>P.56–P.57　お客様との対話<br>P.58–P.59　多世代が生活しやすい沿線づくり<br>P.69　株主・投資家・取引先等への取り組み<br>P.86–P.89　コーポレート・ガバナンス |
| | 消費者の安全衛生の保護 | |
| | 持続可能な消費 | |
| | 消費者に対するサービス、支援、並びに苦情及び紛争の解決 | |
| | 消費者データ保護及びプライバシー | |
| | 必要不可欠なサービスへのアクセス | |
| | 教育及び意識向上 | |
| コミュニティへの参画及びコミュニティの発展 | コミュニティへの参画 | P.52–P.55　お客様の利便性・快適性の向上<br>P.58–P.59　多世代が生活しやすい沿線づくり<br>P.60–P.61　地域社会への貢献<br>P.62–P.63　地域社会・行政との連携 |
| | 教育及び文化 | |
| | 雇用創出及び技能開発 | |
| | 技術の開発及び技術へのアクセス | |
| | 富及び所得の創出 | |
| | 健康 | |
| | 社会的投資 | |

※GRI対照表については京王HPで公開します。

## 会社概要（2019年3月31日時点）

| | |
|---|---|
| **社名** | 京王電鉄株式会社 |
| **会社設立** | 1948年6月1日 |
| **本社所在地** | 〒206-8502 東京都多摩市関戸一丁目9番地1<br>（登記上の本店所在地 〒160-0022<br>東京都新宿区新宿三丁目1番24号） |
| **資本金** | 590億23百万円 |
| **従業員数** | 2,549名 |
| **営業内容** | **[鉄道事業]**<br>路線　京王線、高尾線、相模原線、競馬場線、動物園線、井の頭線<br>駅数　69駅<br>営業キロ　84.7km<br>輸送人員　年間6億7,798万人（2018年度実績）<br>車両数　877両<br><br>**[開発事業（土地、建物の賃貸業・販売業など）]**<br>新規賃貸資産の開発<br>賃貸資産の管理・営業<br>ショッピングセンターの管理・運営<br>住宅地などの販売 |
| **グループ会社数** | 全56社 |

## 役員一覧（2019年6月27日時点）



代表取締役会長
**永田　正**



代表取締役社長
**紅村　康**

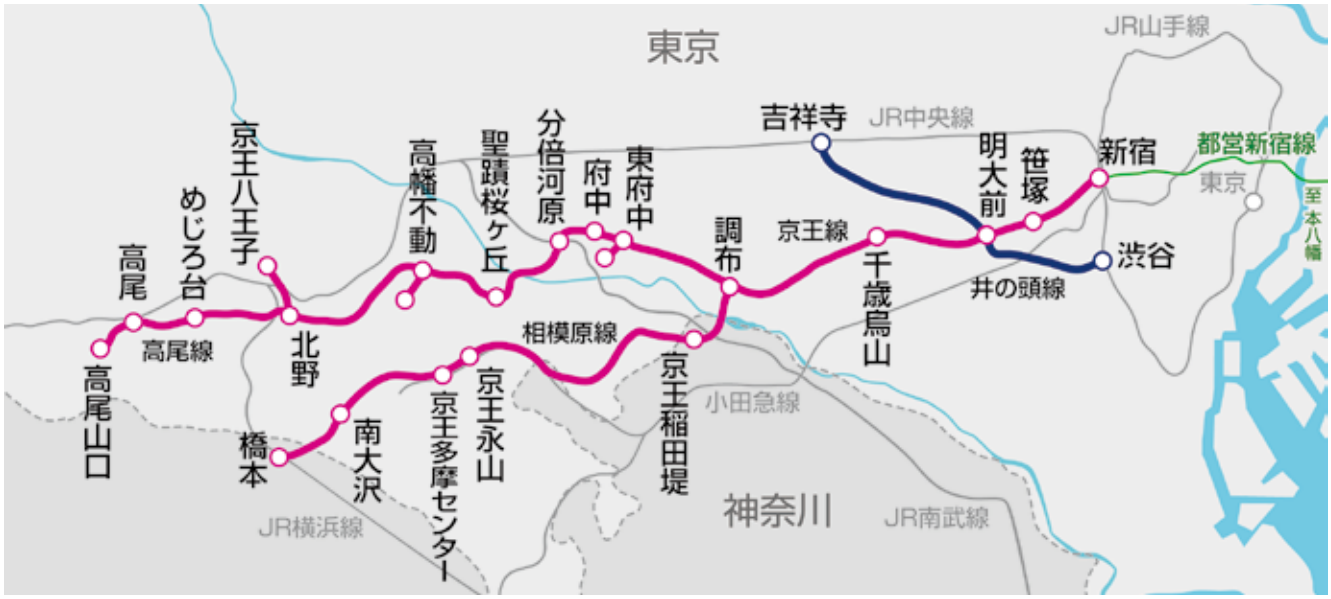
| | | | |
|---|---|---|---|
| 常務取締役（鉄道事業本部長） | 仲岡　一紀 | | |
| 常務取締役（開発事業本部長） | 川瀬　明伸 | | |
| 常務取締役（経営統括本部長、財務・情報開示担当） | 伊藤　俊司 | | |
| 常務取締役（総務法務部・広報部・人事部分担役員、コンプライアンス担当、新宿再開発特命担当） | 南　佳孝 | | |
| 取締役（経営統括本部特命担当） | 越水陽太郎 | 取締役 | 駒田　一郎 |
| 取締役（開発事業本部 ホテル戦略部長） | 中島　一成 | 取締役 | 丸山　荘 |
| 取締役（戦略推進本部長） | 櫻井　俊樹 | 取締役 | 山岸　真也 |
| 取締役（鉄道事業本部副本部長、計画管理部長） | 寺田雄一郎 | 取締役 | 若林　克昌 |
| 取締役（経営統括本部 グループ事業部長） | 都村　智史 | 常勤監査役 | 水野　諭 |
| 取締役 | 高橋　温 | 常勤監査役 | 竹川　浩史 |
| 取締役 | 古市　健 | 監査役 | 北村　敬子 |
| 取締役 | 山本　護 | 監査役 | 金子　正志 |

## 京王グループ会社一覧（2019年7月31日時点）




※1 事業セグメント分類上、京王電鉄・京王重機整備が重複して含まれています。
※2 持分法適用会社です。

## 京王電鉄路線図




## 株主の状況

当社の2019年3月31日現在の株主数は31,195名です。
全体の約7割が、当社沿線に在住されている個人株主です。

● 株式の状況

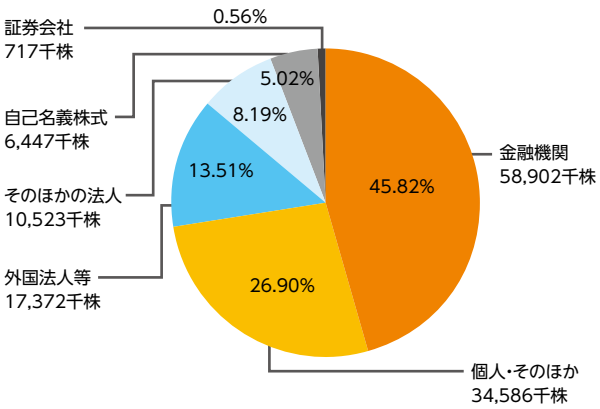
| | |
|---|---|
| 発行可能株式総数 | 316,046,000株 |
| 発行済株式総数 | 128,550,830株 |
| 株主数 | 31,195名 |

● 株主総会

2019年6月27日に京王プラザホテル八王子にて第98期定時株主総会を開催し、799人の株主様に出席いただきました。

当日は、2018年度の事業の経過や業績についてわかりやすくお伝えするよう努めました。

● 株式分布状況（2019年3月31日現在）




当社は、以下のサステナビリティ／ESG指数の構成銘柄に選定されています。

Member of SNAM Sustainability Index 2019
SNAMサステナビリティ・インデックス

MSCI
MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数

# 第三者意見



立教大学経営学部
教授／経済学博士
**高岡 美佳**

全体を通して、「つながりあうすべての人に誠実であり、環境にやさしく、『信頼のトップブランド』になることを目指します」という京王グループの理念が反映された良いレポートだと思います。現場の写真も多く、また、社員や地域活性化のパートナーの生の声が「VOICE」として多数掲載されており、情報開示やコミュニケーションの点からも優れた報告書となっています。

トップメッセージにあるように、近年、企業は、ESG（社会・環境・ガバナンス）やSDGs（持続可能な開発目標）への取り組みを通じて企業価値を向上させることを求められています。京王グループは、現在、中期経営計画後半（2018年度～2020年度）の2年目を迎えましたが、この後半の初年度にあたる2018年度の経営計画より、「ESGやSDGsへの対応」を新たに組み込みました。2018年度の営業実績は、増収増益で営業利益率も9.0%へ向上するなど良好な結果となり、2019年度の計画においても増収増益を見込んでいます。足元は順調であり、「2030年代の事業環境においても存続する企業であるために、SDGsの考え方を取り入れ、企業としての社会的責任を果たす」という目標を掲げる京王グループは、事業活動を通じて社会の持続的な発展に貢献する姿勢をもつ企業だと言えるでしょう。まずは、この点を高く評価したいと思います。

安全報告のパートでは、「『安全』は最大の使命であり、最高のサービスである」という方針にもとづき、お客様に「安全」・「安心」を提供するための様々な取り組みが報告されています。今年度も笹塚駅～仙川駅間の連続立体交差事業は順調に進み、起工式が執り行われました。線路と道路の立体交差化や踏切の整理を通じて運転保安の向上に努める姿勢は重要です。今回のレポートで最も高く評価したいのは、安全性向上に向けたビジョンが新設されたことです。安全についての基軸（基本方針・行動規範・提言）と事業環境・目指すべきゴールの関連が整理されたことで、現場と本社が一体となり、さらなる安全性の向上がもたらされることを大いに期待したいと思います。また、本レポートを読むと、ラグビーワールドカップ2019™や東京2020オリンピック・パラリンピックなど大規模イベントの開催に向けて、テロ対策や防犯カメラの設置、多言語による案内の強化などハード面・ソフト面での準備が進んでいるようです。すでに高いレベルに達している京王グループの安全対策ではありますが、今後も全社員一丸となって、安全最優先の鉄道づくりに取り組んでいただきたいと思います。

社会性報告のパートでは、「住んでもらえる、選んでもらえる沿線づくり」を目指す京王グループの取り組みが描かれています。2019年2月には、京王ライナーの朝間時間帯の運行が始まり、通勤時間帯の快適性が一層向上しました。また、沿線住民の多様な働き方や子育てを支援する目的で、2018年10月にサテライトオフィス「KEIO BIZ PLAZA」、2019年6月に企業主導型保育所「京王キッズプラッツ多摩センター」が開設されました。2019年3月には地域交流の拠点となる「笹塚アキチ!」も開設しています。いずれも、お客様や沿線住民、そして、地域社会を重要なステークホルダーであると考える京王グループらしい取り組みです。今、日本では人々のライフスタイルが急速に変化しつつあります。時代の変化に合わせて沿線住民や地域をサポートし続ける京王グループの社会的責任意識の高さを評価したいと思います。なお、グループ内の人材活用と働きやすい職場づくりについては、新たに「働き方改革プロジェクト」が立ち上がりました。育児休業復帰率100%、管理職に占める女性比率8.4%、その他「VOICE」で取り上げられている再入社制度など、多様な人材が活躍できる職場づくりが整備されているように見受けられますが、今後も、ダイバーシティ・マネジメントやワークライフバランスの整備に積極的に取り組んでいただきたいと考えます。

環境報告のパートでは、京王グループの多角的な環境活動が紹介されています。今年度は、COP（国連気候変動枠組条約締約国会議）にて2020年以降の地球温暖化対策の指針となるパリ協定が採択されたことをふまえて中期環境目標が更新されたことが大きなトピックスです。また、2018年度は、相対的に環境負荷が高い鉄道事業部門と開発事業部門において、前年度と比べて電力使用量と$CO_2$排出量が減少しました。新型VVVFインバータ制御装置への順次切り替え、車内照明のLED化といった鉄道事業部門の取り組みに加えて、開発事業部門におけるリノベーション事業の推進や京王グループ全体での海洋プラスチックゴミ問題への対応など、環境負荷が低い鉄道事業を中心に営む企業グループであるにもかかわらず、低炭素社会や循環型社会の実現を目指して熱意をもって環境活動を推進する京王グループを高く評価したいと思います。

最後になりますが、次年度はぜひ「CSR調達」についてご検討ください。企業の社会的責任は自社だけでなくサプライチェーン全体に及びます。大手優良企業である京王グループが調達先の選定や調達条件を設定する際に、社会的責任の観点から基準を設定することで、サプライチェーン全体のCSRが進むことを期待します。

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C017928
www.fsc.org

non VOC ink eco UV

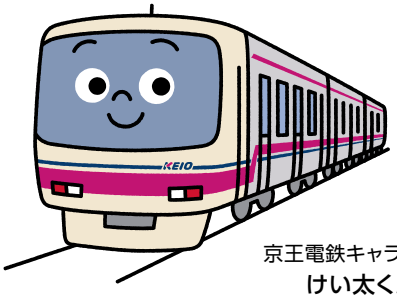
Waterless Printing Naturally

GREEN PRINTING JFPI
P-B10128

1冊あたり
1,500g
$CO_2$
$CO_2$の「見える化」
カーボンフットプリント
https://www.cfp-japan.jp
CR-DD01-19005

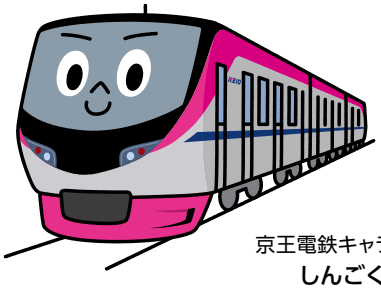
この安全・社会・環境報告書の用紙は、FSC®が定める責任ある森林管理の原則に基づき認証された森林からの原材料とその他管理された原材料から作られたFSC®認証紙を使用しています。

また、日本印刷産業連合会が認定する工場のもと、有害な溶剤を含まないNon-VOCインキを使用しているほか、揮発性有機溶剤を含む湿し水を使用しない、地球環境に配慮した水なし印刷方式で作成されています。




京王電鉄キャラクター
けい太くん

なお、本レポートの原材料調達からリサイクルされるまでのライフサイクル全体で発生する温室効果ガスを$CO_2$の量に換算した数値は、1冊あたり1,500gになります。



京王電鉄キャラクター
しんごくん

**京王電鉄株式会社**

〒206-8502
東京都多摩市関戸一丁目9番地1

安全・社会・環境報告書に関するお問い合わせ
広報部 企画・環境担当
Tel. 042-337-3106
Fax. 042-337-5536
www.keio.co.jp

2019年9月発行